

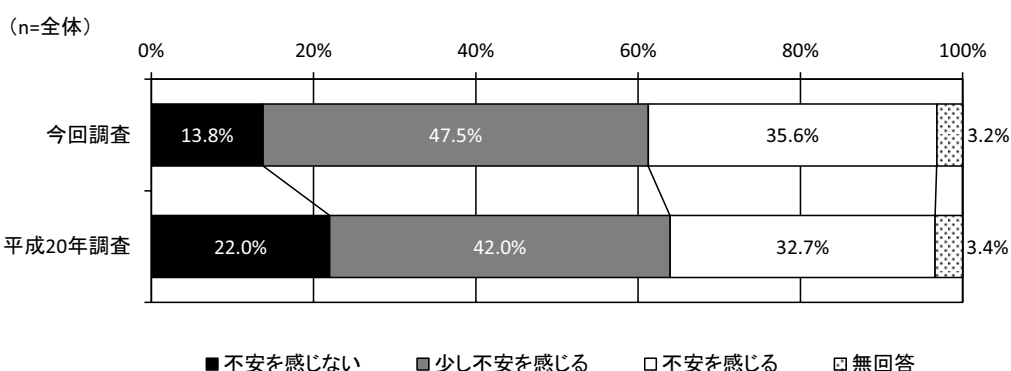
## 1.1 転院について

### (1) 転院に対する不安感

～ 5人に4人が「不安を感じる」 ～

問16 限られた救急医療の病床を効率よく利用するためには、救急の治療が終了すると入院している医療機関から転院などを求められることがあります。もし、このような場合、あなたが転院を求められたとしたら不安を感じますか。(○は1つだけ)

図 11-1



転院を求められたら「不安を感じない」人は13.8%にとどまる。一方、「少し不安を感じる」(47.5%)、「不安を感じる」(35.6%)を合わせると83.1%となっている。

平成20年調査結果との比較では、「不安を感じない」が22.0%から13.8%へと減少し、「少し不安を感じる」と「不安を感じる」が増加している。

#### ◆地域別

転院に対する不安感は、全地域で「少し不安を感じる」「不安を感じる」を合わせると約80%ちかくなっている。

#### ◆市郡別

市部に比べると郡部の方で、「少し不安を感じる」「不安を感じる」を合わせた割合は、88.8%とさらに多くなっている。

#### ◆性別

「少し不安を感じる」「不安を感じる」を合わせた割合は、女性で86.5%、男性で77.8%と女性の割合が高くなっている。

#### ◆性・年代別

「少し不安を感じる」「不安を感じる」を合わせた割合は、男性では50代が93.6%と最も高く、また、女性でも同じく50代が95.5%と最も高くなっている。

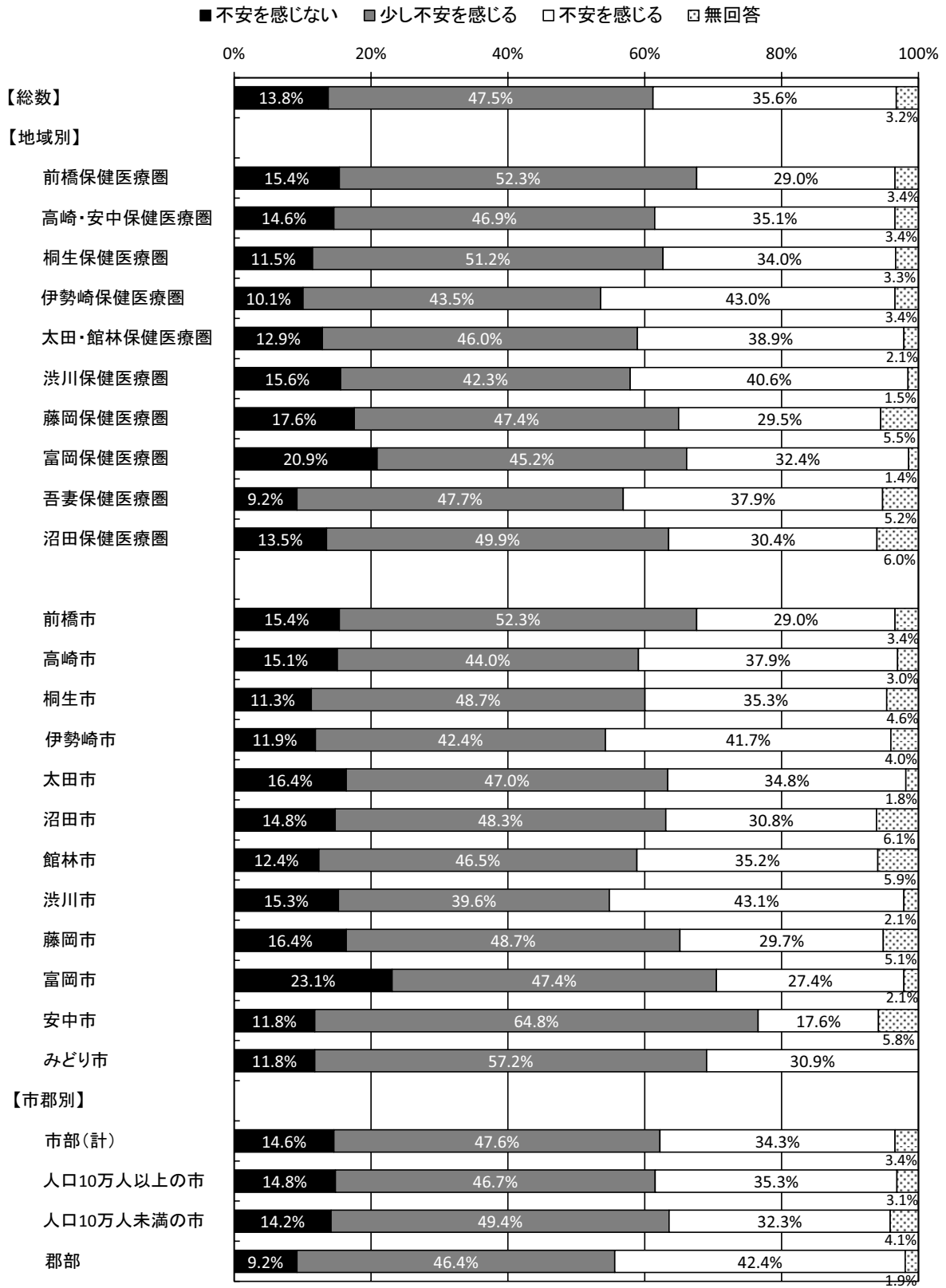
#### ◆職業別

「少し不安を感じる」「不安を感じる」は、商工・サービス業、自由業をのぞく職業で80%をこえている。しかし、商工・サービス業、自由業も70%台後半の数値である。

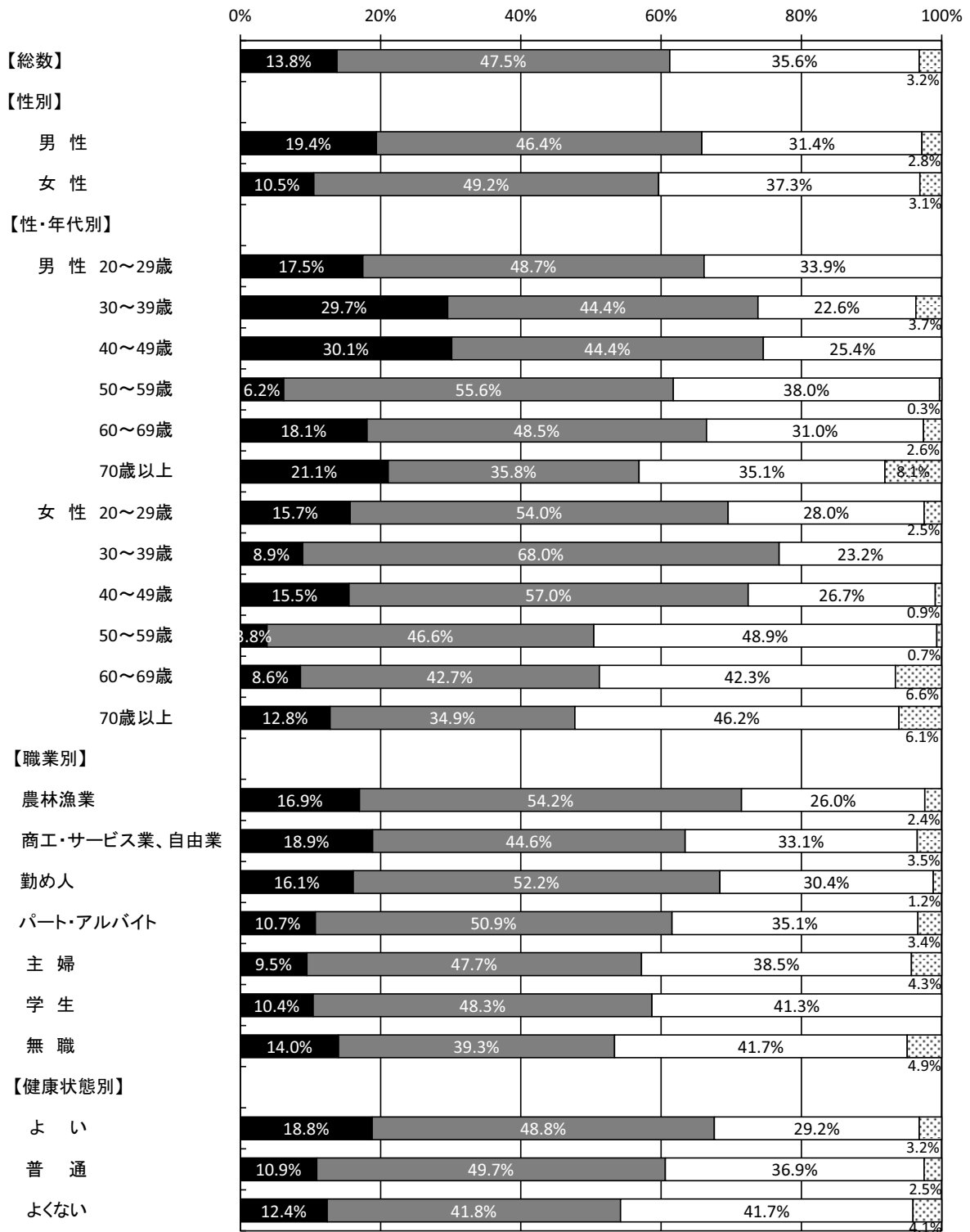
#### ◆健康状態別

「少し不安を感じる」「不安を感じる」は、健康状態が良い人では、70%台と少ない傾向はあるものの、健康状態がふつう、よくない人では、80%台とほとんど変わらない。

図 11-2 転院に対する不安感

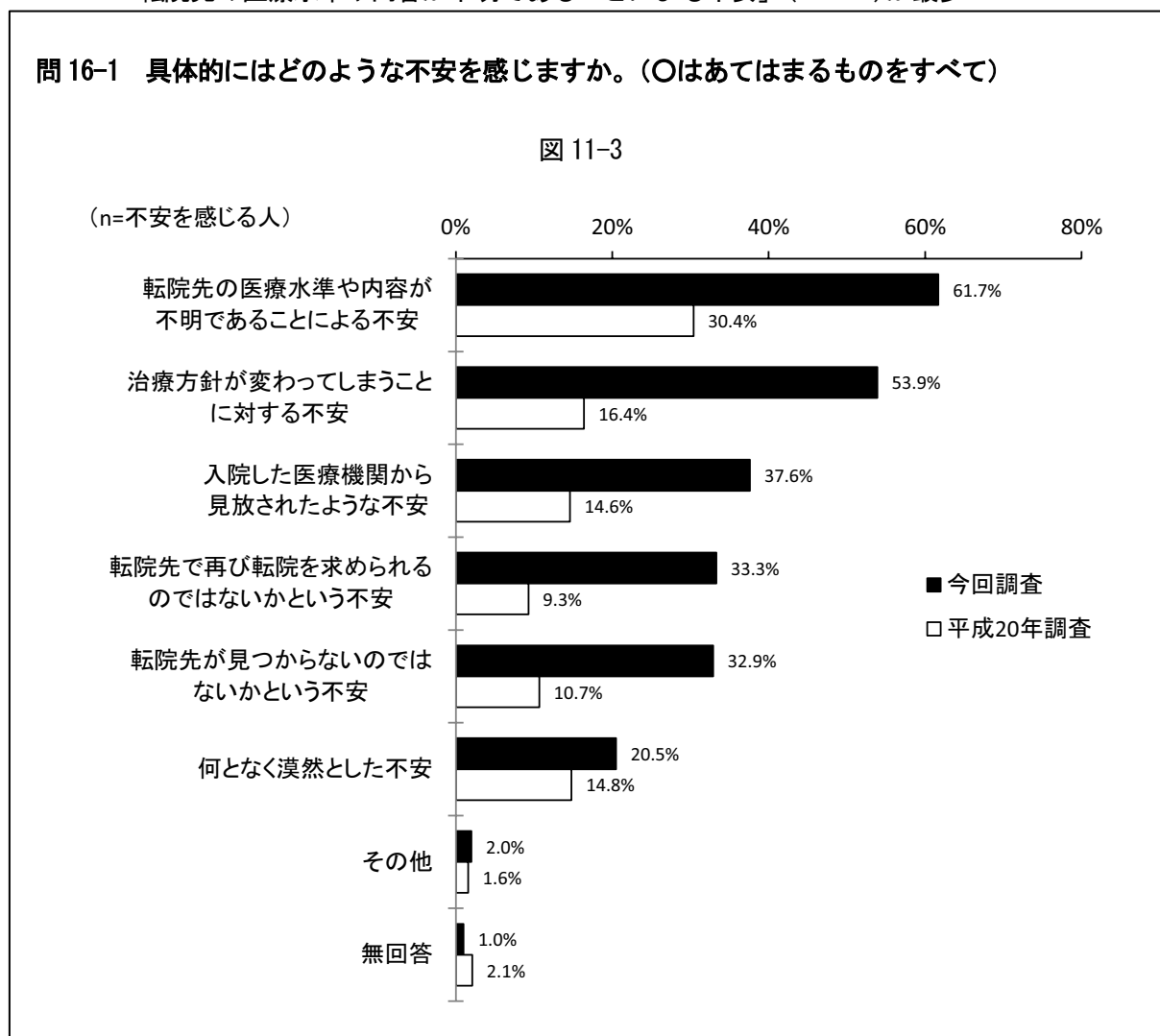


■ 不安を感じない ■ 少し不安を感じる □ 不安を感じる □ 無回答



## (2) 具体的な不安内容

～ 「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」(61.7%)が最多 ～



転院を求められたら「少し不安を感じる」「不安を感じる」人に、具体的な不安を聞いたところ、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」が61.7%と最も多く、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」(53.9%)、「入院した医療機関から見放されたような不安」(37.6%)の順となっている。

平成20年調査結果との比較では、質問形式が異なるため(回答の選択肢は一つだけ)、単純な比較はできないが、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」がともに最も多くなっている。

### ◆地域別

いずれの地域でも「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」と「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が上位を占めている。

### ◆市郡別

市部と郡部でも「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」と「治療方針が変わってしまうことに対する不安」が上位を占めているが、郡部の方が、市部に比べてさらに割合が高くなっている。

◆性別

男女で大きな差は見られず、どちらも「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」の順となっている。

◆性・年代別

「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」の割合が、男性の50代と女性の50代で70%台と特に高くなっている。

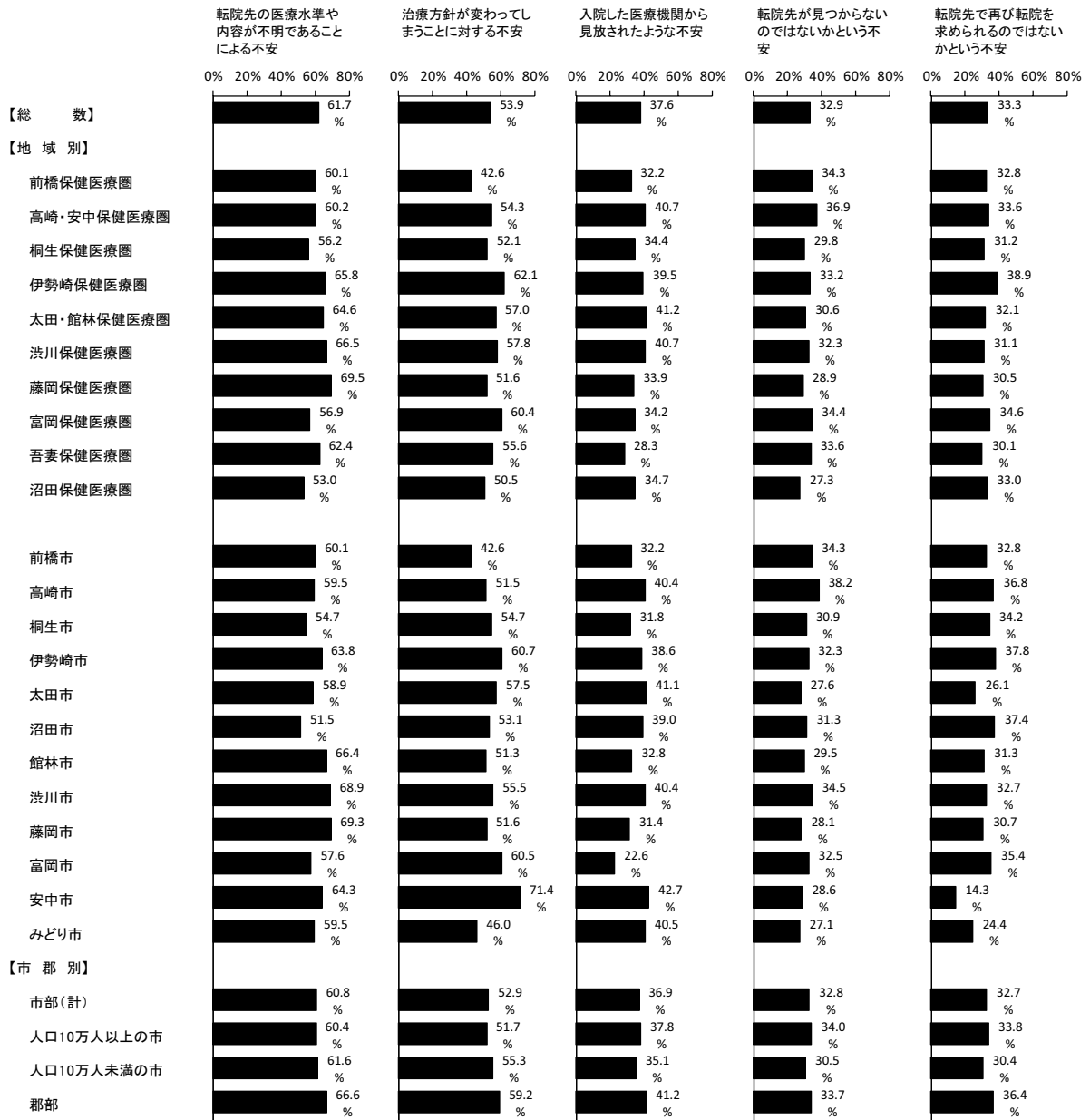
◆職業別

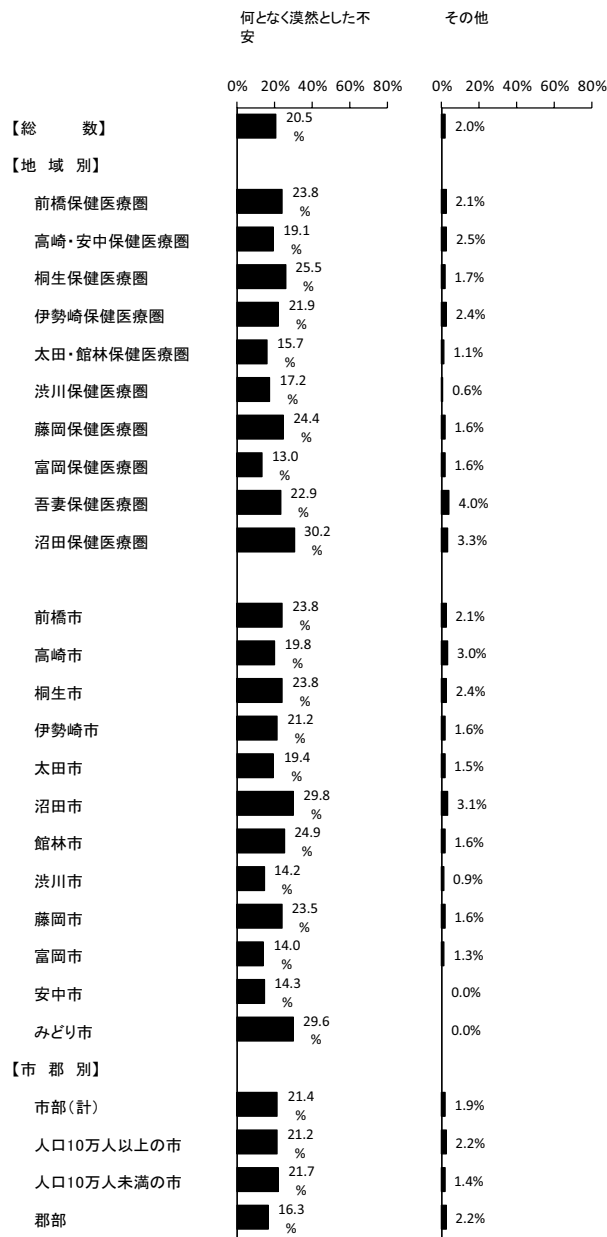
学生をのぞく職業で、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」の順となっているが、学生は、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」、「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」の順となっている。

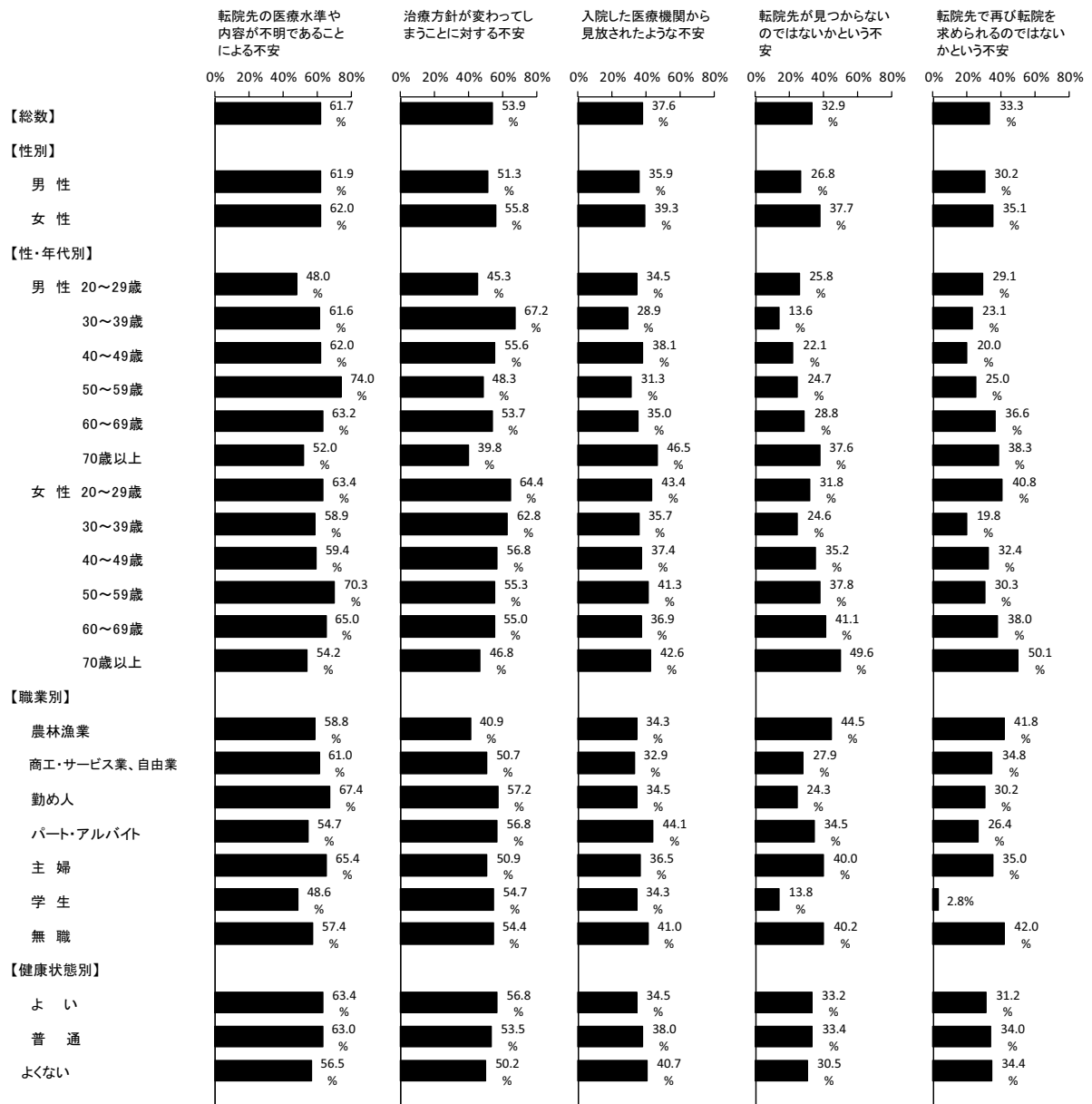
◆健康状態別

「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」は、健康状態がよくない人で50%台と少なくなっているが、健康状態別でも「転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安」、「治療方針が変わってしまうことに対する不安」の順となっている。

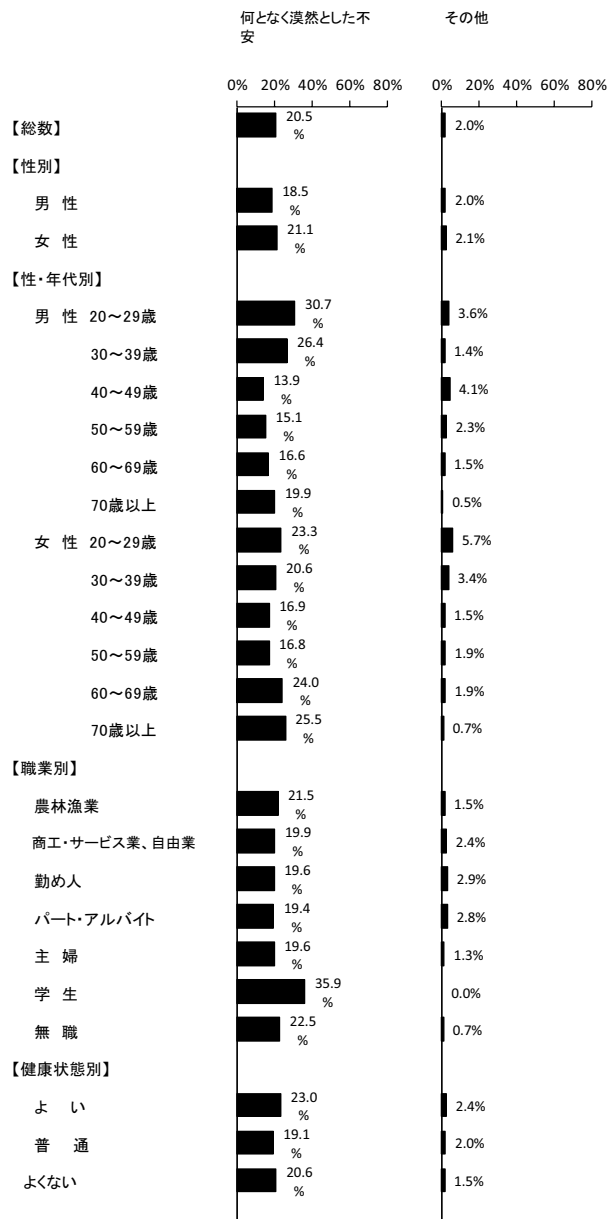
図 11-4 具体的な不安内容







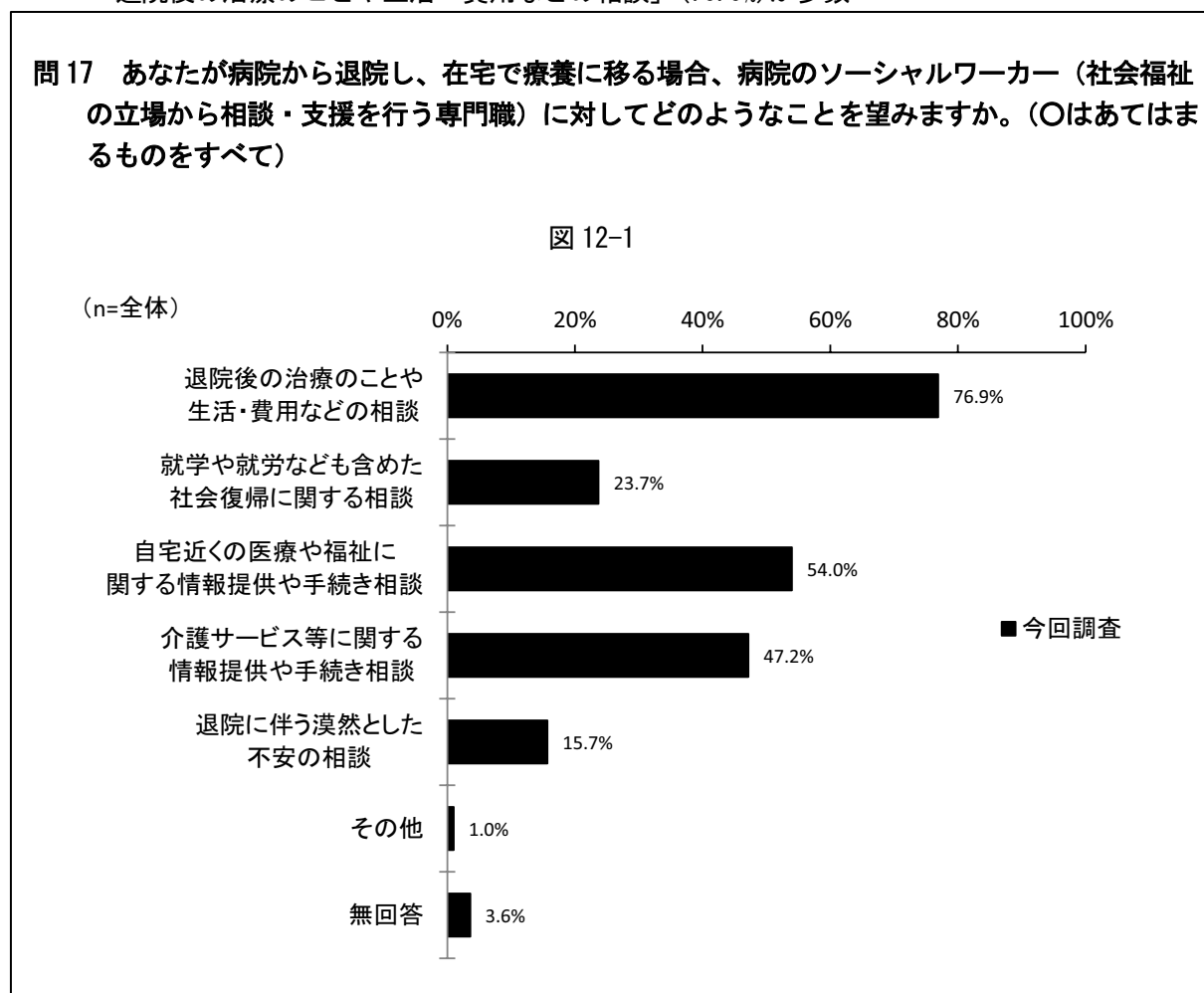




## 1 2 退院について

### (1) 退院後に病院のソーシャルワーカーに望むこと

～ 「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」(76.9%)が多数 ～



病院から退院し、病院のソーシャルワーカーに望むことを聞いたところ、「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」が76.9%と最も多く、「自宅近くの医療や福祉に関する情報提供や手続き相談」(54.0%)、「介護サービス等に関する情報提供や手続き相談」(47.2%)の順となっている。

#### ◆地域別

安中市をのぞくすべての地域で、「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」、「自宅近くの医療や福祉に関する情報提供や手続き相談」、「介護サービス等に関する情報提供や手続き相談」の順となっている。「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」は全ての地域で70%台となっている。

#### ◆市郡別

市部と郡部の間で差異はほとんど認められない。

#### ◆性別

男女とも「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」が最も多いが、「自宅近くの医療や福祉に関する情報提供や手続き相談」男性(50.9%)、女性(57.4%)、「介護サービス等に関する情報提供や手続き相談」男性(40.6%)、女性(52.2%)、に関しては、女性の方が多くなっている。

◆性・年代別

男性・女性の年代別にかかわらず、「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」が最も多いが、男性の20～40代と女性の20代で、「就学や就労なども含めた社会復帰に関する相談」が他の年代に比べ多くなっている。

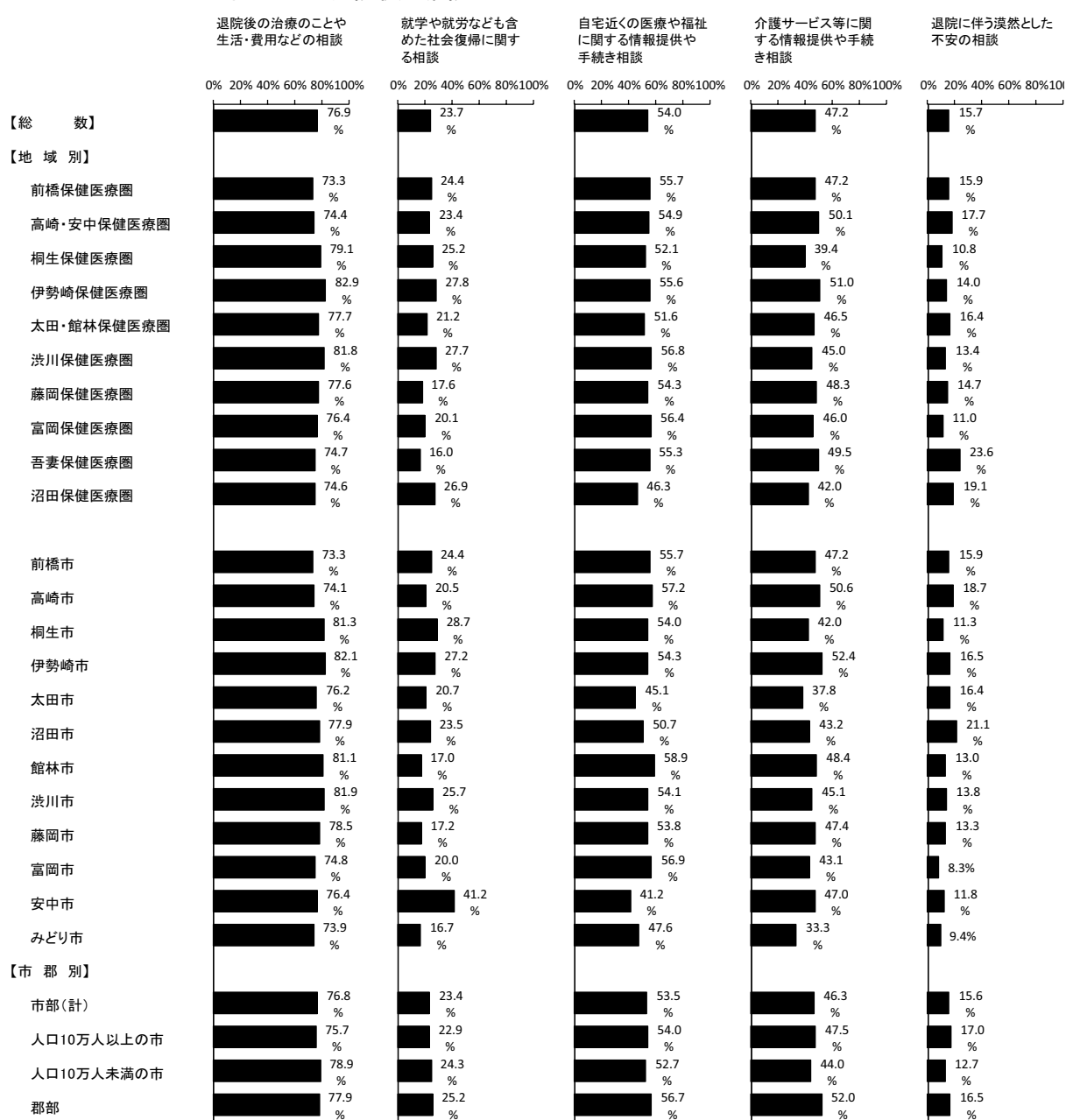
◆職業別

勤め人と学生をのぞくすべての職業で、「退院後の治療のことや生活・費用などの相談」、「自宅近くの医療や福祉に関する情報提供や手続き相談」、「介護サービス等に関する情報提供や手続き相談」の順となっているが、学生と勤め人では「就学や就労なども含めた社会復帰に関する相談」が「介護サービス等に関する情報提供や手続き相談」を上回っている。

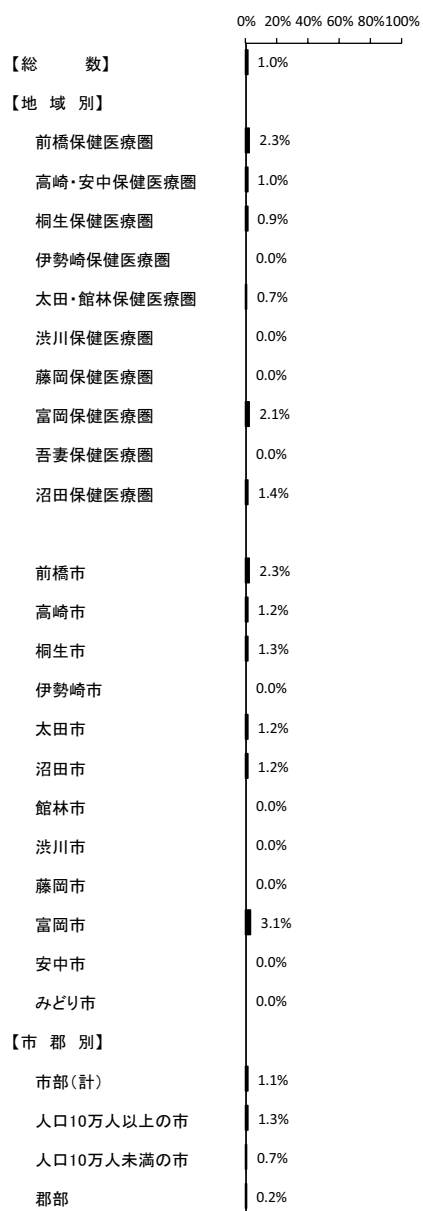
◆健康状態別

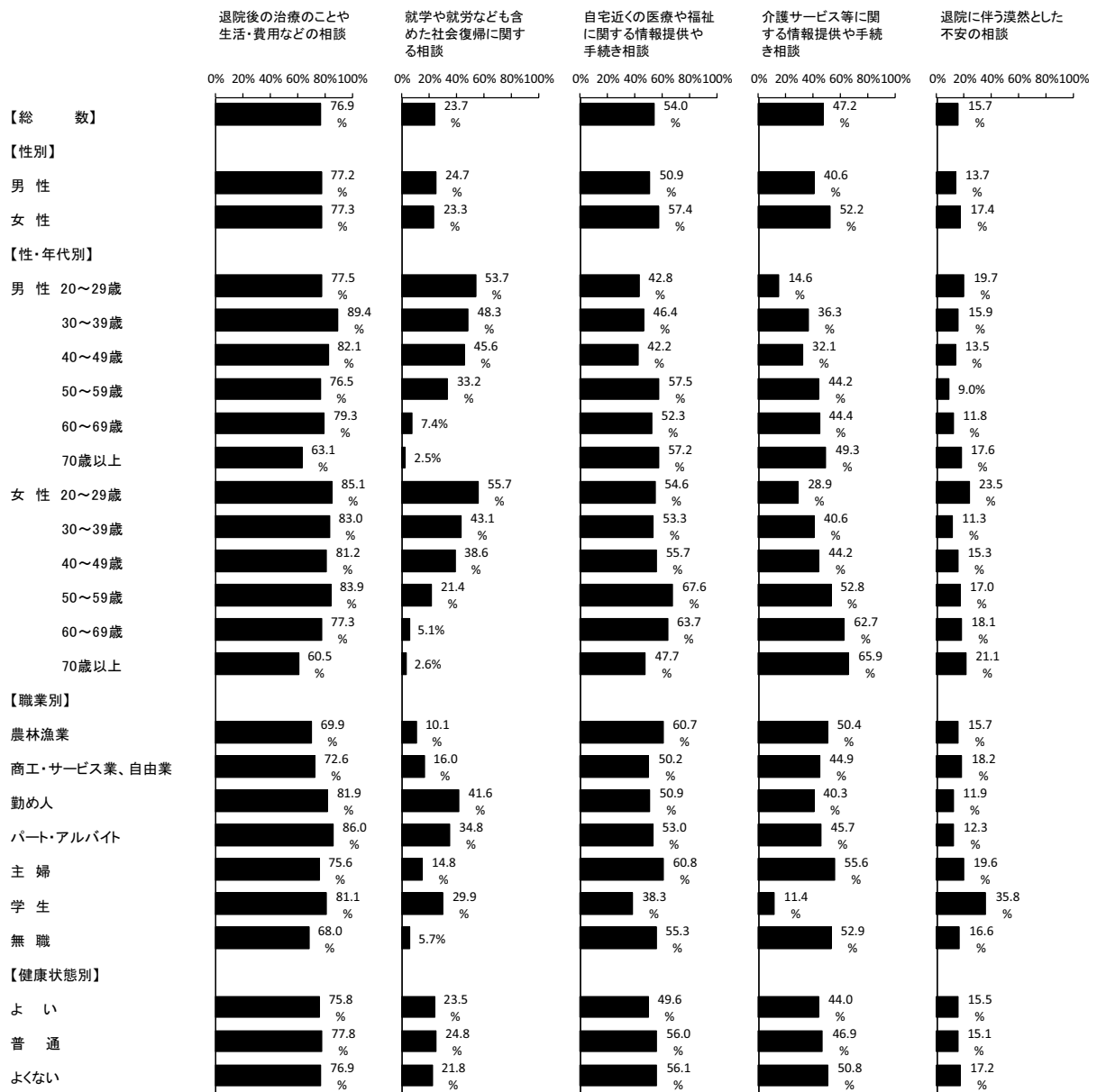
健康状態別による差異はほとんど認められない。

図 12-2 退院後に病院のソーシャルワーカーに望むこと

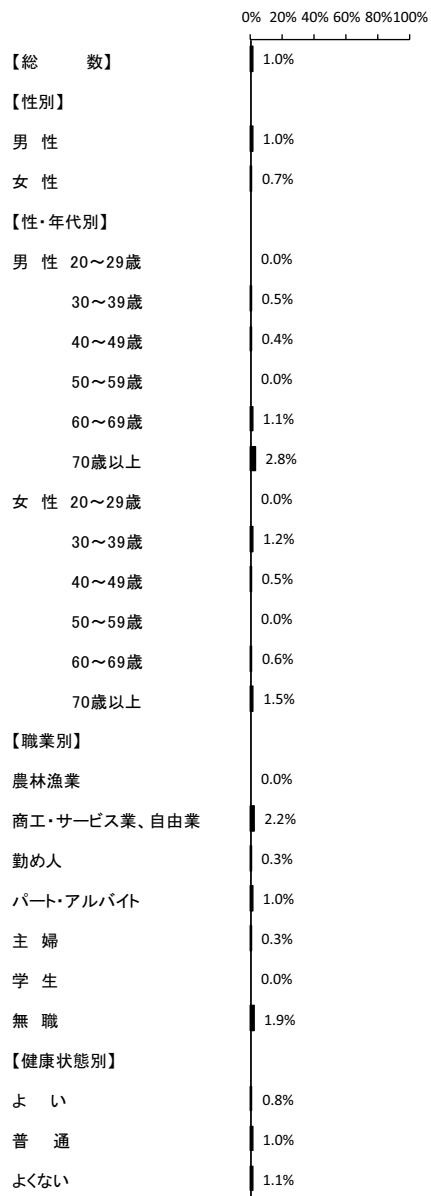


その他





その他



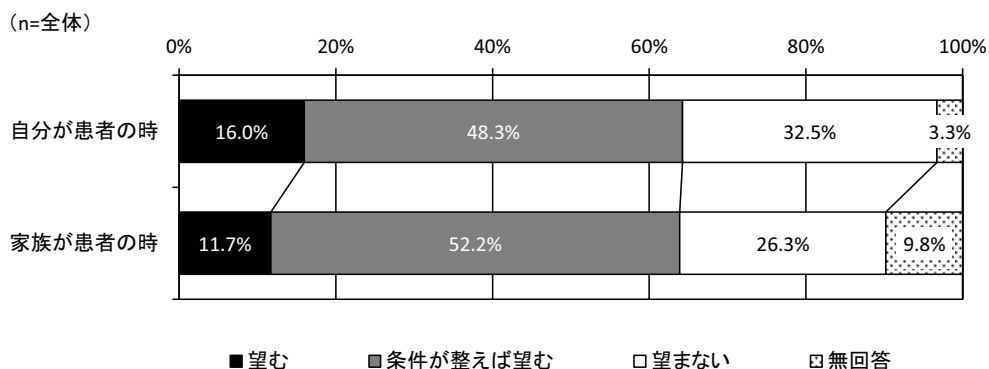
### 1.3 在宅医療について

#### (1) 自宅での療養希望の有無

～「条件が整えば」自分が患者、家族が患者とも約5割が自宅療養を望んでいる～

問18 もし、あなたやあなたの家族が治療や療養を必要とする場合、自宅での療養を望みますか。  
(両方に回答してください。)(○は1つだけ)

図 13-1



自分が患者の時「自宅療養を望む」は16.0%であり、家族が患者の時の11.7%を上回っている。同様に自分が患者の時「自宅療養を望まない」は32.5%であり、家族が患者の時の26.3%を上回っている。さらに「条件が整えば自宅療養を望む」は自分が患者の時は48.3%、家族が患者の時は52.2%となっている。<自宅療養を望む(「条件が整えば」を含む)>は患者として<自分><家族>に関わらず約65%となっている。

#### ◆地域別

自分が患者の時「自宅療養を望まない」は吾妻保健医療圏と桐生保健医療圏だけが30%を下回っているのに対して、家族が患者の場合は吾妻保健医療圏の20%を筆頭にすべての医療圏で軒並み30%を下回っている。自分が患者の時<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)が最も多いのは吾妻保健医療圏で68.9%、逆に最も少ないのは渋川保健医療圏の61.5%。家族が患者の時<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)が最も多いのは伊勢崎保健医療圏で68.8%、最も少ないのは前橋保健医療圏の60.8%となっている。

#### ◆市郡別

自分が患者の時は<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)が市部においては郡部より2.7%上回っており「自宅療養を望まない」は郡部が都市部を2.5%上回っている。家族が患者の時は<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)と「自宅療養を望まない」は市部と郡部の間で差が見られない。

#### ◆性別

自分が患者の時は「自宅療養を望む」が男性(19.4%)、女性(13.1%)、「条件が整えば自宅療養を望む」は男性(45.1%)、女性(51.5%)となっており、「自宅療養を望まない」は男女間で差異はほとんど認められない。家族が患者の時「自宅療養を望む」は男性(13.1%)、女性(10.7%)、「条件が整えば自

宅療養を望む」は男性(48.2%)、女性(56.1%)となっており、<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)は、女性が 66.8%で男性を 5.5%上回っている。また「自宅療養を望まない」は男性(29.0%)、女性(23.9%)となっている。

#### ◆性・年代別

自分が患者の時は「自宅療養を望む」は男女とも 70 歳以上の男性 (25.2%)・女性 (21.6%)、が最も多く「条件が整えば自宅療養を望む」は男性 30 代(54.3%)、女性は 20 代(65.2%)、「自宅療養を望まない」は男性 20 代(37.6%)、女性は 60 代(42.2%)が多くなっている。また家族が患者の時は「自宅療養を望む」は男女とも 70 歳以上の男性(18.3%)・女性(16.3%)、が最も多く「条件が整えば自宅療養を望む」は男性 40 代(61.4%)、女性は 30 代(71.9%)、「自宅療養を望まない」は男性が 20 代(37.3%)、女性は 50 代(30.1%)が多い。

#### ◆職業別

自分が患者の時「自宅療養を望む」は、農林漁業(24.3%)が最も多く、勤め人(12.6%)の約 2 倍、「条件が整えば自宅療養を望む」は、学生(59.7%)・勤め人(54.2%)の順で多く、「自宅療養を望まない」は主婦(33.7%)が最も多い。家族が患者の時は「自宅療養を望む」は商工・サービス業、自由業 (16.5%)、が最も多く「条件が整えば自宅療養を望む」はパート・アルバイト(58.8%)、勤め人(57.3%)の順で多く、「自宅療養を望まない」は商工・サービス業、自由業(29.6%)が最も多い。

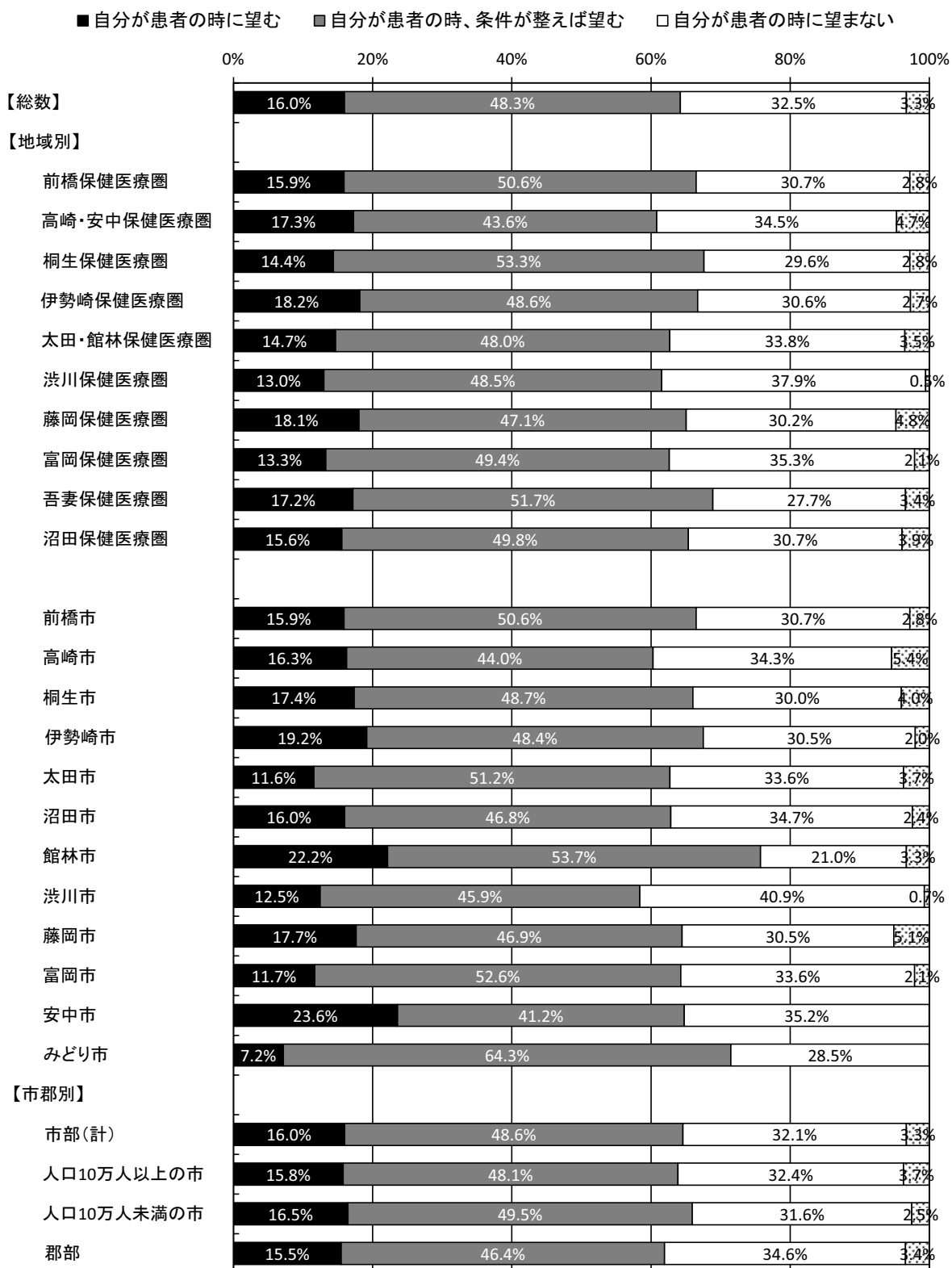
#### ◆健康状態別

自分が患者の時<自宅療養を望む>(「条件が整えば」を含む)は、健康状態が「よい」「普通」に大きな差異は認められないが、「よくない」は 10%ほど下がり 57.7%、「自宅療養を望まない」は、「よい」「普通」に対して「よくない」が 7%ほど高く(37.7%)となっている。家族が患者の時は、「自宅療養を望む」は健康状態が「よい」(14.9%)、「普通」(10.7%)、「よくない」(9.4%)の順に少なくなっており、「自宅療養を望まない」が「よくない」(29.5%)、「普通」(26.7%)、「よい」(23.6%)の順に少なくなっている。

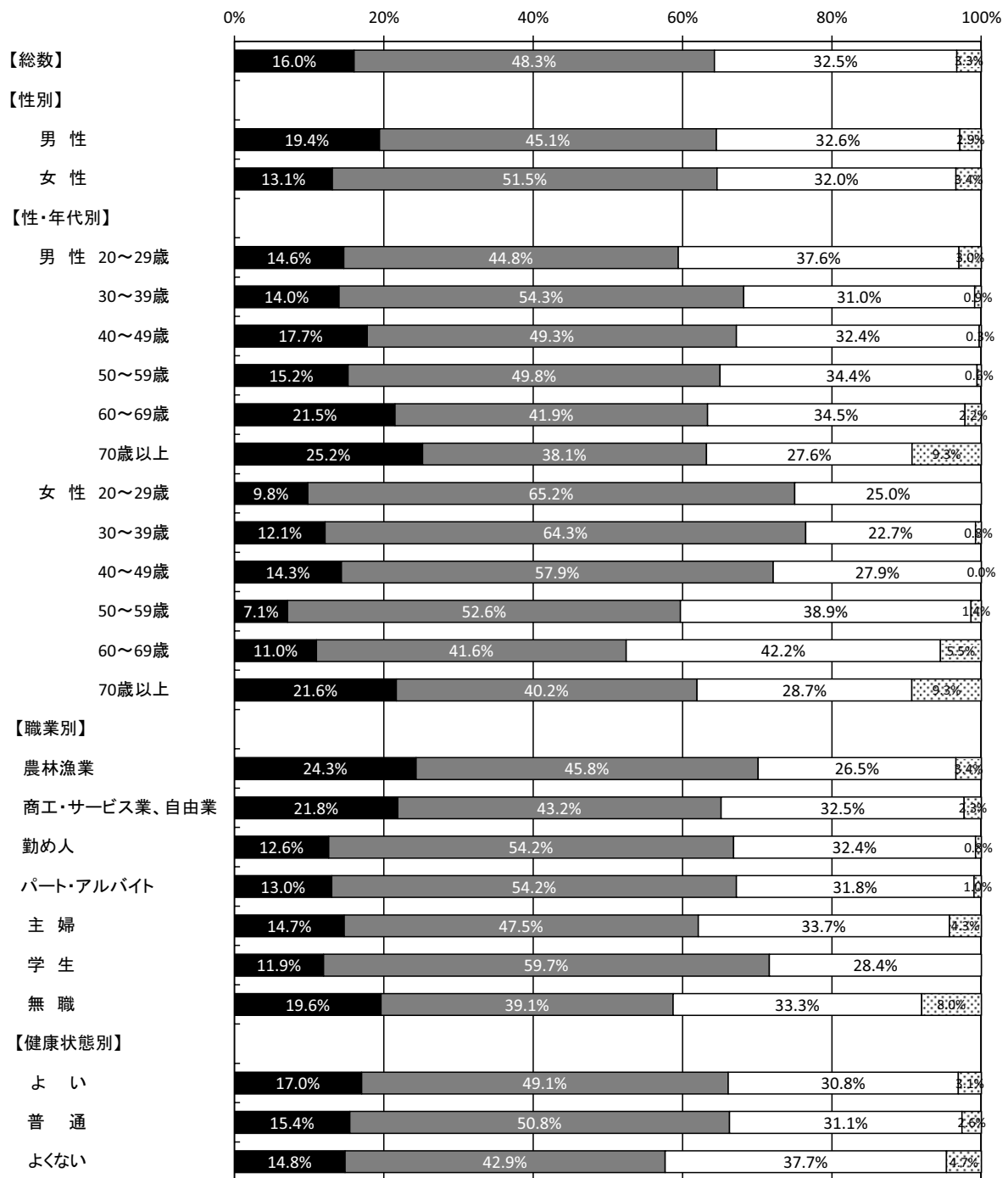


図 13-2 自宅での療養希望の有無

自分が患者の場合

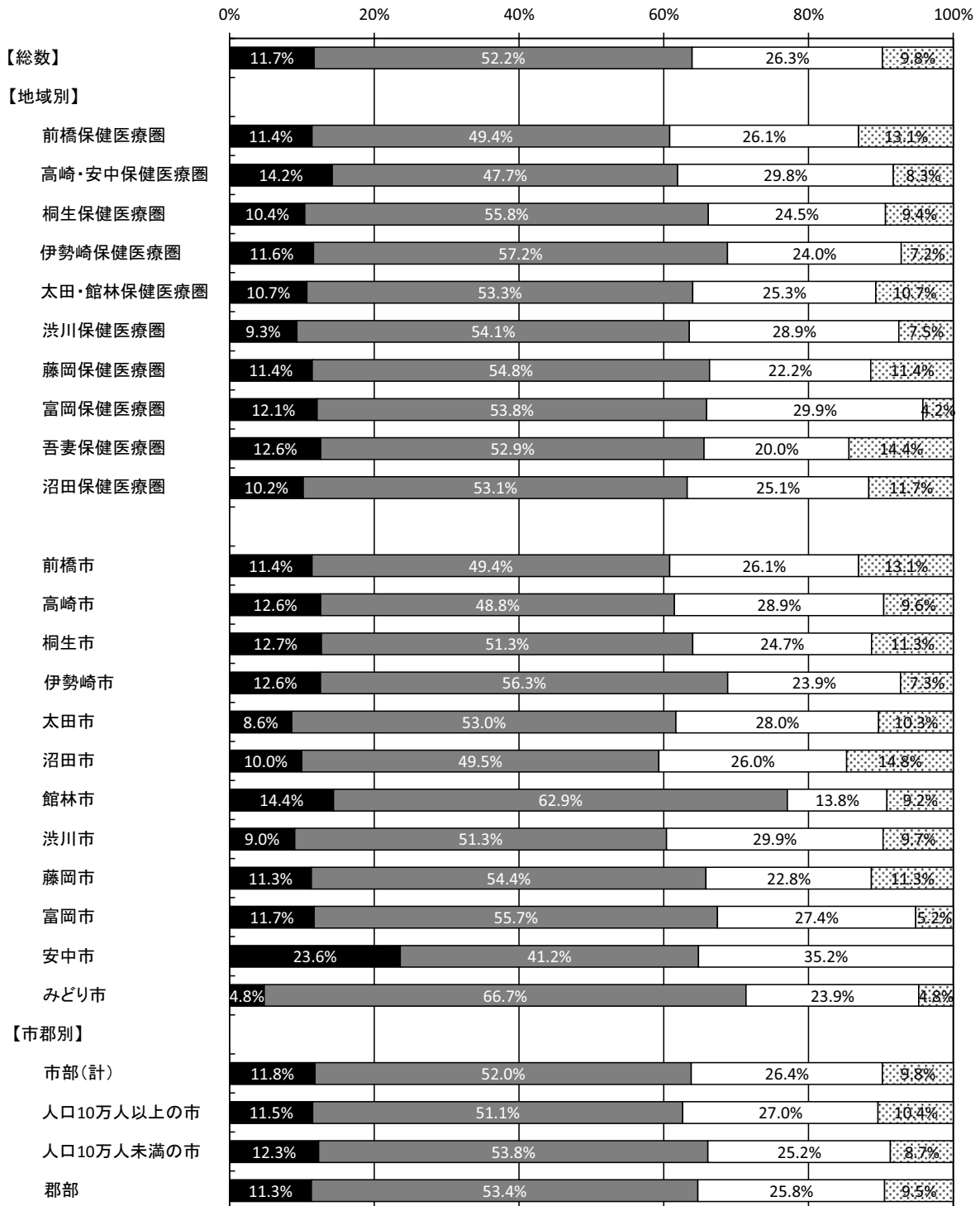


■自分が患者の時に望む ■自分が患者の時、条件が整えば望む □自分が患者の時に望まない □無回答

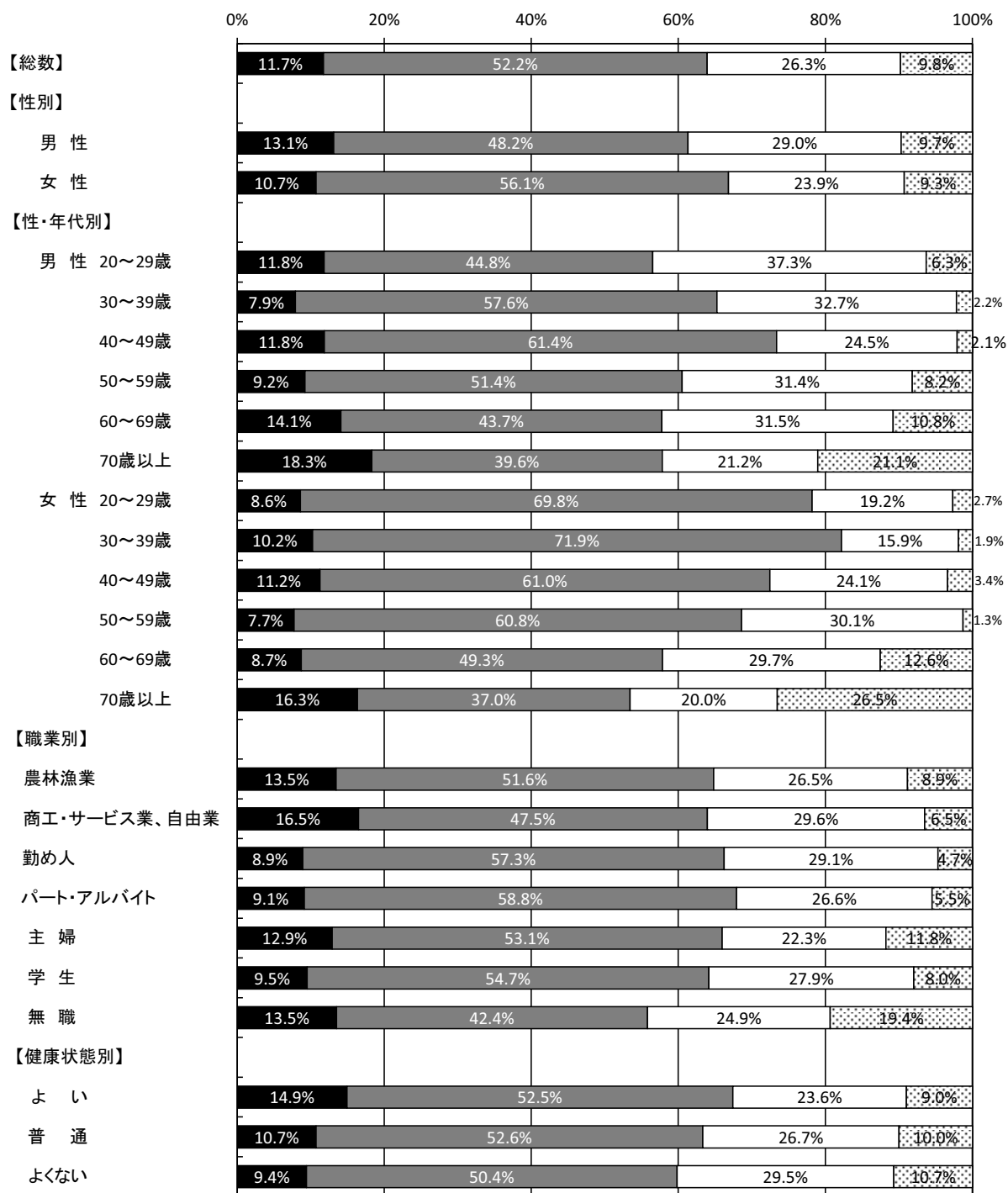


## 家族が患者の場合

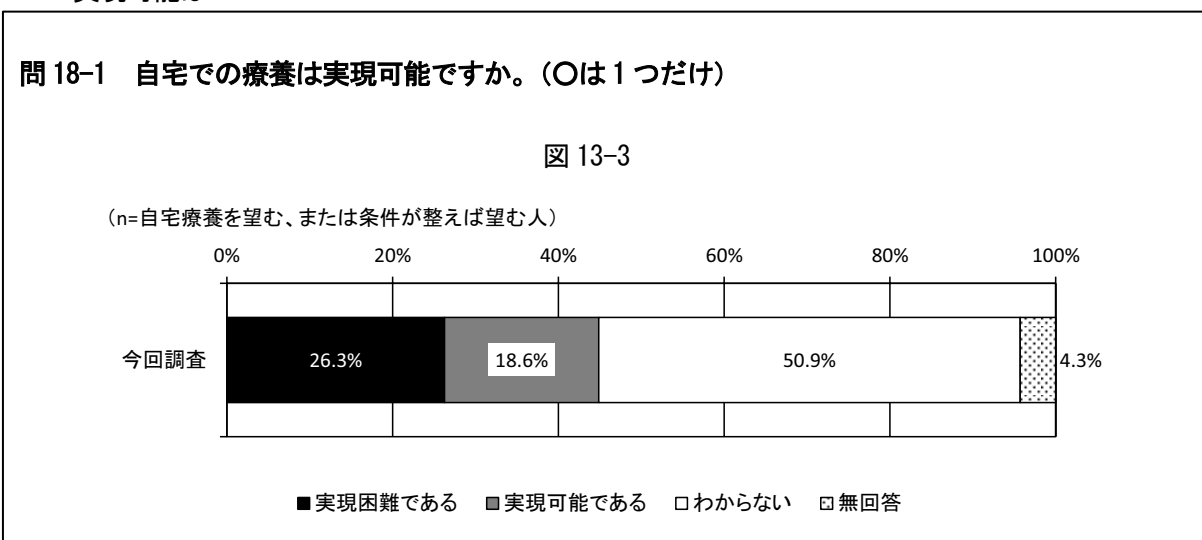
■ 家族が患者の時に望む ■ 家族が患者の時、条件が整えば望む □ 家族が患者の時に望まない □ 無回答



■ 家族が患者の時に望む ■ 家族が患者の時、条件が整えば望む □ 家族が患者の時に望まない □ 無回答



(2) 自宅療養の実現可能性  
～実現可能は18.6%～



自宅療養が「実現可能である」は18.6%、「実現困難である」は26.3%、「わからない」は50.9%となっている。

◆地域別

自宅療養が「実現可能である」は藤岡保健医療圏(20.7%)が最も多く、最も少ない沼田保健医療圏(9.7%)の約2倍となっている。「実現困難である」は吾妻保健医療圏(31.9%)が最も多く、最も少ない前橋保険医療圏(20.5%)よりも11.4%多い。

◆市郡別

自宅療養が「実現可能である」は都市部(18.0%)より郡部(21.9%)の方が多く、「実現困難である」は都市部(26.4%)、郡部(25.7%)で、大きな差異は認められない。

◆性別

自宅療養が「実現可能である」は男性(20.2%)女性(16.7%)であり、「実現困難である」は男性(25.4%)、女性(26.7%)で、大きな差異は認められない。

◆性・年代別

自宅療養が「実現可能である」は女性が70歳以上(22.1%)、60代(20.2%)の順で多く、男性は30代(27.0%)、60代(26.4%)の順となっている。「実現困難である」は男性の中では70歳以上(19.0%)、が最も少なく、40代(34.5%)が最も多い。女性においては20代(38.6%)が最も多く、60代(21.1%)が最も少ない。

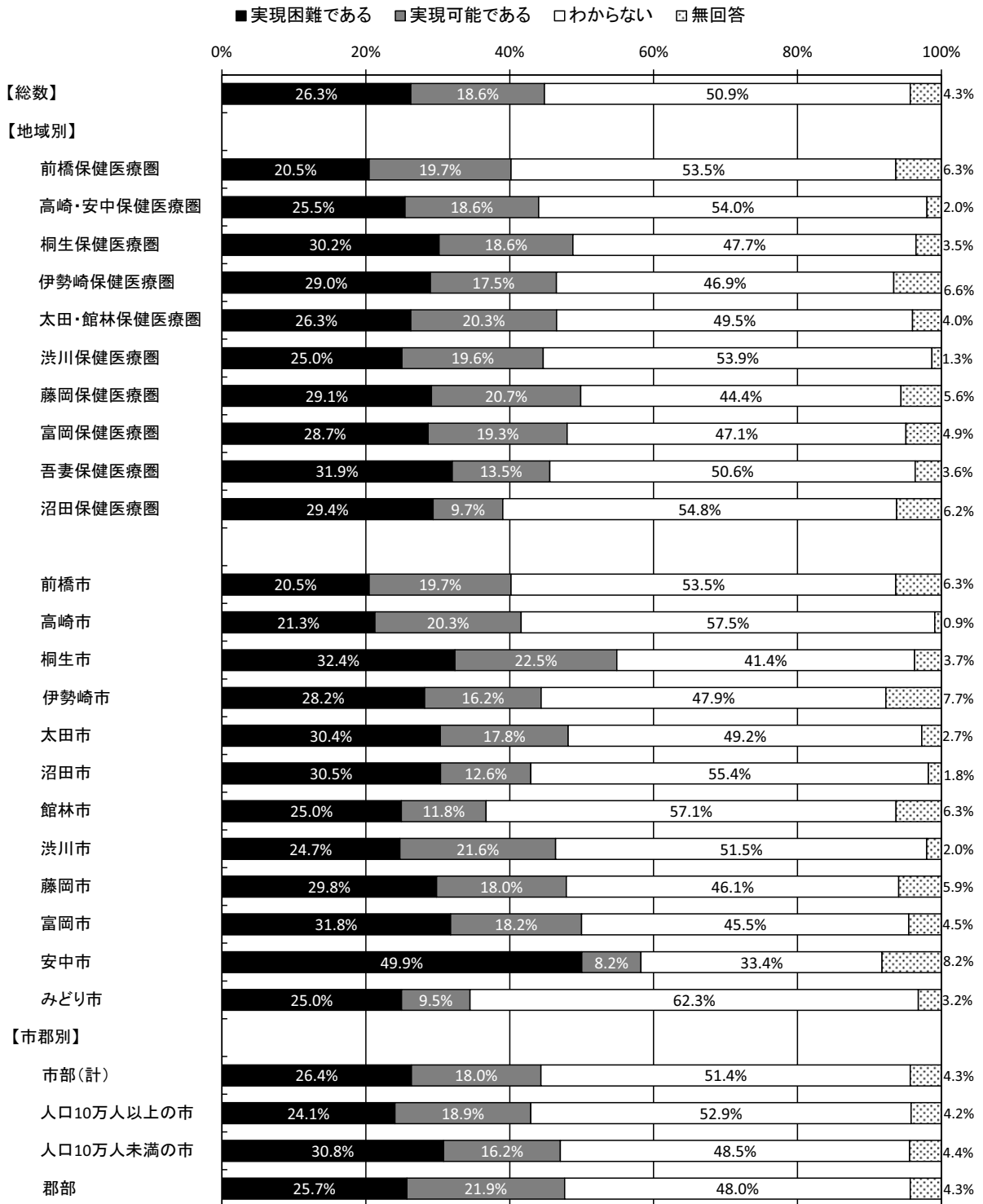
◆職業別

自宅療養が「実現可能である」は農林漁業が29.9%で、最も少ないパート・アルバイト(10.9%)の約3倍となっている。「実現困難である」は農林漁業(35.5%)が最も多く、最も少ない主婦(15.1%)の2倍強となっている。また「わからない」は農林漁業が他よりもかなり少なくなっている。

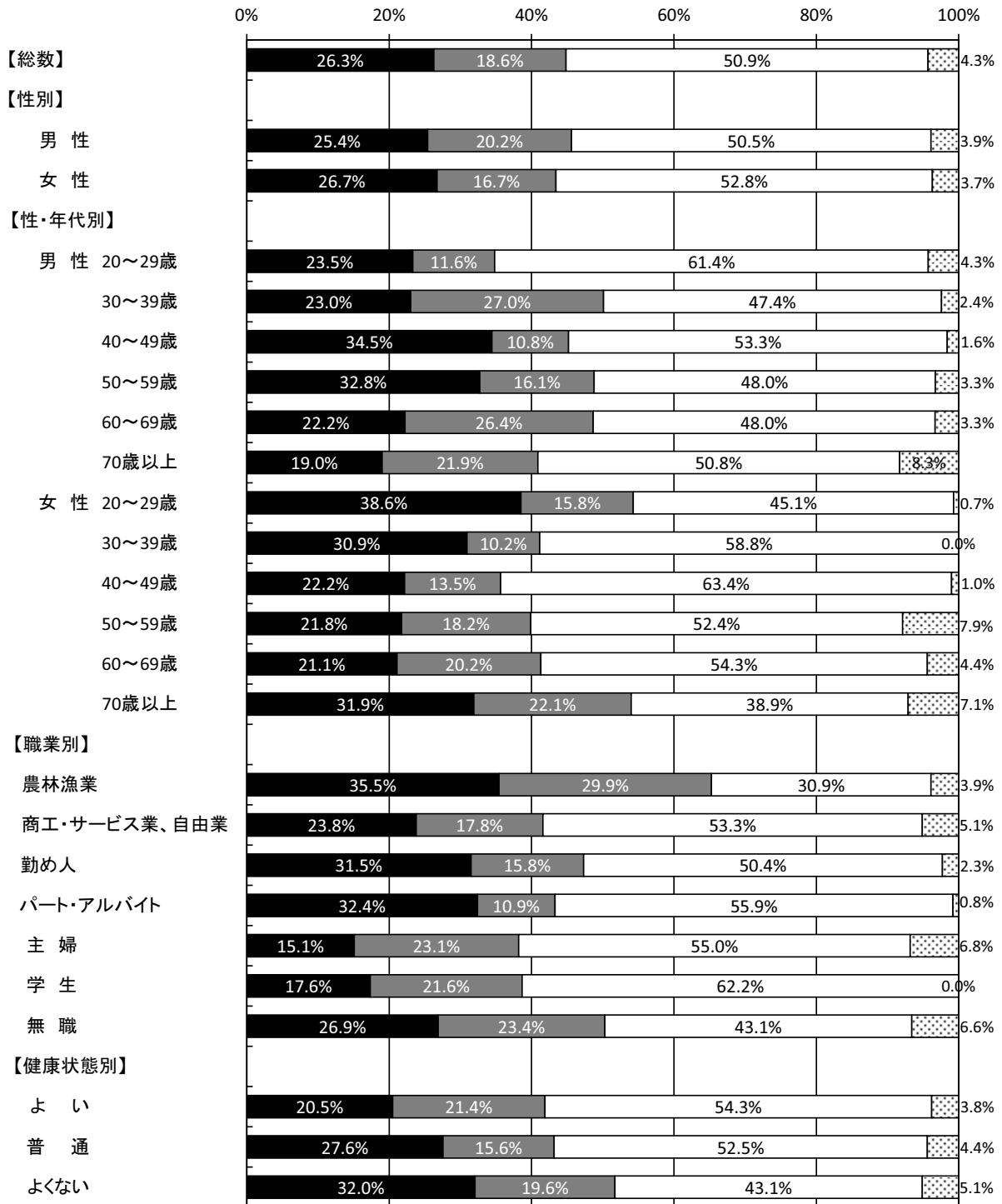
◆健康状態別

自宅療養が「実現可能である」は健康状態が「よい」(21.4%)、「よくない」(19.6%)、「普通」(15.6%)の順。「実現困難である」は健康状態が「よくない」(32.0%)、「普通」(27.6%)、「よい」(20.5%)の順。

図 13-4 自宅療養の実現可能性



■ 実現困難である ■ 実現可能である □ わからない □ 無回答



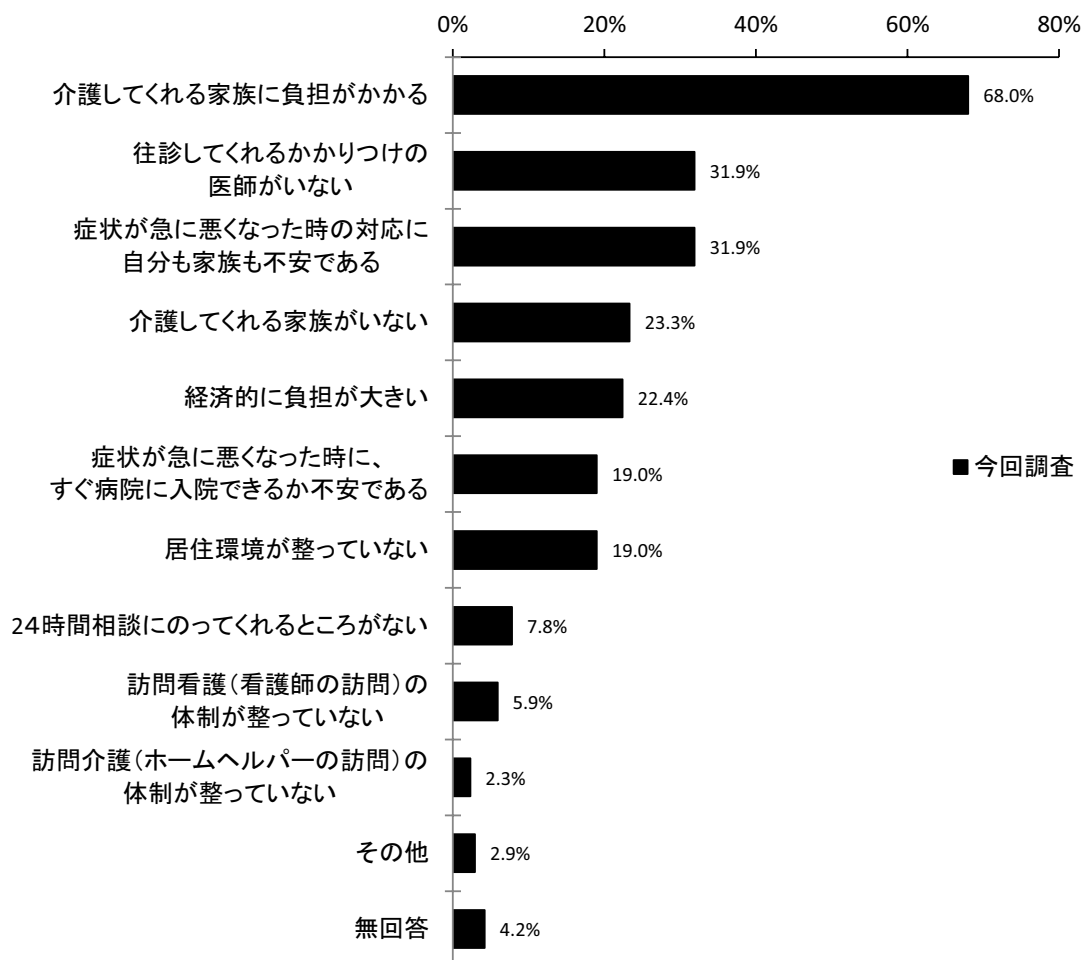
### (3) 自宅療養が実現困難な理由

～ 「介護してくれる家族に負担がかかる」(68.0%)がトップ ～

#### 問 18-2 自宅療養が実現困難な理由は何ですか。(○は3つまで)

図 13-5

(n=自宅での療養が実現困難である人)



「介護してくれる家族に負担がかかる」(68.0%)「往診してくれるかかりつけの医師がない」(31.9%)、「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」(31.9%)が主な理由、その他「介護してくれる家族がない」(23.3%)、「経済的に負担が大きい」(22.4%)となっている。

#### ◆地域別

「介護してくれる家族に負担がかかる」は高崎・安中保健医療圏(85.2%)、前橋保健医療圏(80.6%)では80%を超えており、最も少ない沼田保健医療圏(42.4%)の約2倍となっている。「往診してくれるかかりつけの医師がない」は、渋川保健医療圏(46.7%)、富岡保健医療圏(40.7%)が多くなっている。



◆市郡別

「介護してくれる家族に負担がかかる」は市部(71.4%)と郡部(48.7%)で大きな差異が出ている。

「往診してくれるかかりつけの医師がいない」や「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」は市部、郡部でほとんど差異がない。

◆性別

「往診してくれるかかりつけの医師がいない」は男性(36.3%)に対して女性(29.1%)と差異があるが、「介護してくれる家族に負担がかかる」や「症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である」では男女差はほぼない。

◆性・年代別

「介護してくれる家族に負担がかかる」は男性 70 歳以上(58.9%)が最も少なく、女性は 50 代(56.4%)が最も少ない。「往診してくれるかかりつけの医師がいない」は男性においては 50 代(53.4%)が最も多く、女性においては突出したものがないが 70 歳以上(38.6%)が最も多い。

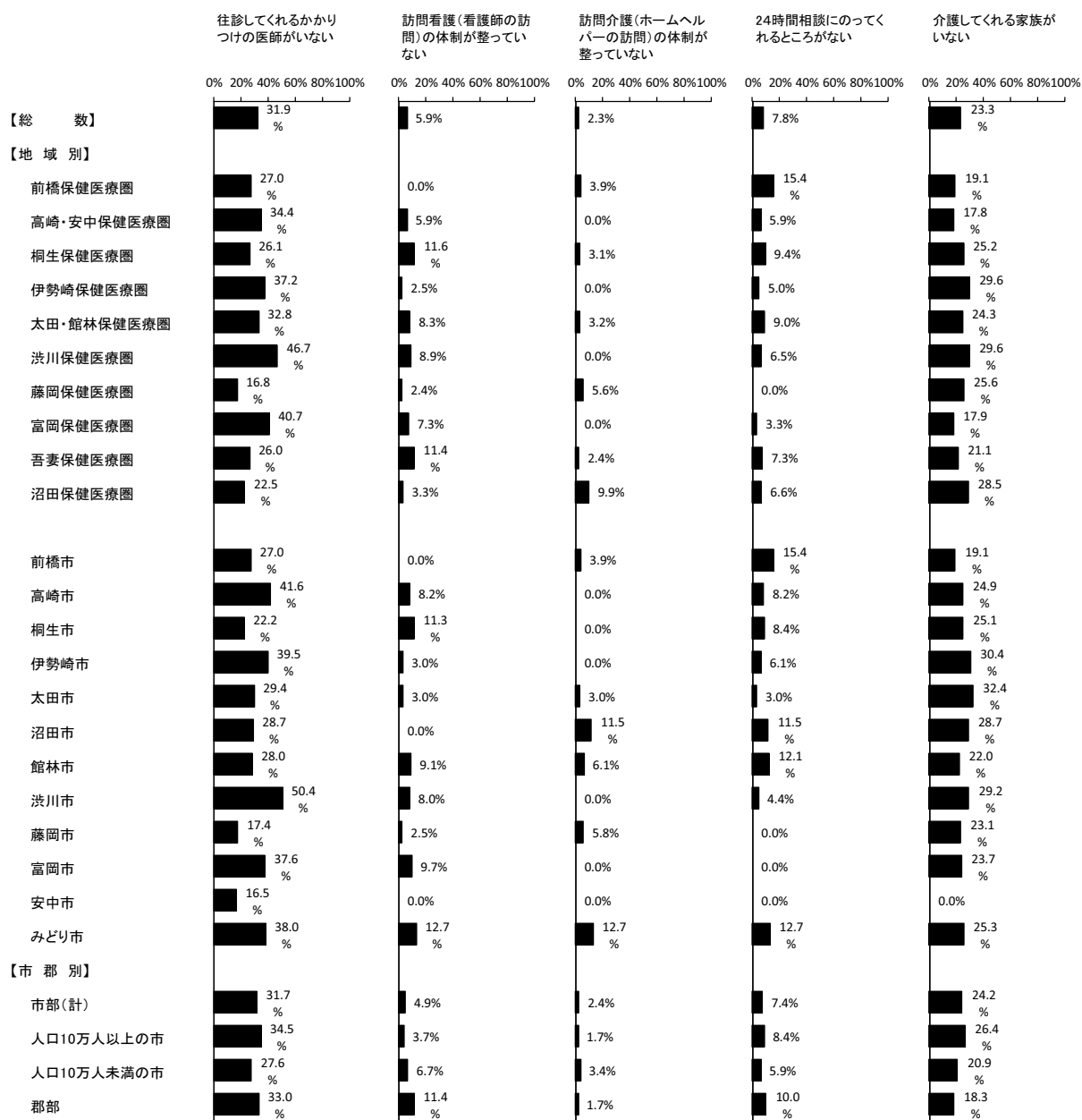
◆職業別

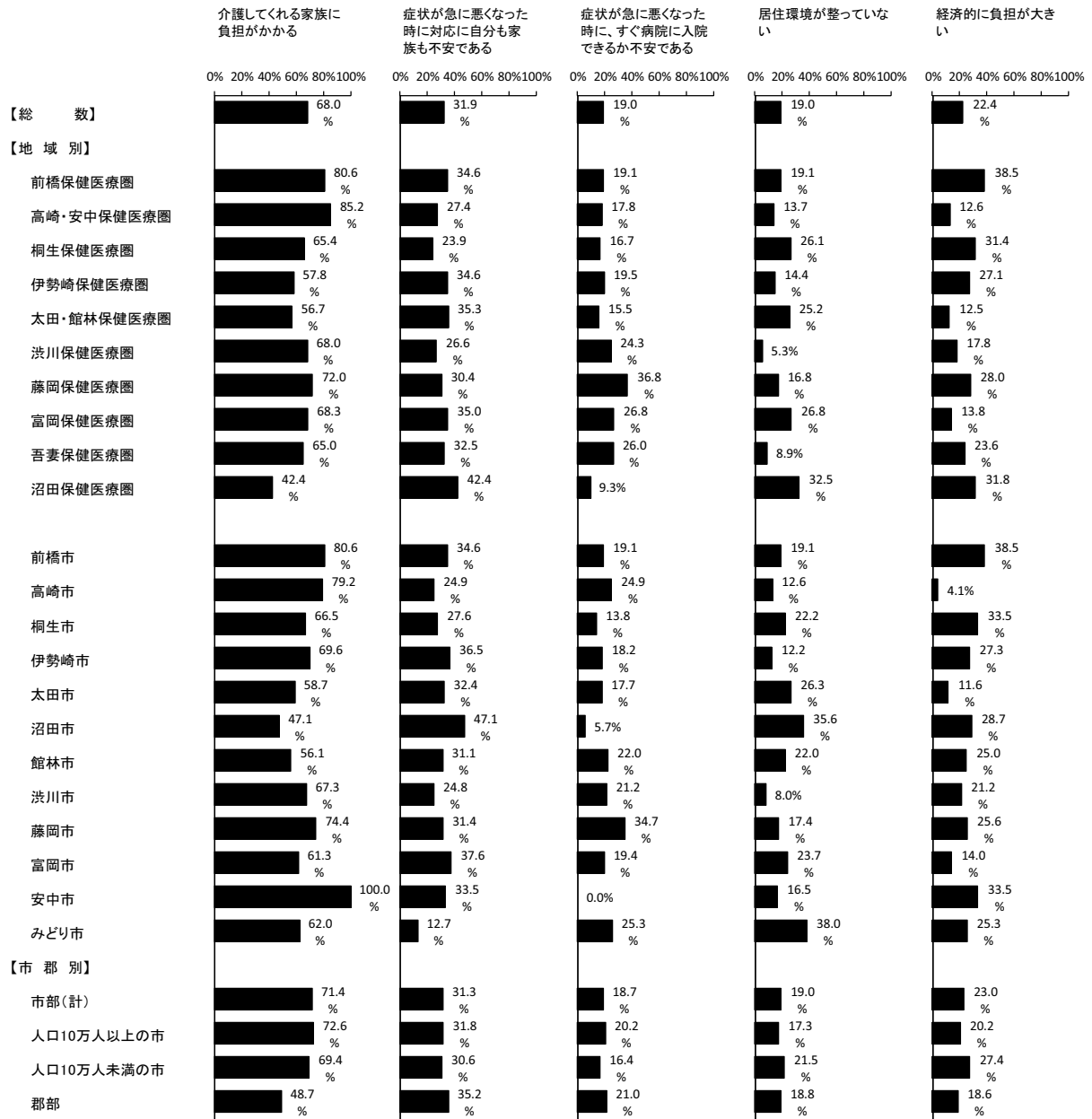
「介護してくれる家族に負担がかかる」は主婦(81.7%)、商工・サービス業、自由業(75.1%)の順で多い。「往診してくれるかかりつけの医師がいない」は無職(41.9%)、主婦(37.4%)、商工・サービス業、自由業(36.8%)の順で多い。

◆健康状態別

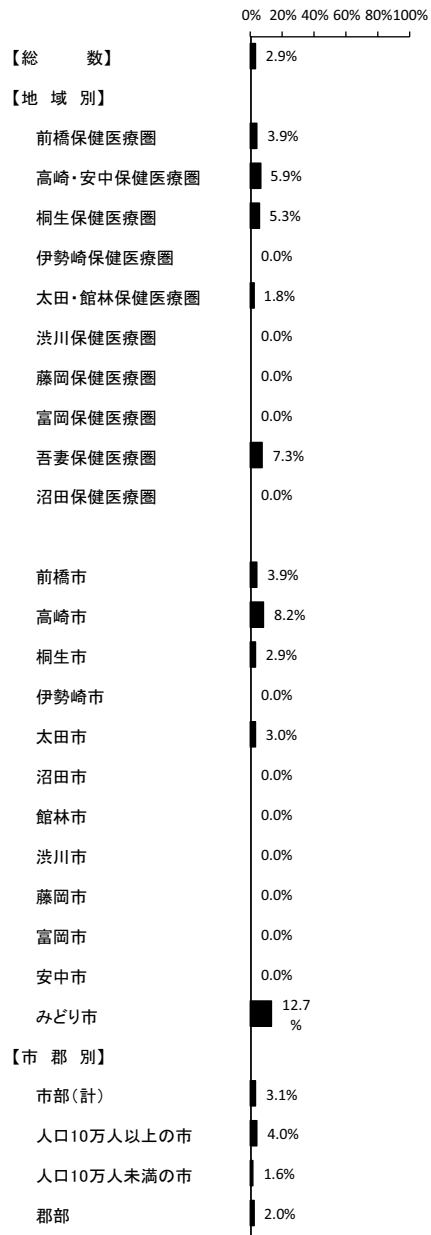
健康状態別では、全体としてそれほど大きな差異はないが、「介護してくれる家族に負担がかかる」は健康状態が「よくない」が 62.3%で最も少なく「往診してくれるかかりつけの医師がいない」では 36.5%で最も多い。

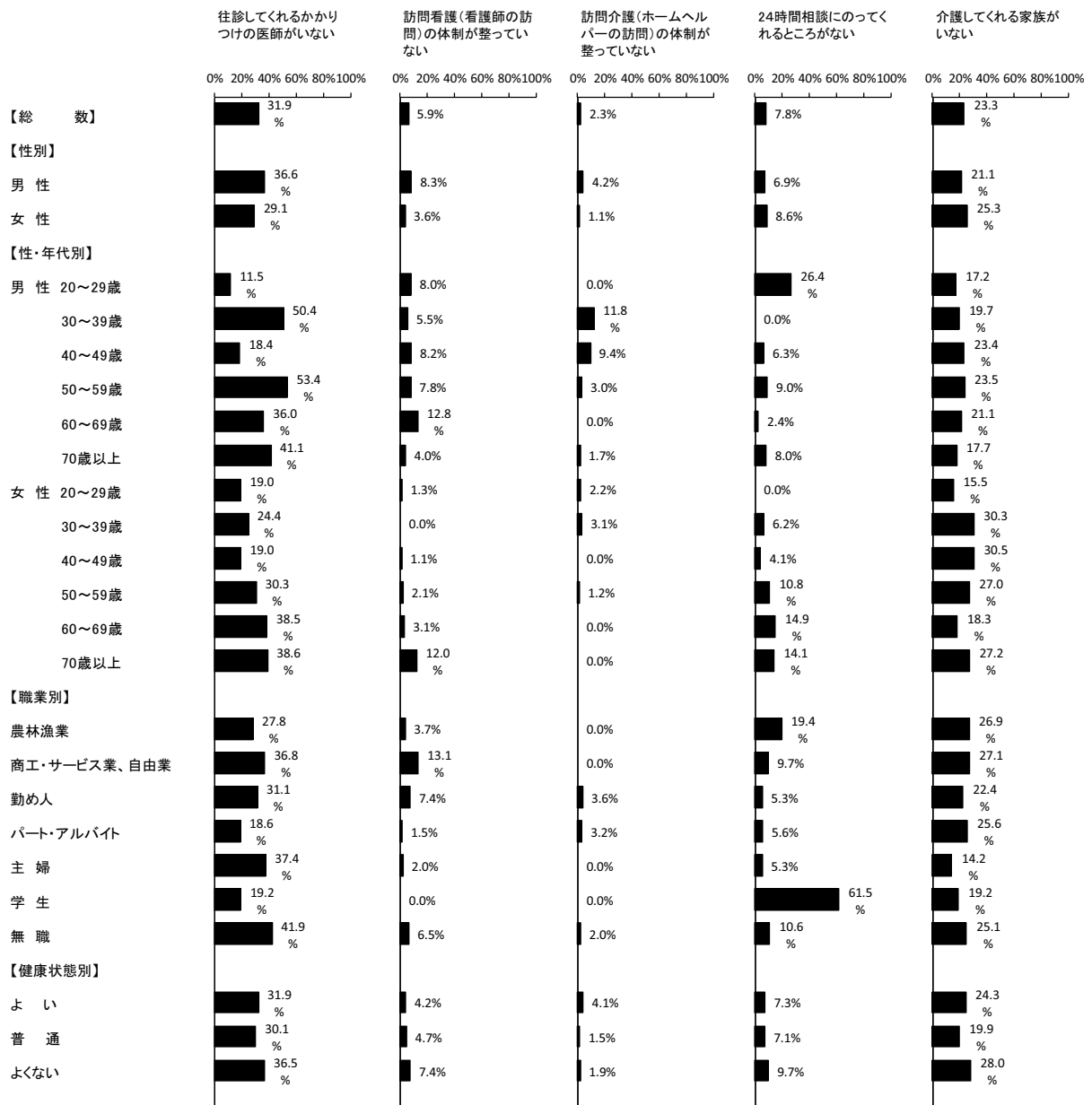
図 13-6 自宅療養が実現困難な理由

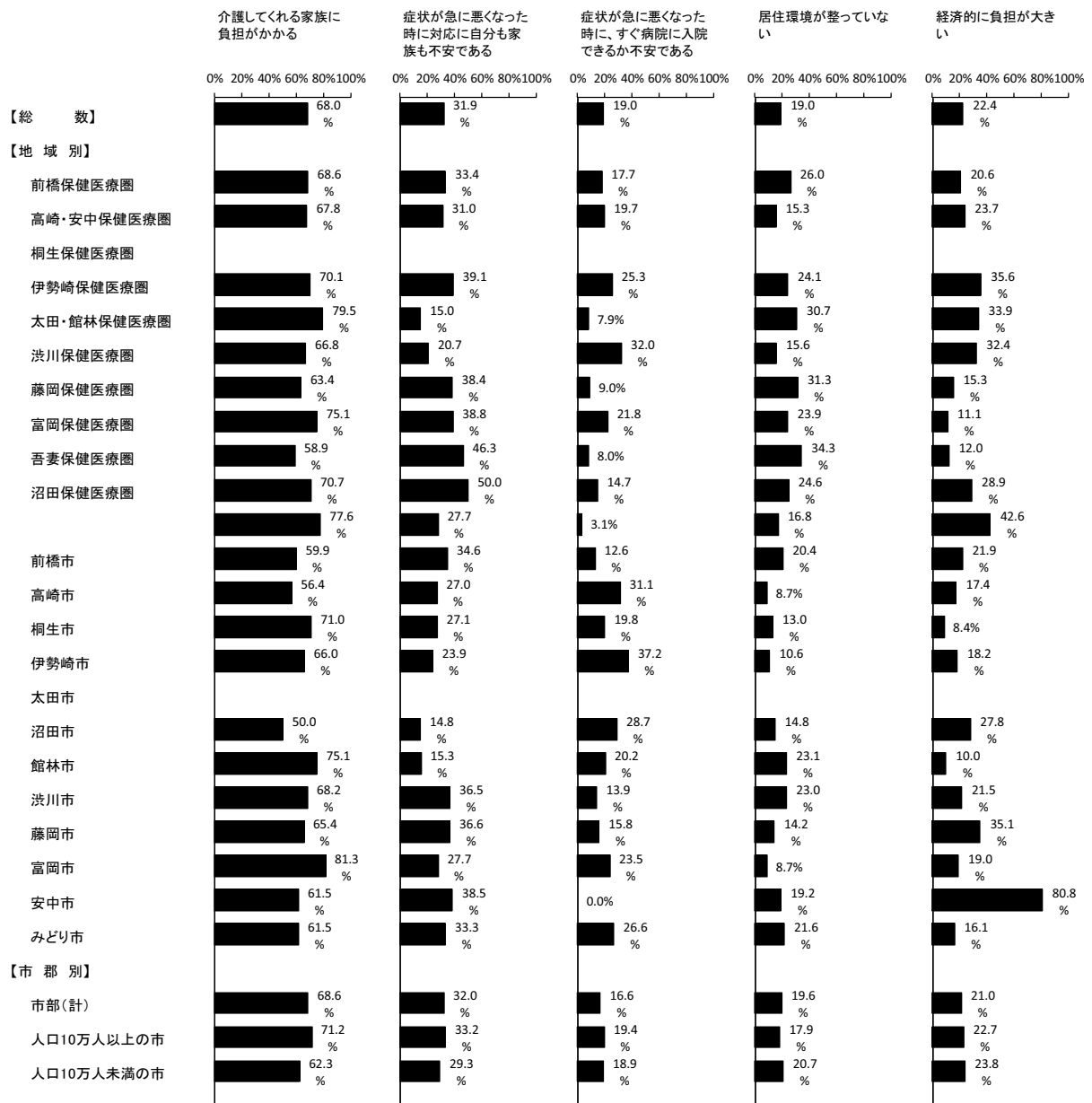




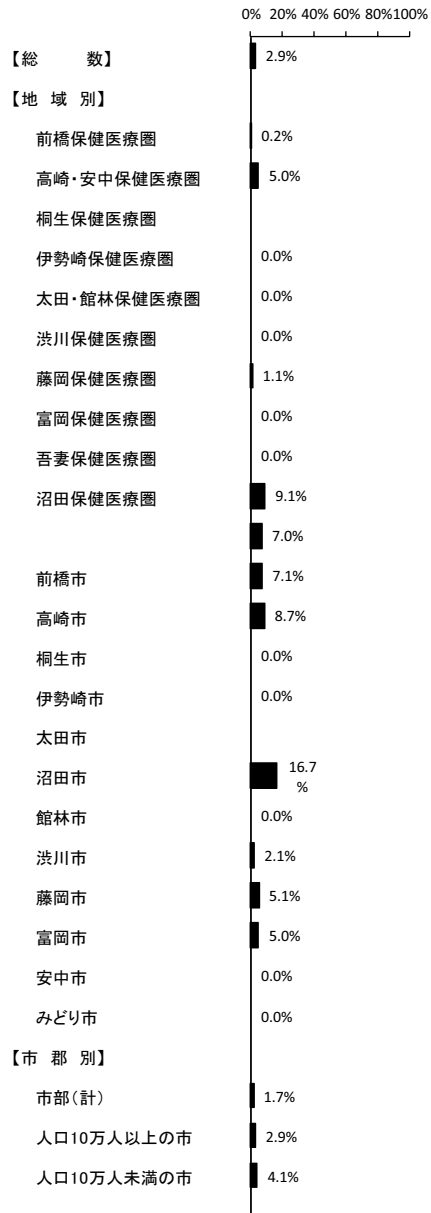
その他







その他



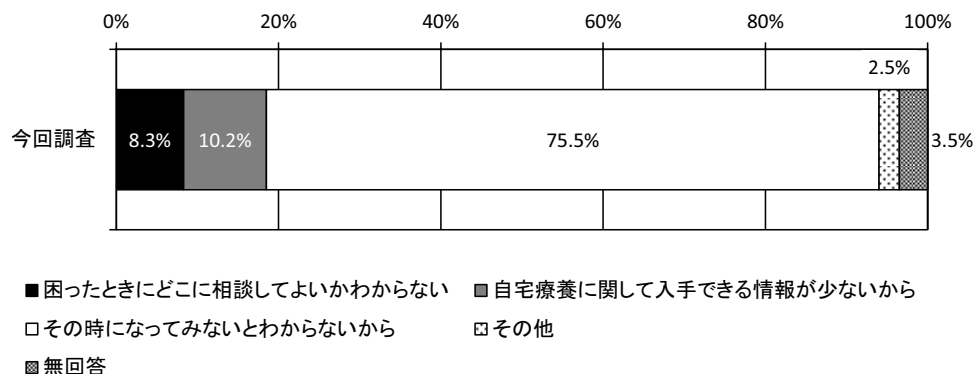
(4) 自宅療養が実現可能かわからない理由

～ 「その時になってみないとわからないから」が75.5% ～

問 18-3 自宅療養が実現可能かわからない理由は何ですか。(○は1つだけ)

図 13-7

(n=自宅療養の実現可能かわからない人)



「その時になってみないとわからないから」が75.5%、「自宅療養に関して入手できる情報が少ないから」が10.2%となっている。

◆地域別

「その時になってみないとわからないから」は全般的に多いが、特に高崎・安中保健医療圏(86.4%)、伊勢崎保健医療圏(81.9%)と多くなっている。「自宅療養に関して入手できる情報が少ないから」は前橋保健医療圏、藤岡保健医療圏(いずれも14.7%)で多くなっている。

◆市郡別

「その時になってみないとわからないから」は市部(77.3%)が郡部(64.9%)をかなり上回っている。「困ったときにどこに相談してよいかわからない」は市部(7.5%)、郡部(13.1%)となっている。

◆性別

「その時になってみないとわからないから」が男性(71.7%)に対して女性(78.0%)、また「困ったときにどこに相談してよいかわからない」が女性(6.4%)に対して男性(11.6%)となっている。

◆性・年代別

「その時になってみないとわからないから」が女性70歳以上(86.0%)、60代(83.5%)で、いずれも80%を越えている。男性は70歳以上が79.3%で最も多いが、60代は67.0%と二番目に低くなっている。

◆職業別

やはり「その時になってみないとわからないから」が全般的に多いが、農林漁業(89.4%)、パート・アルバイト(84.2%)が突出している。少ないながらも「困ったときにどこに相談してよいかわからない」では勤め人(13.7%)が突出している。

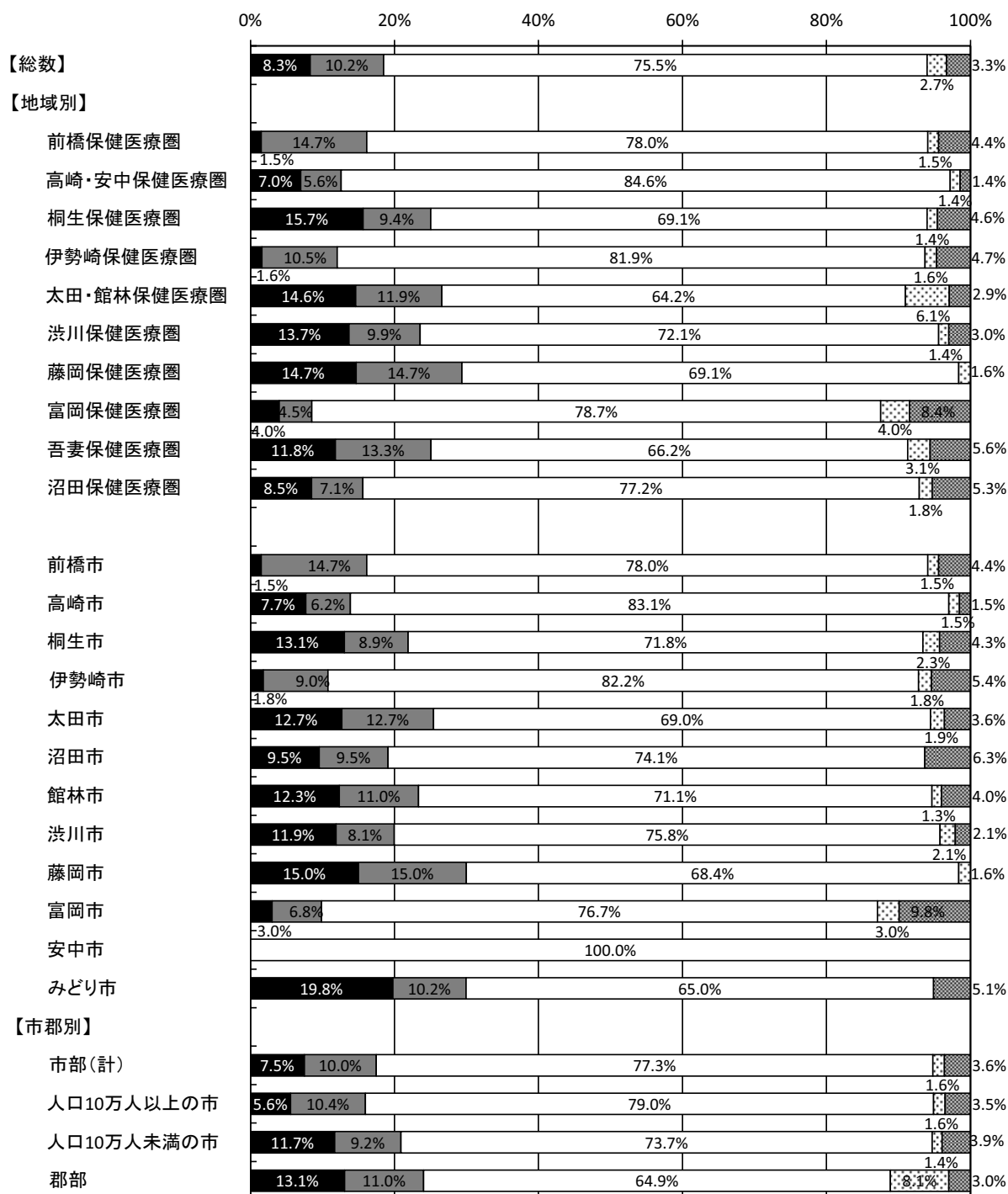
◆健康状態別

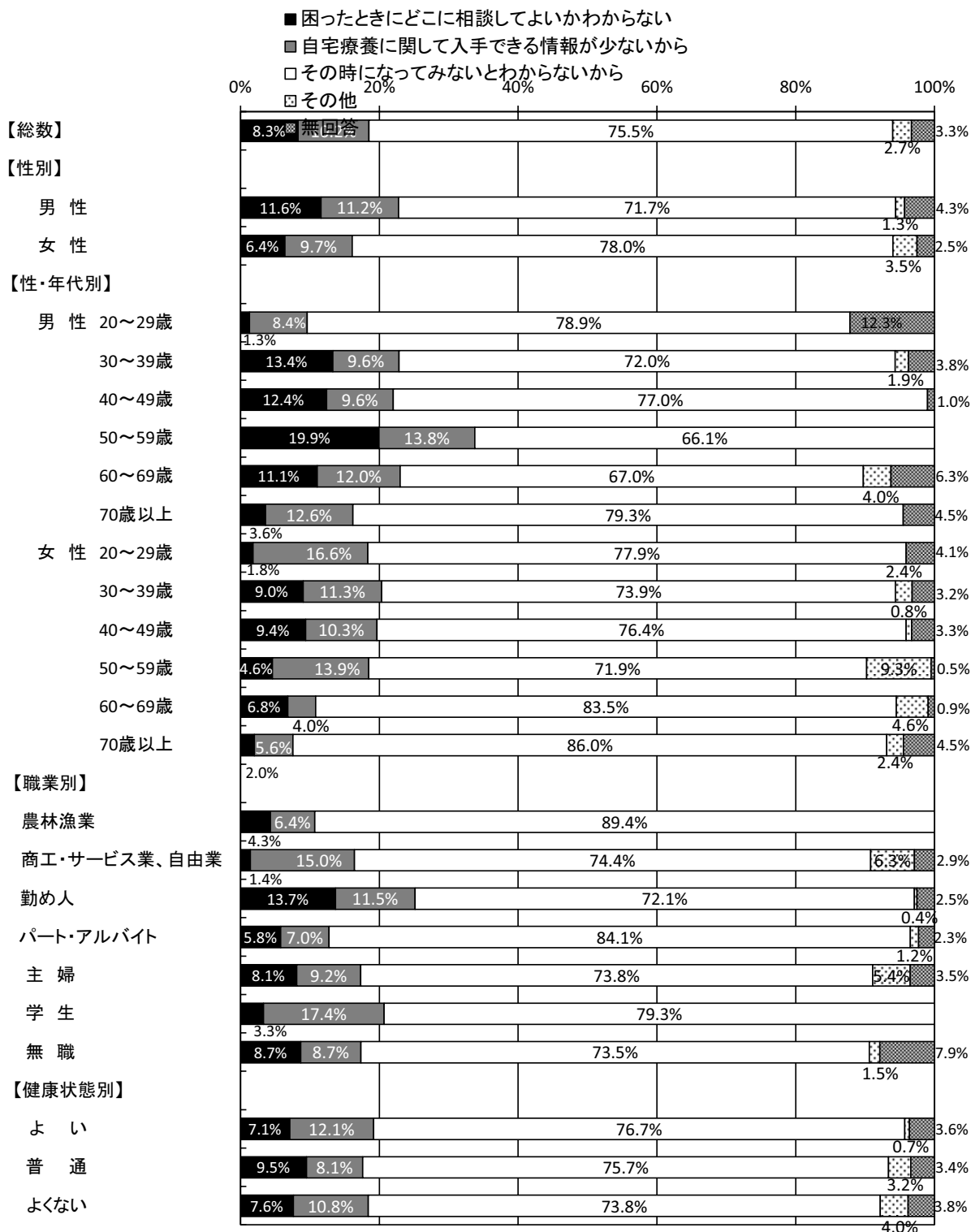
健康状態が「よい」「普通」「よくない」であまり差異が見られなかった。



図 13-8 自宅療養が実現可能かわからない理由

- 困ったときにどこに相談してよいかわからない
- 自宅療養に関して入手できる情報が少ないから
- その時になってみないとわからないから
- その他
- 無回答

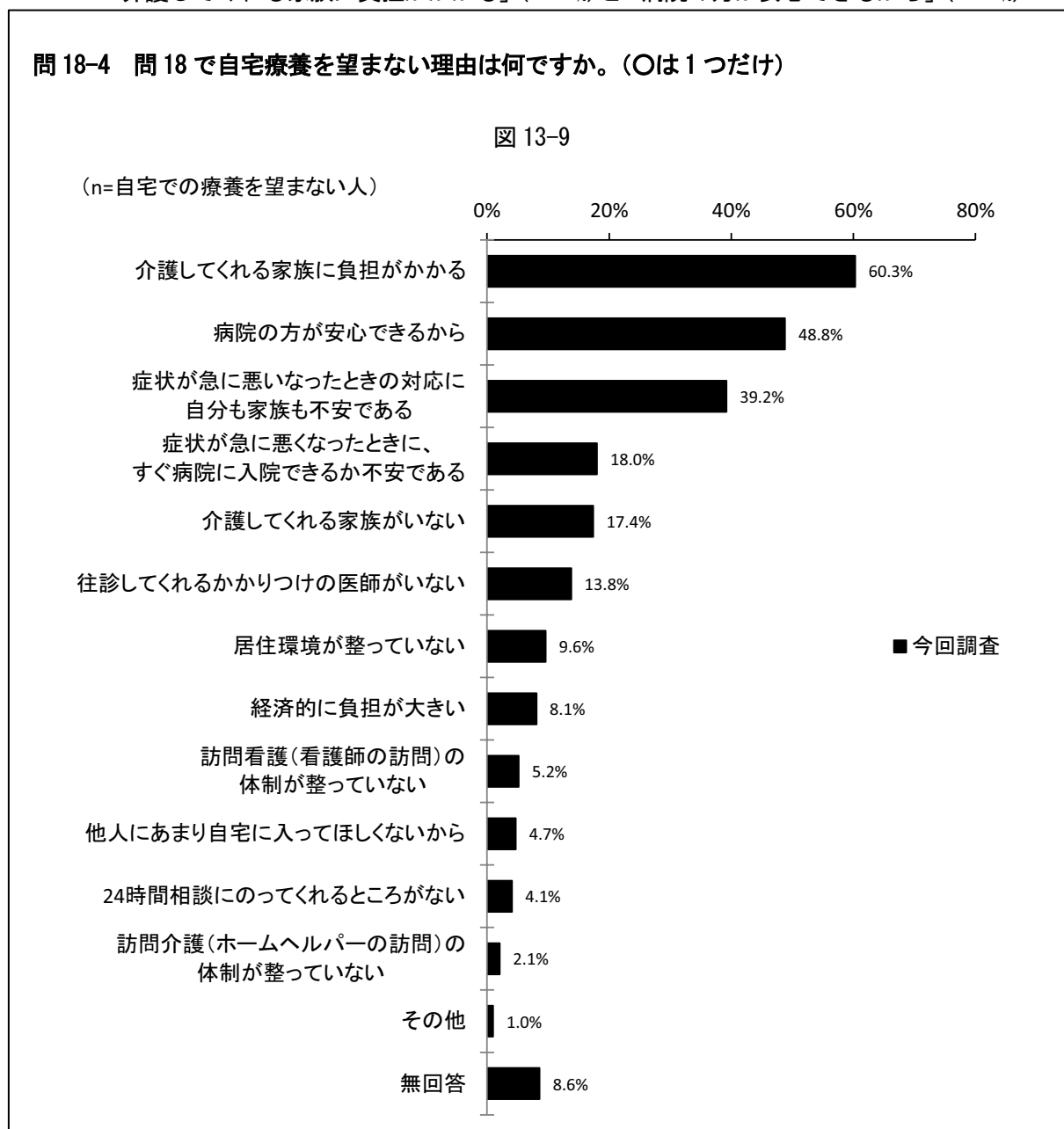




(5) 自宅療養を望まない理由

～ 「介護してくれる家族に負担がかかる」(60.3%)と「病院の方が安心できるから」(48.8%) ～

問 18-4 問 18 で自宅療養を望まない理由は何ですか。(〇は1つだけ)



「介護してくれる家族に負担がかかる」(60.3%)と「病院の方が安心できるから」(48.8%)「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」(39.2%)の順に多く、その他「症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である」(18.0%)、「介護してくれる家族がいない」(17.4%)となっている。

◆地域別

「介護してくれる家族に負担がかかる」の中では藤岡保健医療圏が69.8%で最も多く、最も少ない伊勢崎保健医療圏(44.9%)と約25%の差異が生じている。「病院の方が安心できるから」では前橋保健医療圏が57.2%で最も多く藤岡保健医療圏が38.7%で最も少ない。「症状が急に悪くなったときの対応に「自分も家族も不安である」は吾妻保健医療圏が19.9%と他の医療圏の約半分となっている。

◆市郡別

「介護してくれる家族に負担がかかる」「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」とも市部が郡部を約 10%上回っている。

◆性別

「介護してくれる家族に負担がかかる」では女性が男性を上回っているが、「病院の方が安心できるから」「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」は男性が女性を上回っている。

◆性・年代別

「介護してくれる家族に負担がかかる」「病院の方が安心できるから」「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」等は男女とも、ほぼ 40 代、50 代が多く、70 歳以上は少ない。

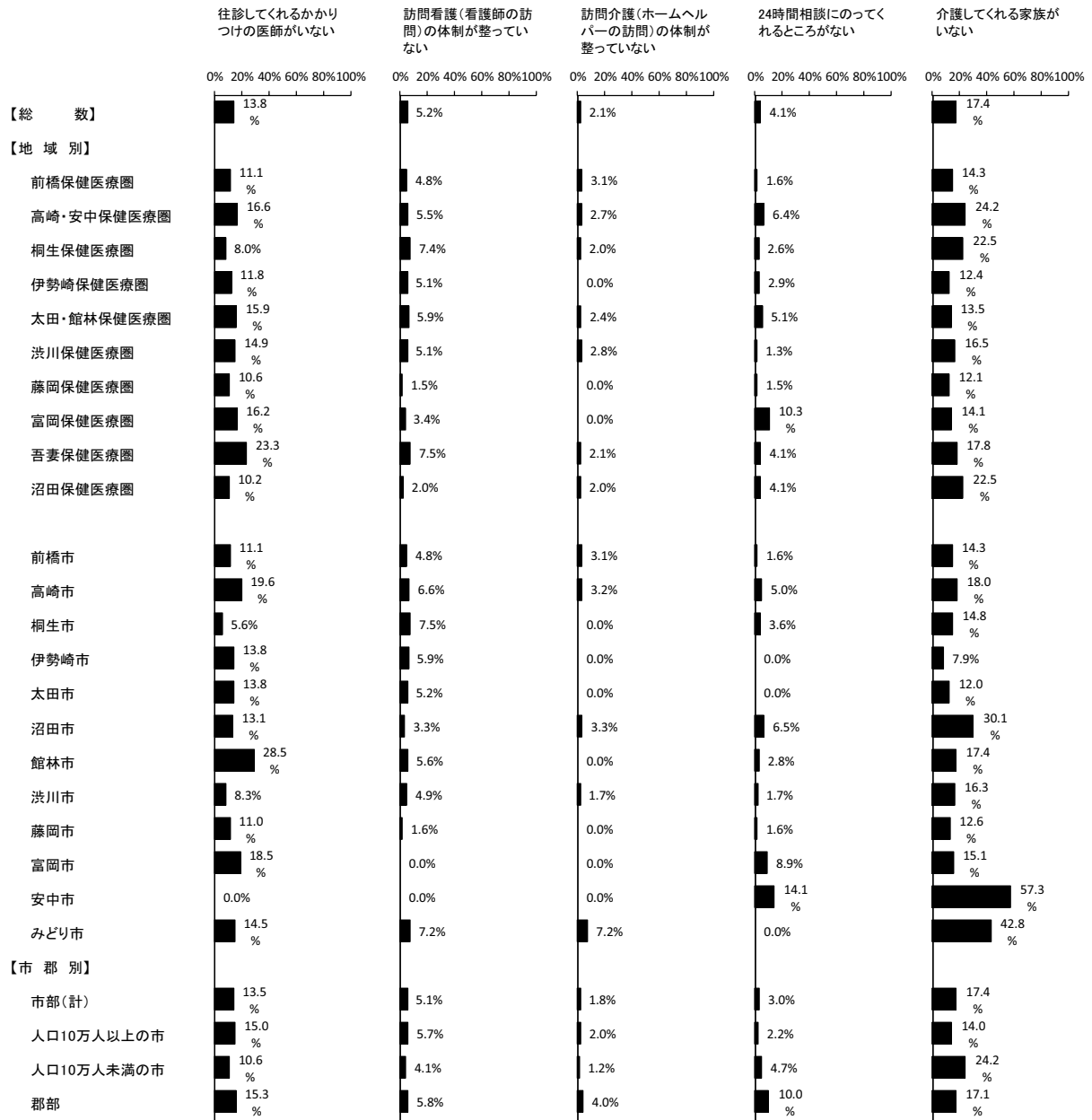
◆職業別

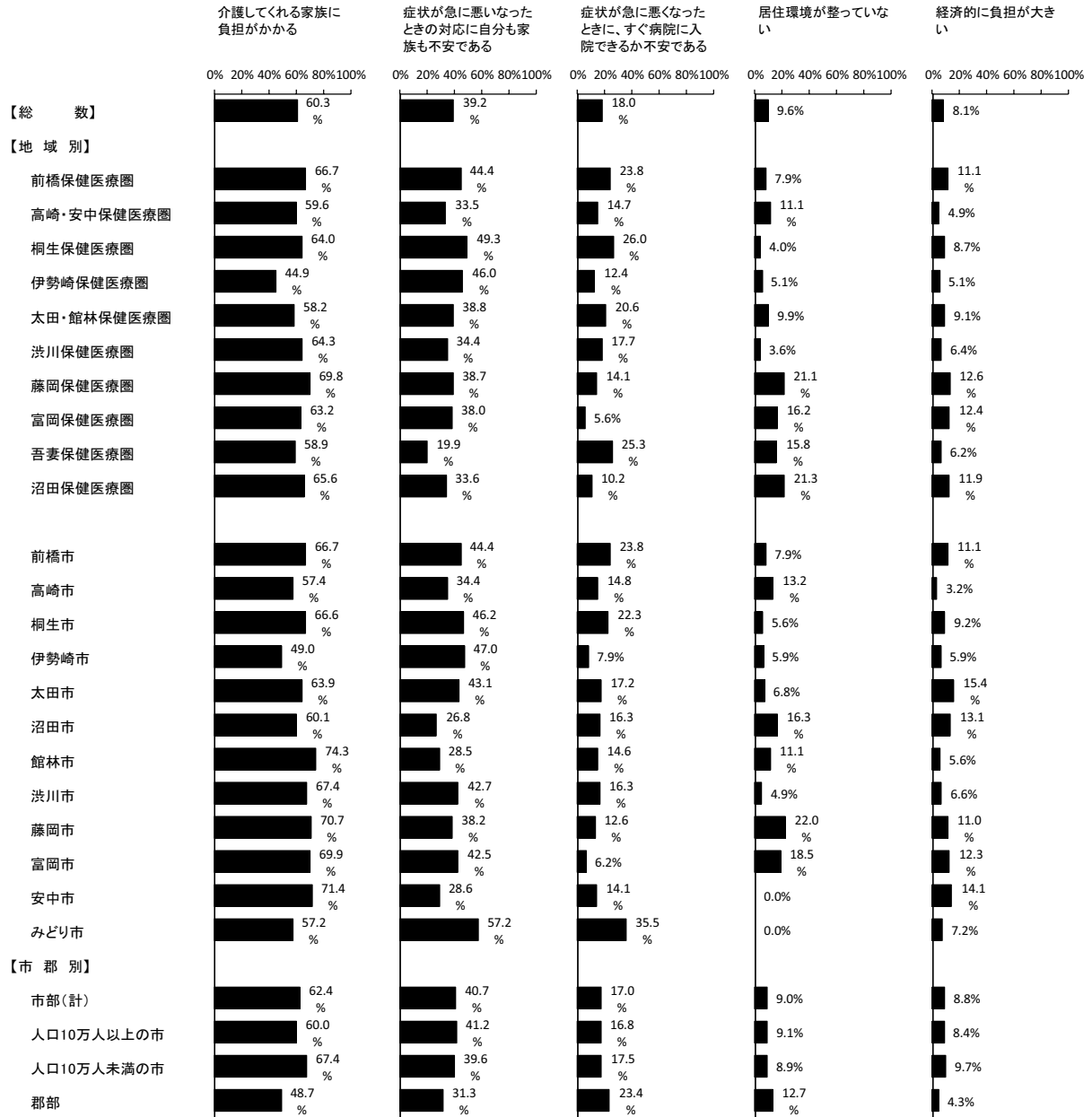
「介護してくれる家族に負担がかかる」は農林漁業(50.8%)、学生、無職を除くと、全て 60%を超えている。逆に「病院の方が安心できるから」は農林漁業が 57.7%で最も多い。

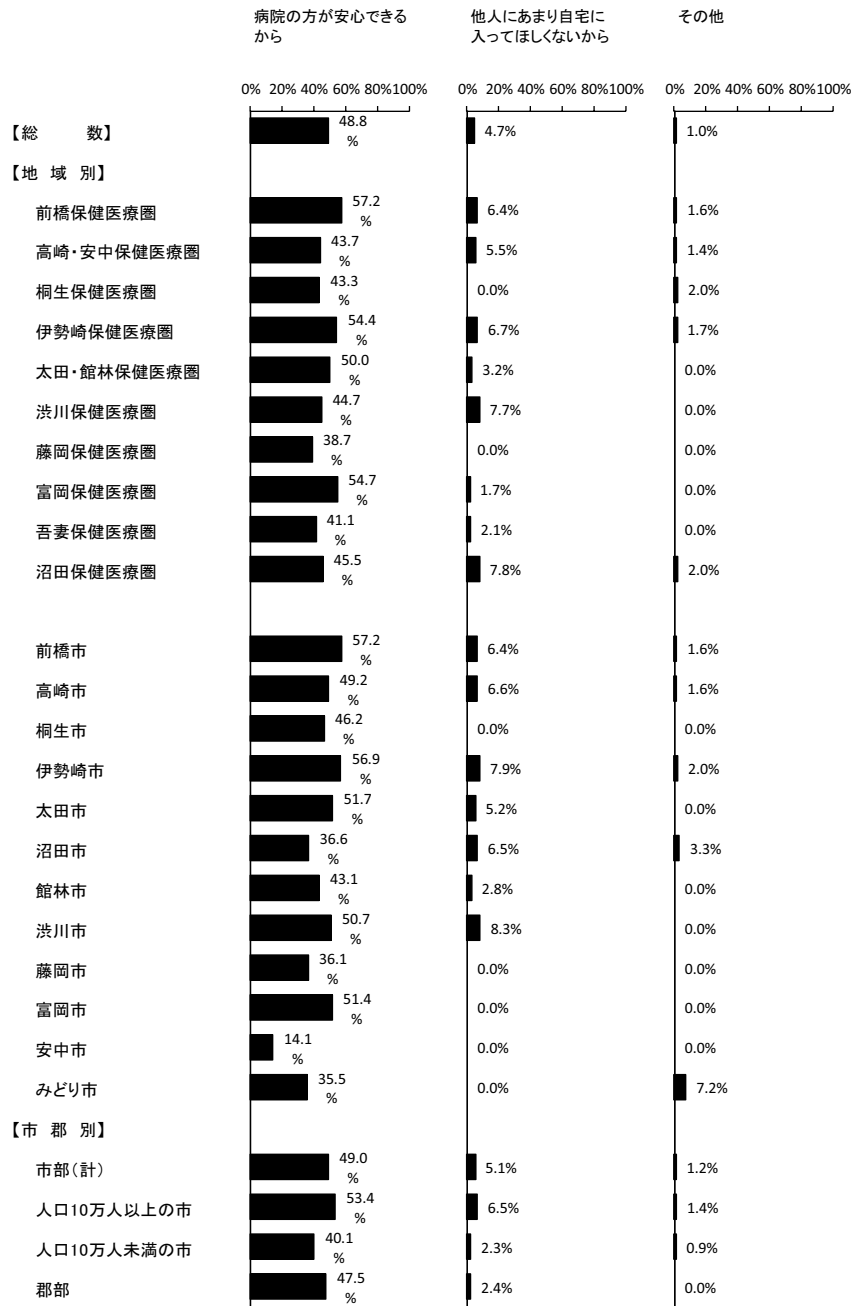
◆健康状態別

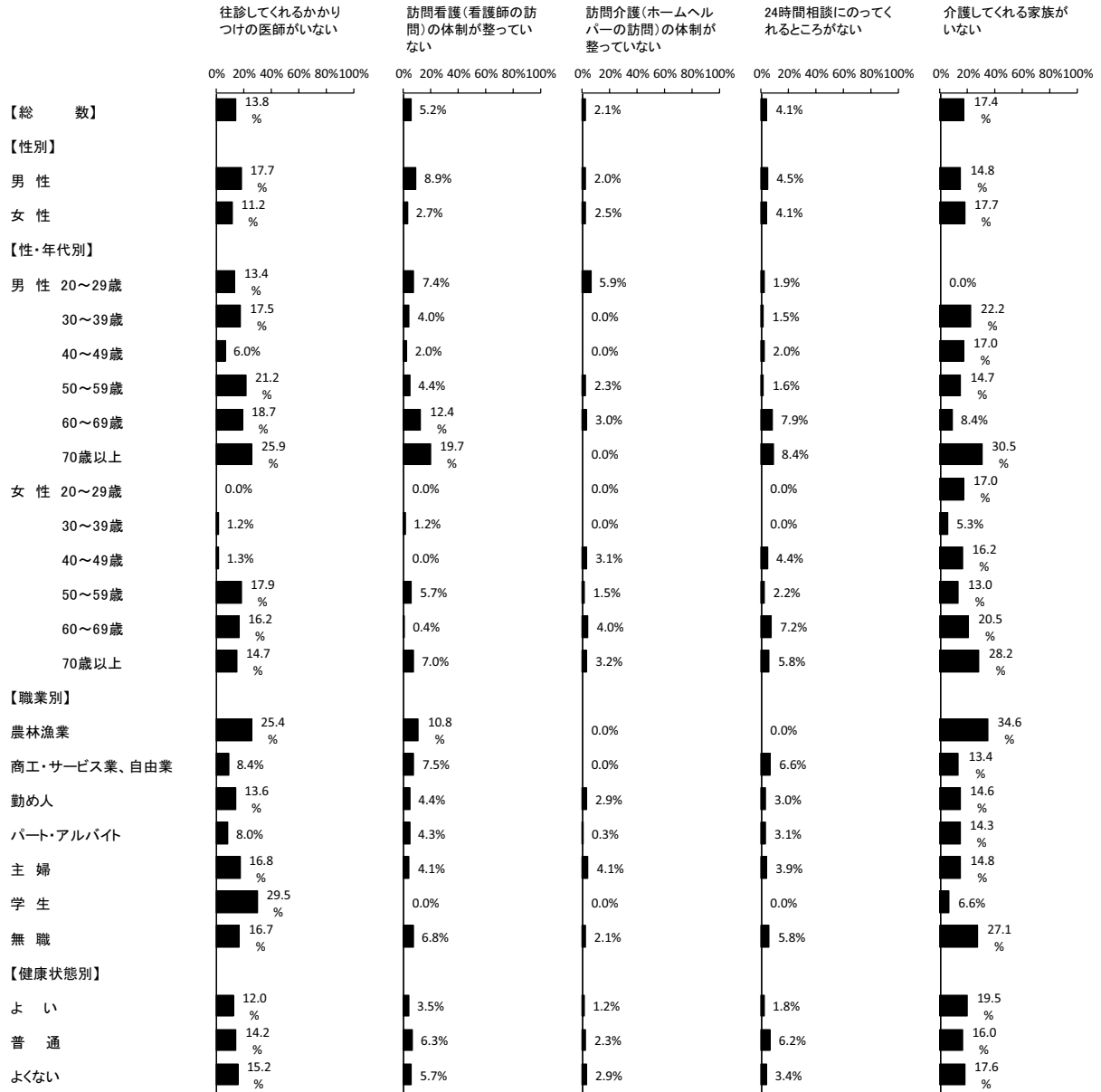
健康状態別の差異はほとんど見られない。

図 13-10 自宅療養を望まない理由

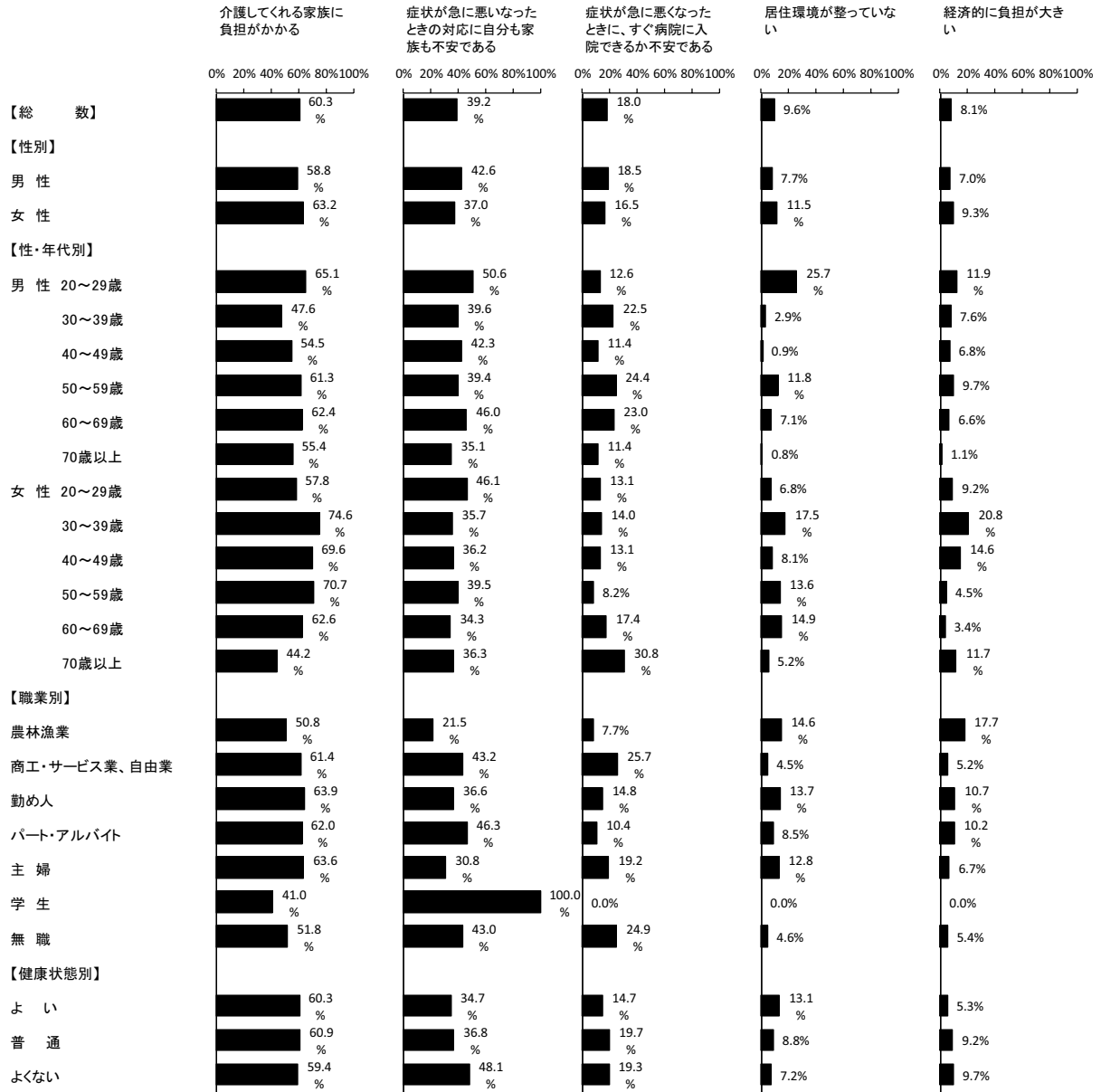


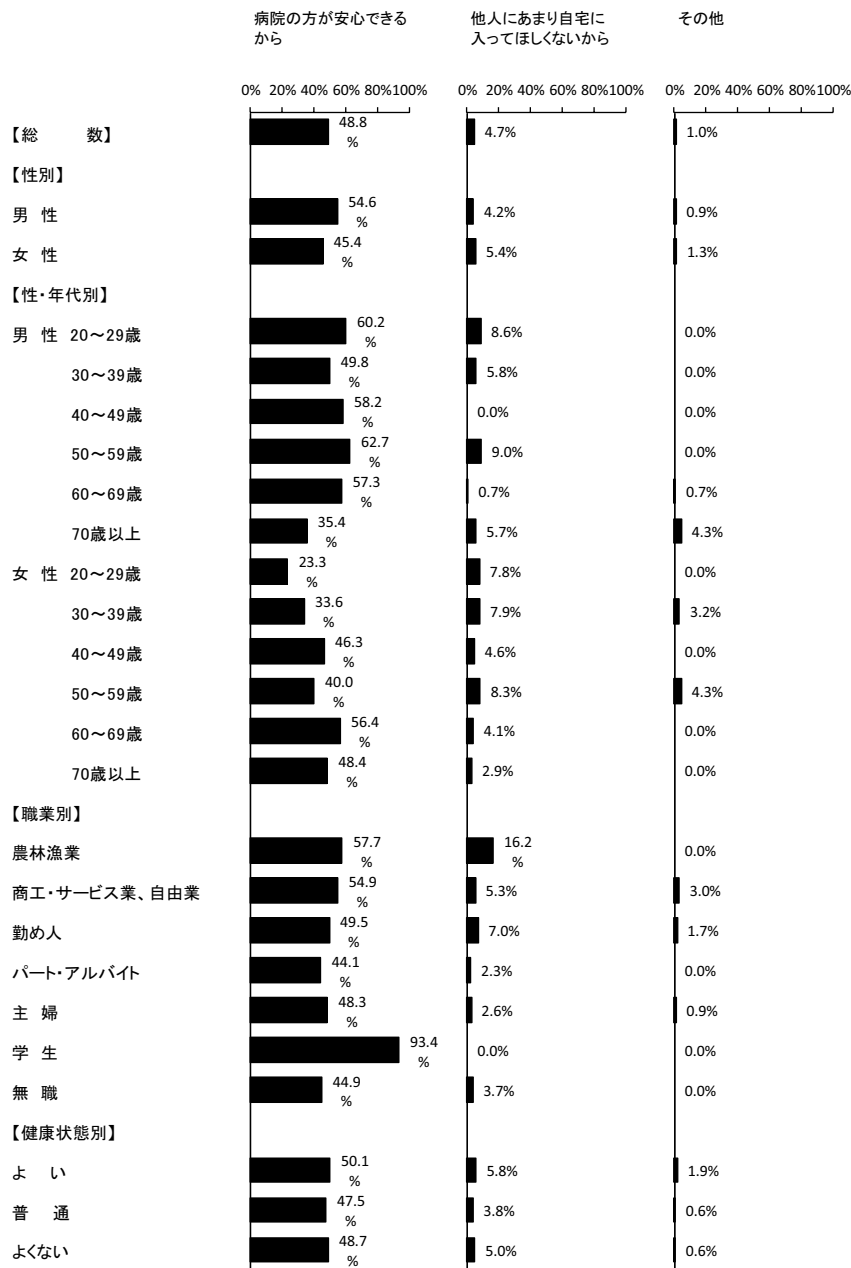






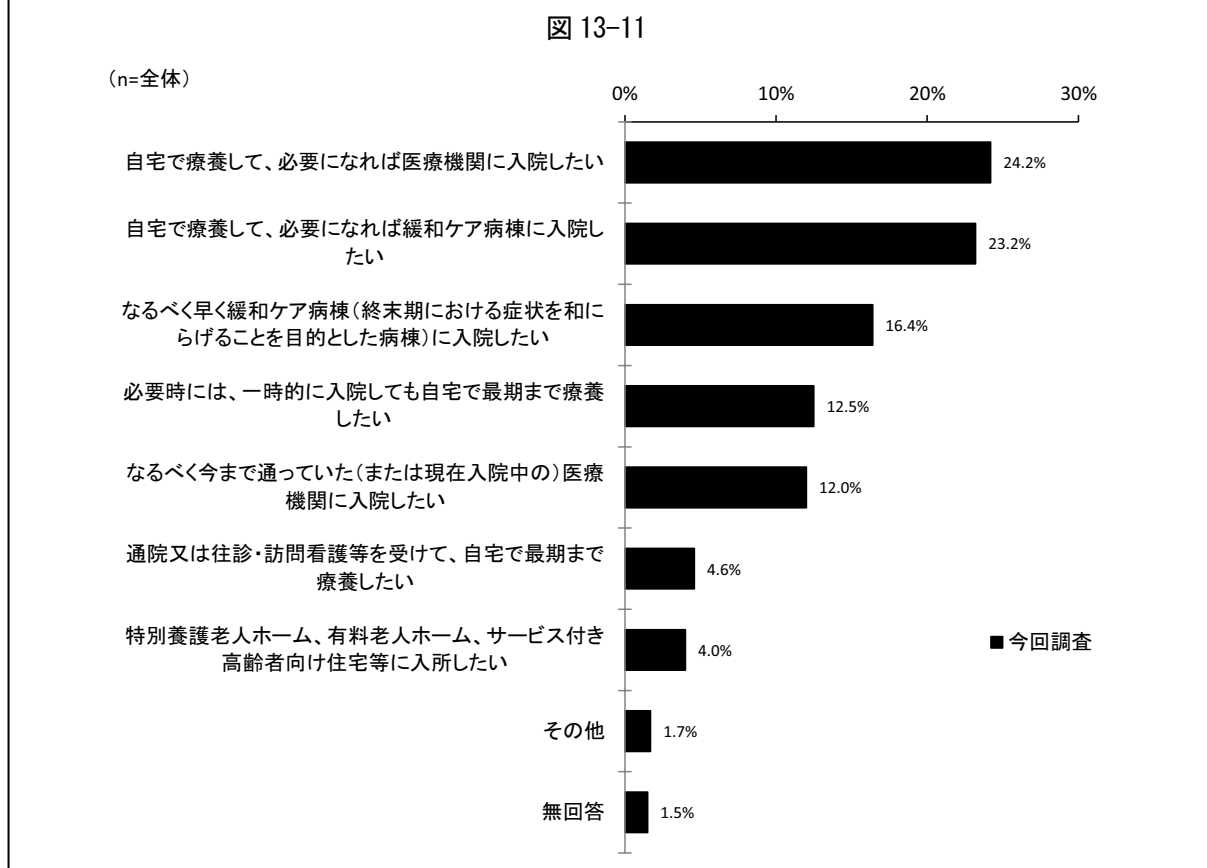






(6) 治る見込みの少ない病気にかかったときに過ごしたい場所  
 ～ 「自宅」24.2%と「緩和ケア病棟」23.2% ～

問19 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかったとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。(〇は1つだけ)



「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が24.2%、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」が23.2%という結果となった。

※平成20年調査結果との比較は、質問形式が異なるため(選択肢項目の変更及び追加)、比較を行っていない。

◆地域別

「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」は富岡保健医療圏が31.9%、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」は高崎・安中保健医療圏が31.0%と30%を超えており、「特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等に入所したい」はいずれの地域でも10%を下回る結果となった。

◆市郡別

市郡別による差異はほとんど認められなかった。

◆性別

「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」男性は28.5%に対し、女性は20.9%と若干の差異が認められた。また、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」も男性が17.5%に対し、女性は28.3%と若干の差異が認められた。

◆性・年代別

「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」は70歳以上の男性が35.8%、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」は40代の女性が42.2%だった。

◆職業別

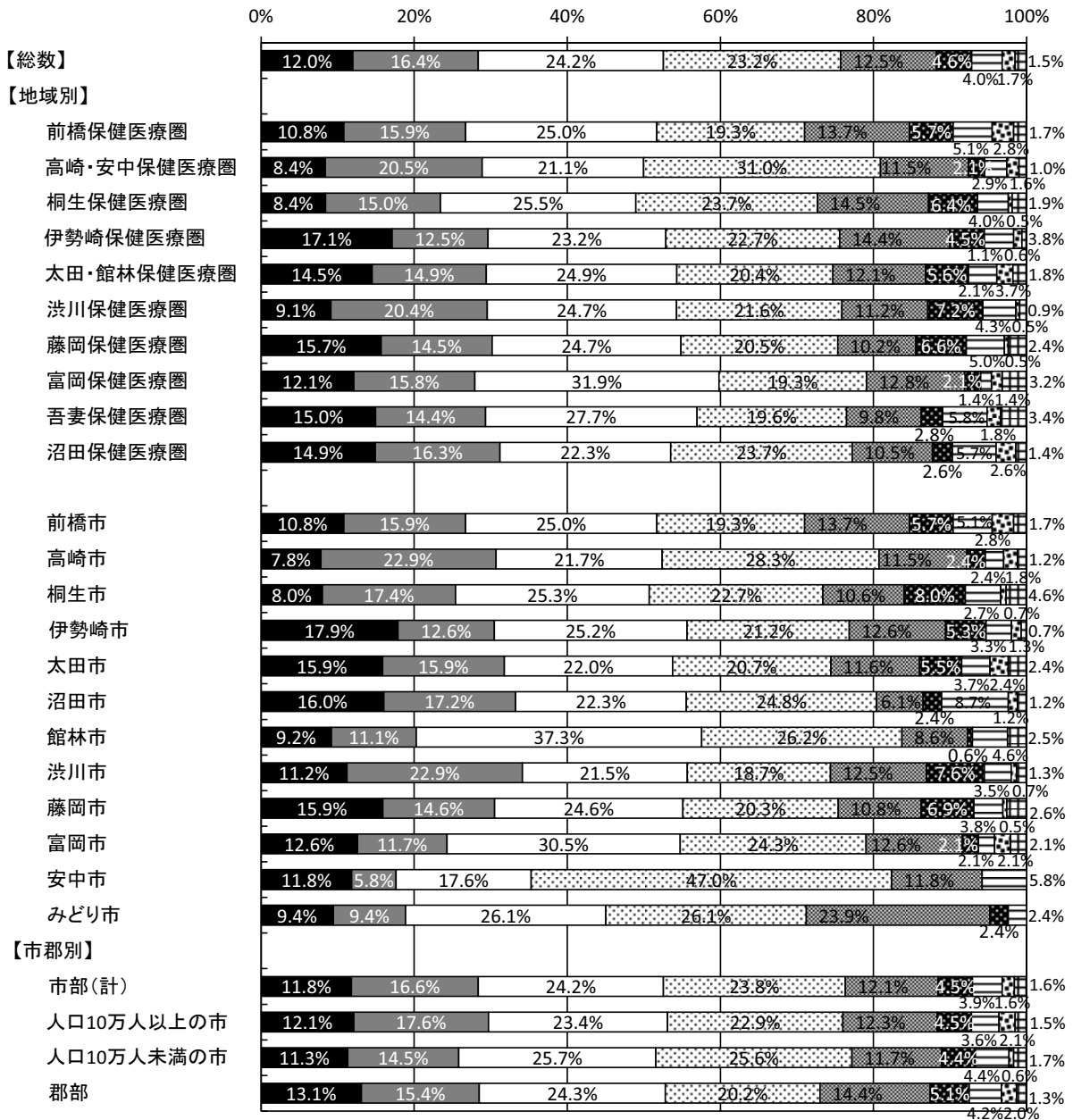
「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」は学生が44.3%と多く、「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」は農林漁業が35.2%と多くなっている。

◆健康状態別

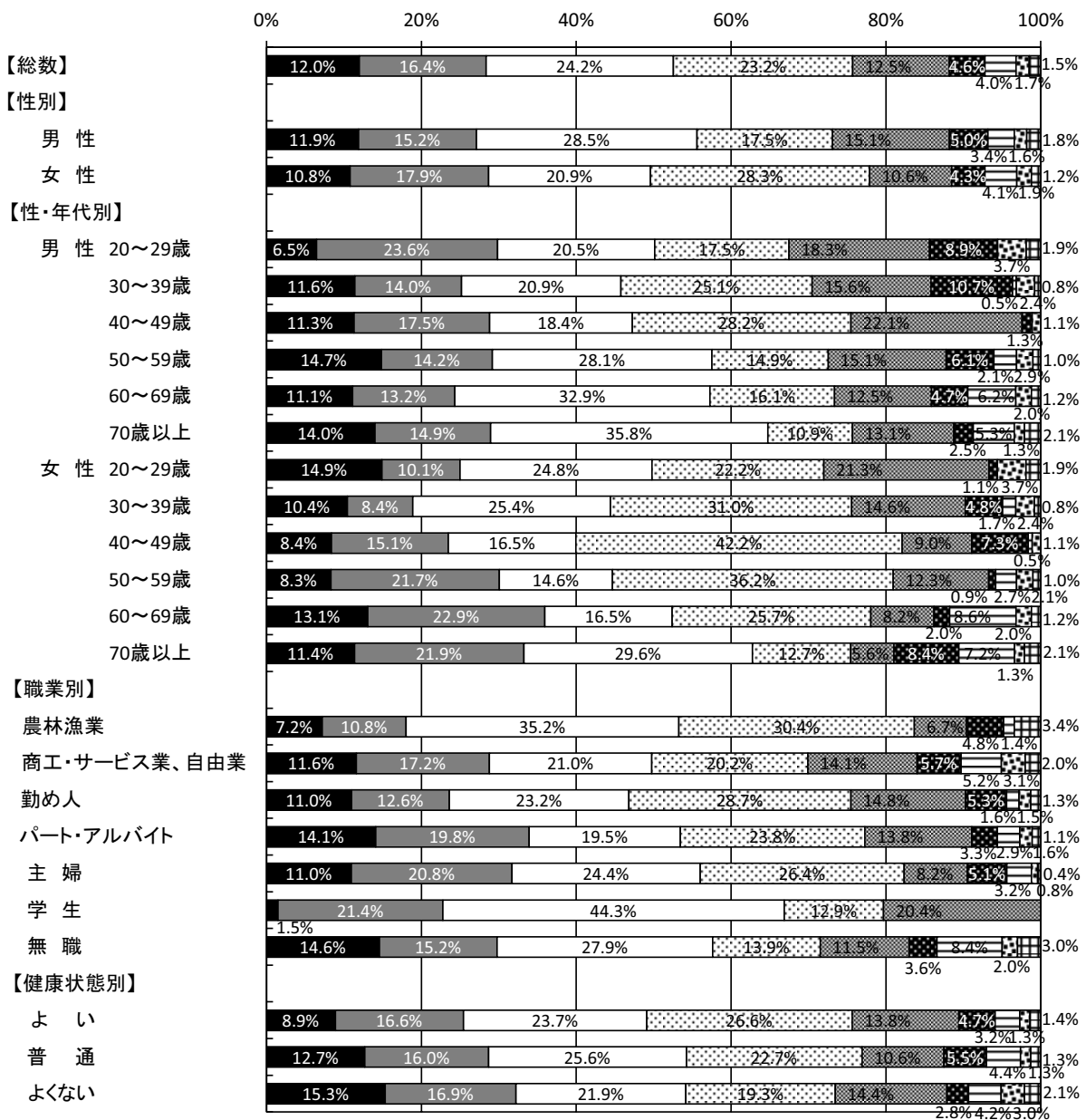
健康状態別ではいずれの結果もほとんど差異は認められなかった。

図 13-12 治る見込みの少ない病気にかかったときに過ごしたい場所

- なるべく今まで通っていた(または現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることが目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 必要時には、一時的に入院しても自宅で最期まで療養したい
- 通院又は往診・訪問看護等を受けて、自宅で最期まで療養したい
- 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等に入所したい
- その他
- 無回答



- なるべく今まで通っていた(または現在入院中の)医療機関に入院したい
- なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることが目的とした病棟)に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 必要時には、一時的に入院しても自宅で最期まで療養したい
- 通院又は往診・訪問看護等を受けて、自宅で最期まで療養したい
- 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等に入所したい
- その他
- 無回答



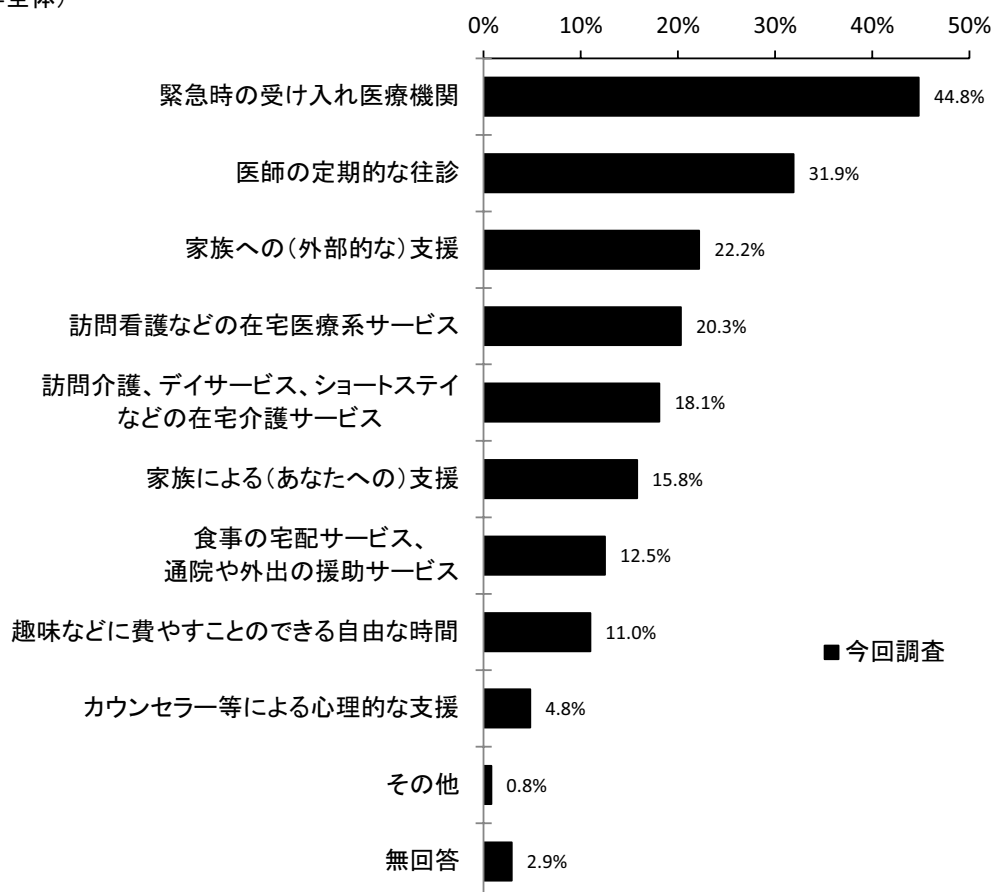
(7) 自宅で過ごす場合に必要なこと

～ 「緊急時の受け入れ医療機関」(44.8%)、「医師の定期的な往診」(31.9%)が多い ～

問20 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかり、自宅で過ごすことになった場合、以下のもののうち特に何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

図 13-13

(n=全体)



「緊急時の受け入れ医療機関」が44.8%と最も多く、「医師の定期的な往診」が31.9%、次いで「家族への(外部的な)支援」が22.2%という結果となった。

※平成20年調査結果との比較は、質問形式が異なるため(選択肢項目の変更及び追加)、比較を行っていない。

◆地域別

「緊急時の受け入れ医療機関」は伊勢崎保健医療圏が50.8%と多く、「医師の定期的な往診」は太田・館林保健医療圏が35.6%だった。また、「家族への(外部的な)支援」は高崎・安中保健医療圏が26.3%で最も多く、吾妻保健医療圏が15.0%と若干の差異が認められた。

◆市郡別

「緊急時の受け入れ医療機関」は市郡別の差異はほとんど認められなかったが、「医師の定期的な往診」は市部が30.7%に対し郡部が38.8%かつ、「家族への(外部的な)支援」は市部が23.4%に対し郡部が15.1%と若干の差異が認められた。

◆性別

性別による差異はほとんど認められなかった。

◆性・年代別

「緊急時の受け入れ医療機関」は70歳以上の男性が57.6%、60代の女性が53.1%と多く、「医師の定期的な往診」は70歳以上の男性が46.4%、70歳以上の女性が42.1%で高齢者と20～29歳の男性が40.2%と多い結果となった。

◆職業別

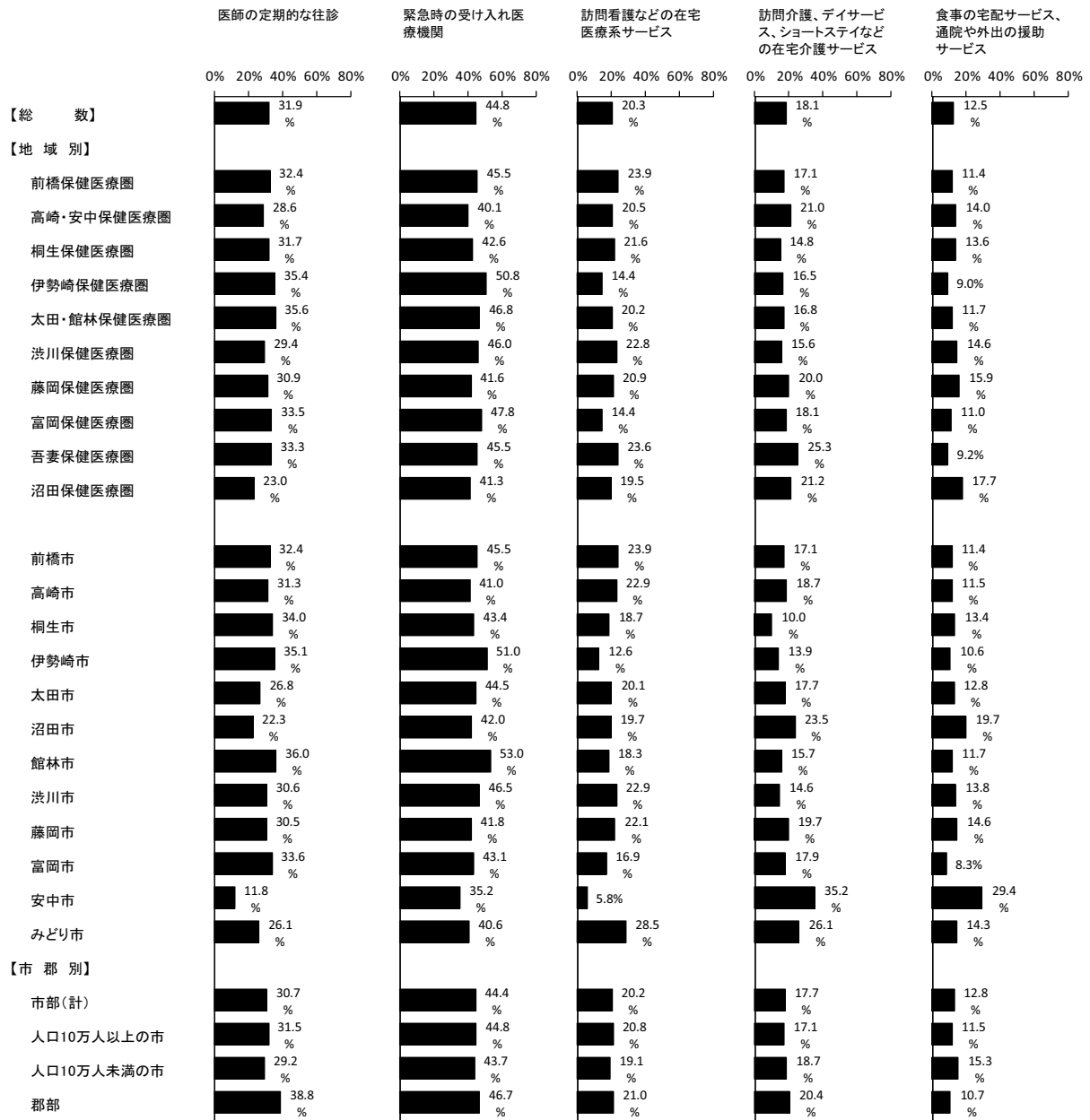
「緊急時の受け入れ医療機関」は学生が59.2%、パート・アルバイトが51.5%、主婦が50.8%と50%を超えており、「医師の定期的な往診」は学生が47.8%、無職が41.4%と40%を超える結果となった。

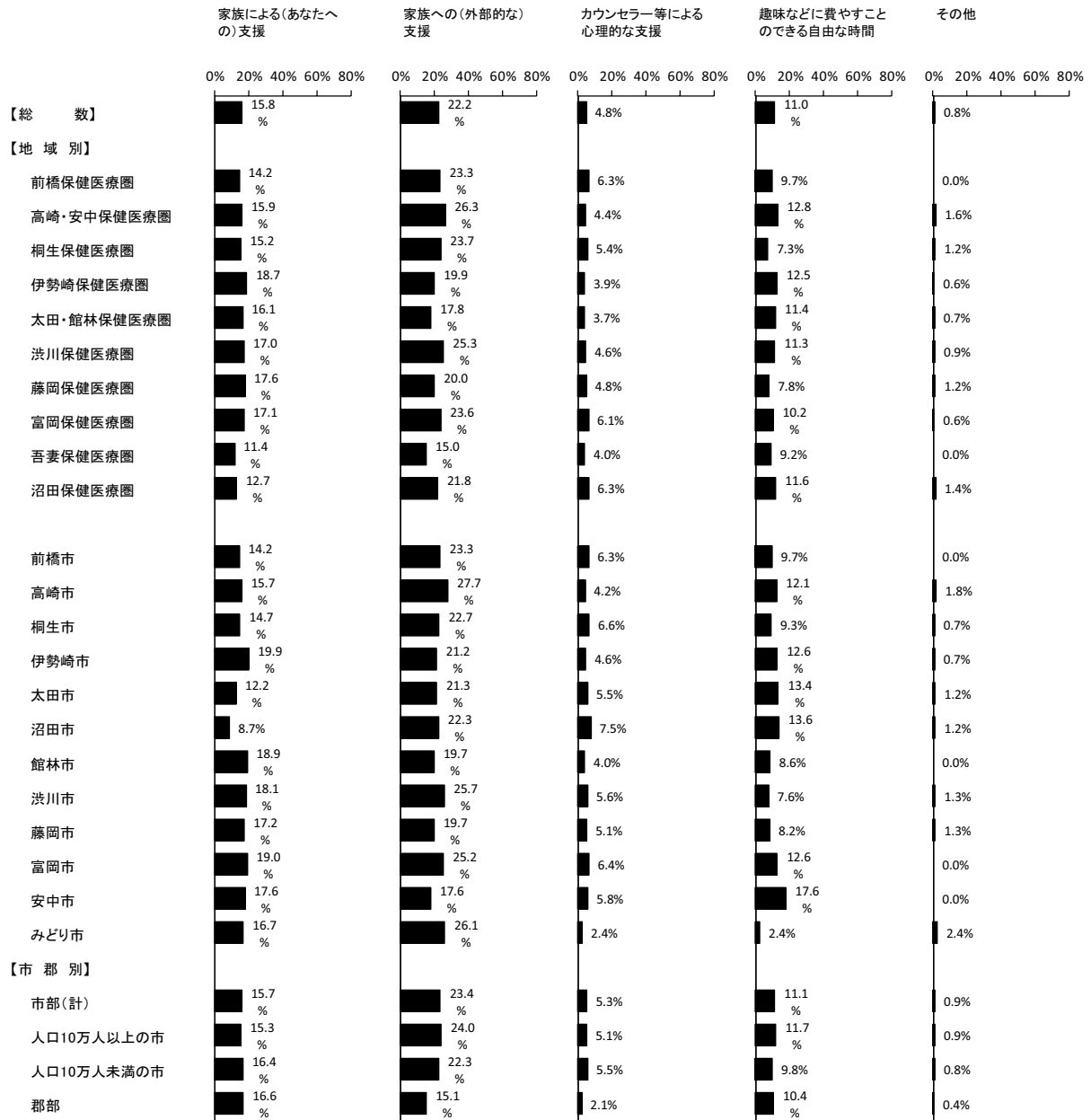
◆健康状態別

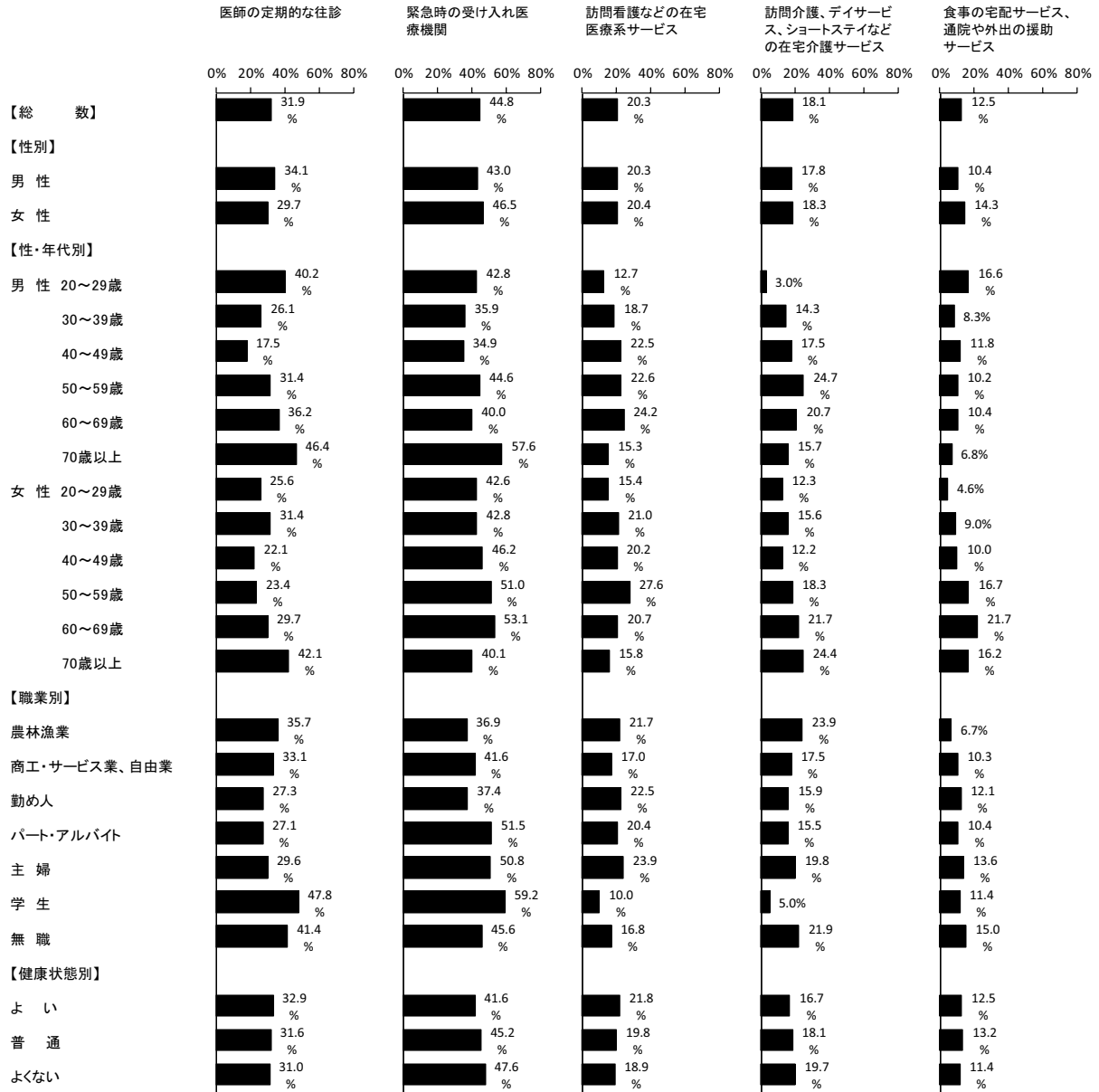
健康状態別ではいずれの結果もほとんど差異は認められなかった。

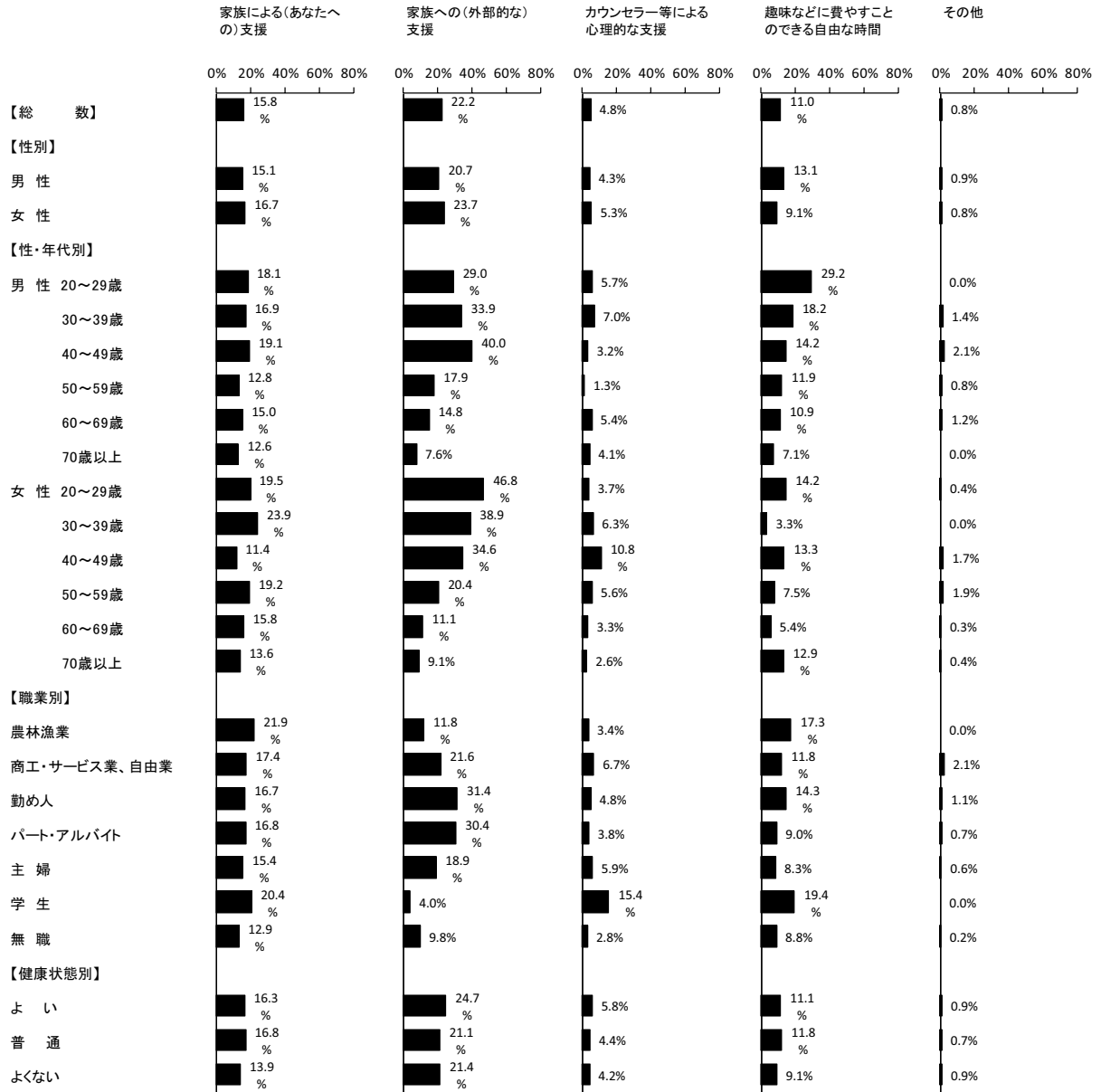


図 13-14 自宅で過ごす場合に必要なこと









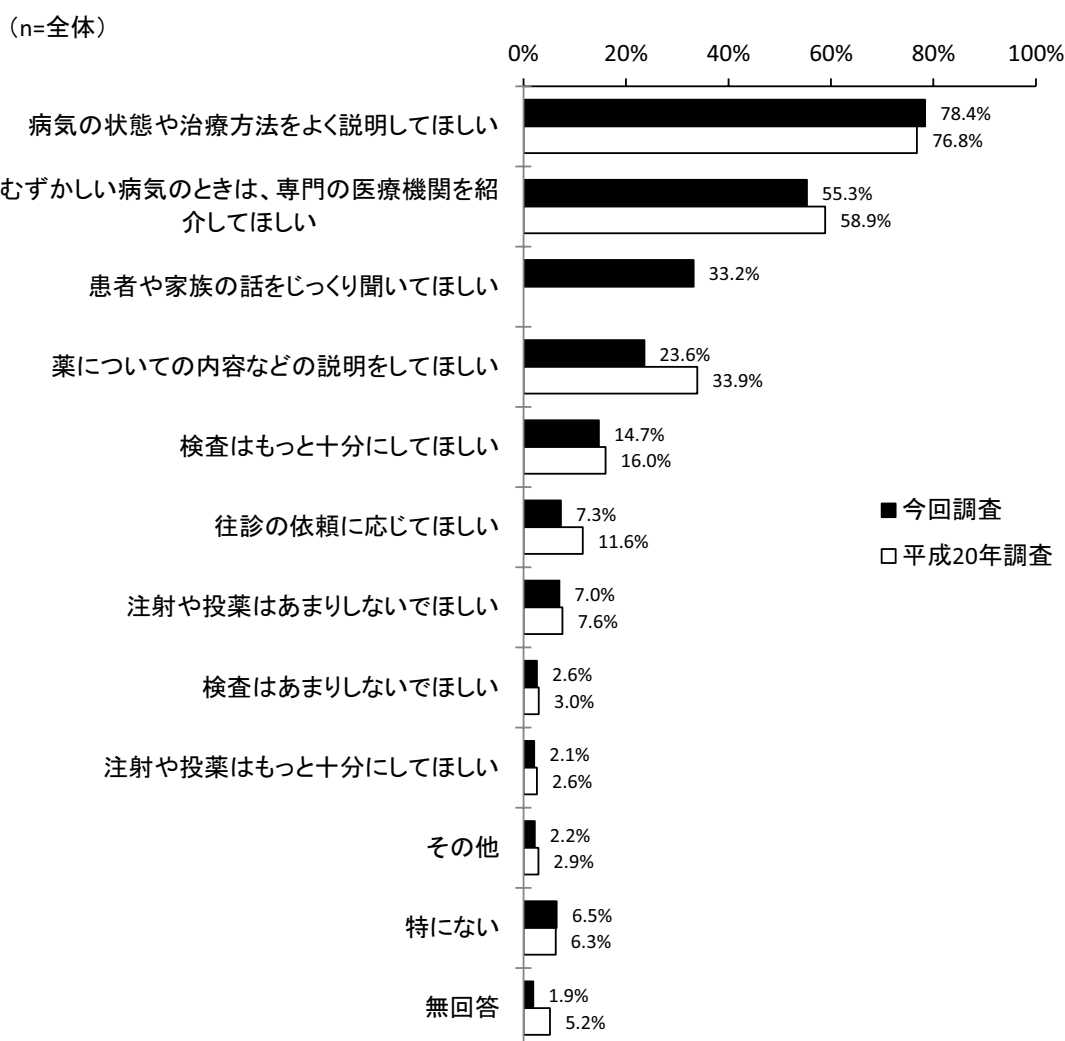
## 14 医療機関への要望

～ 医師については「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」(78.4%)が、看護師に対しては「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」(55.2%)が施設・サービスについては「待ち時間を短くしてほしい」(70.2%)が最多～

問 21 これまでの経験から、あなたは医療機関に対してどのようなことを望みますか。  
(〇はそれぞれ3つまで)

(1) 医療機関への要望 (医師について)

図 14-1



医師については「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」が78.4%で最も多く、これに「むずかしい病気のときは、専門の医療機関を紹介してほしい」(55.3%)、「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」(33.2%)となっている。

平成20年調査結果との比較では、上位2項目は同様の結果となっている。前回調査にはなかった「むずかしい病気のときは、専門の医療機関を紹介してほしい」が33.2%と、3番目に多くなっている。

◆地域別

「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」は渋川保健医療圏（82.4%）が多く、全ての地域で70%を上回った。「むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」も渋川保健医療圏（49.2%）以外の地域は全て50%を上回った。

◆市郡別

郡部では、「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」「むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい」「検査はもっと十分にしてほしい」などが市部を上回っており、市部や人口10万人以上の市では「検査はあまりしないでほしい」が郡部より多かった。

◆性別

「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」は女性が38.0%と多く、男性では26.7%となった。

◆性・年代別

「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」は70歳以上女性（65.1%）以外は全て70%以上と多かった。「検査はもっと十分にしてほしい」は、30代男性（30.1%）20代女性（36.7%）が多く、60代女性（9.0%）70歳以上女性（7.5%）は少なかった。

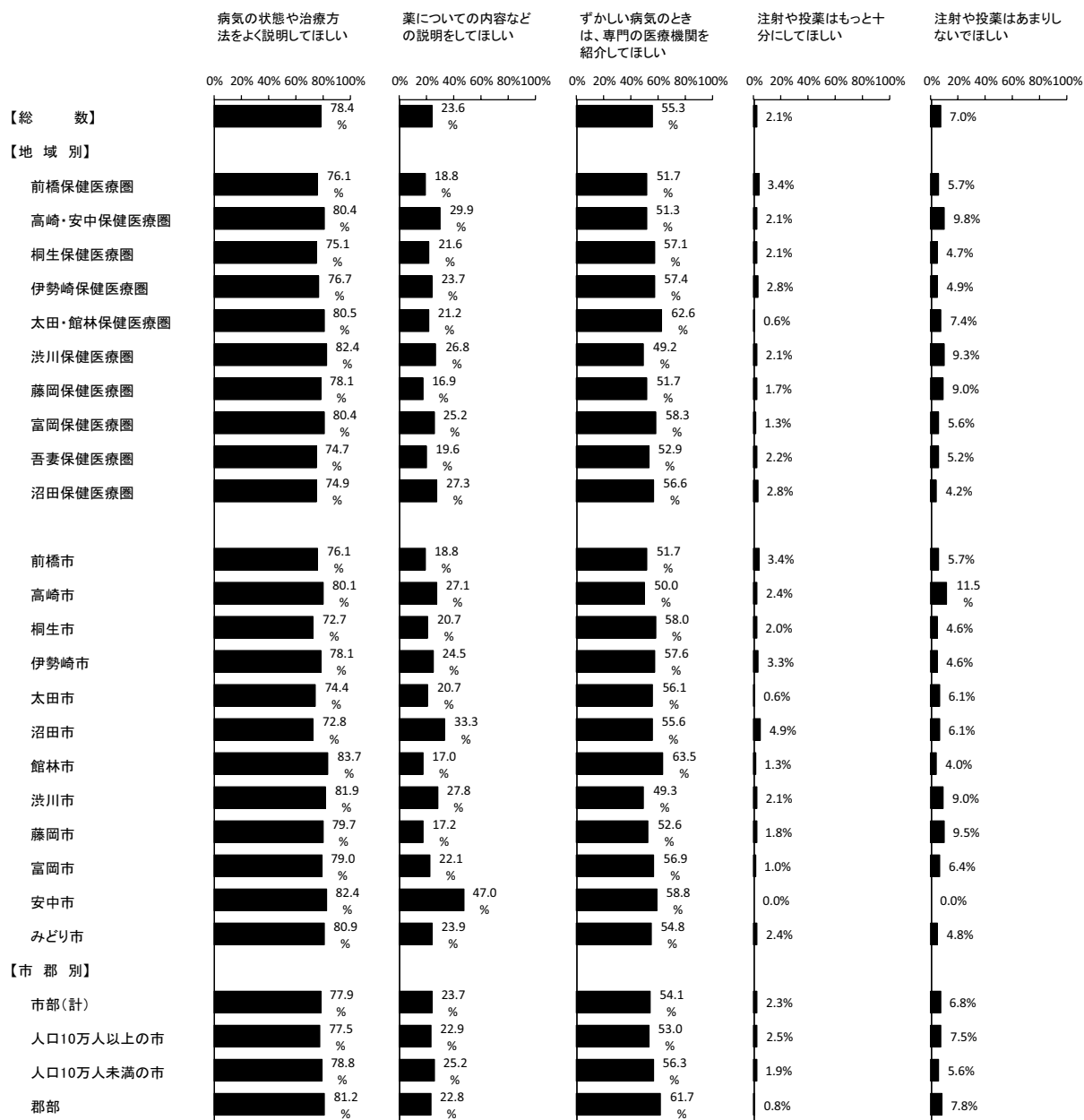
◆職業別

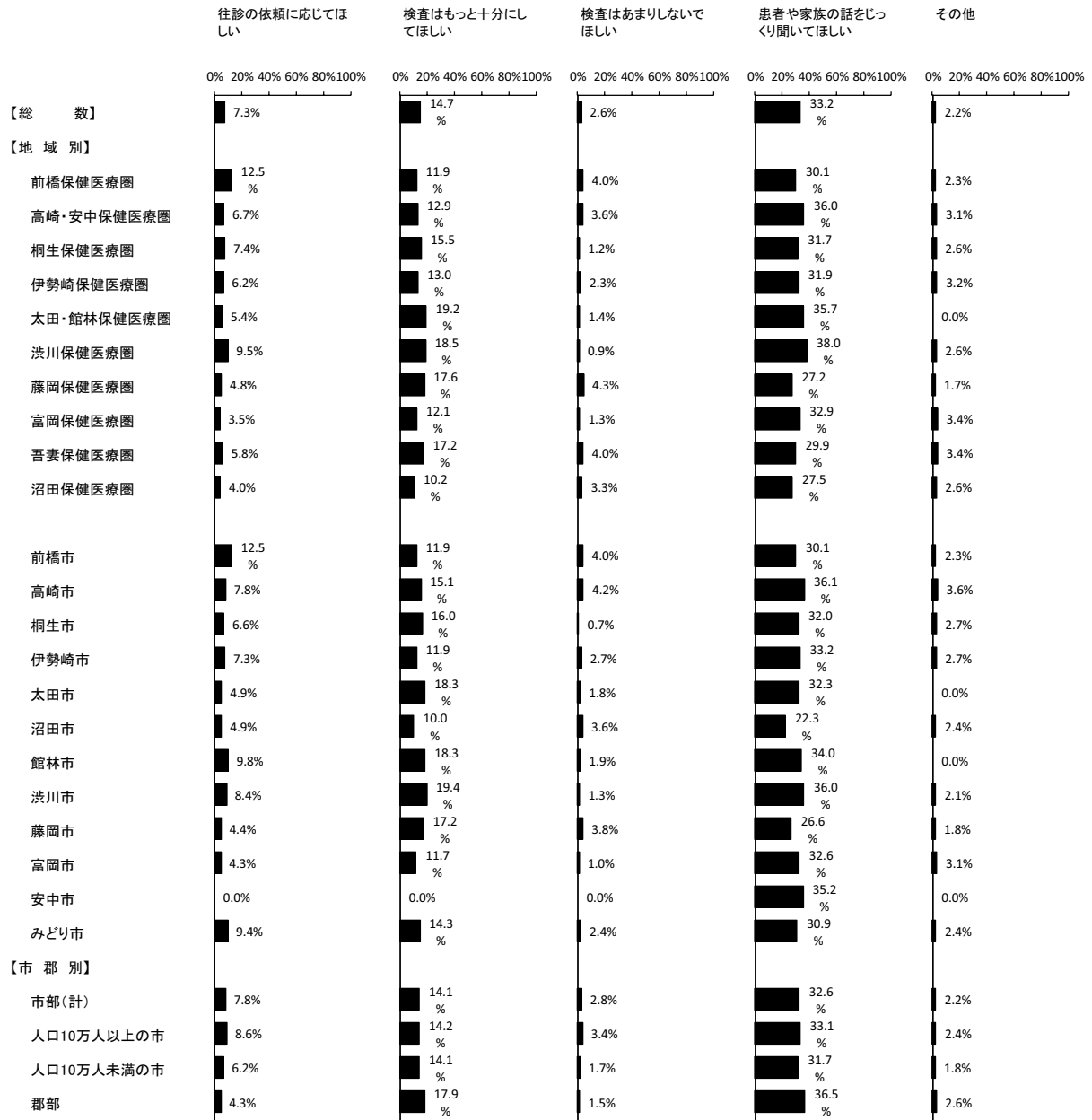
「病気の状態や治療方法をよく説明してほしい」は全ての職業で70%を上回っており、特に学生（89.1%）が多かった。「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」は学生、主婦、パート・アルバイトが40%を上回ったが、農林漁業は20.0%と少なかった。

◆健康状態別

健康状態がよい人ほど「検査はあまりしないでほしい」が多かった。

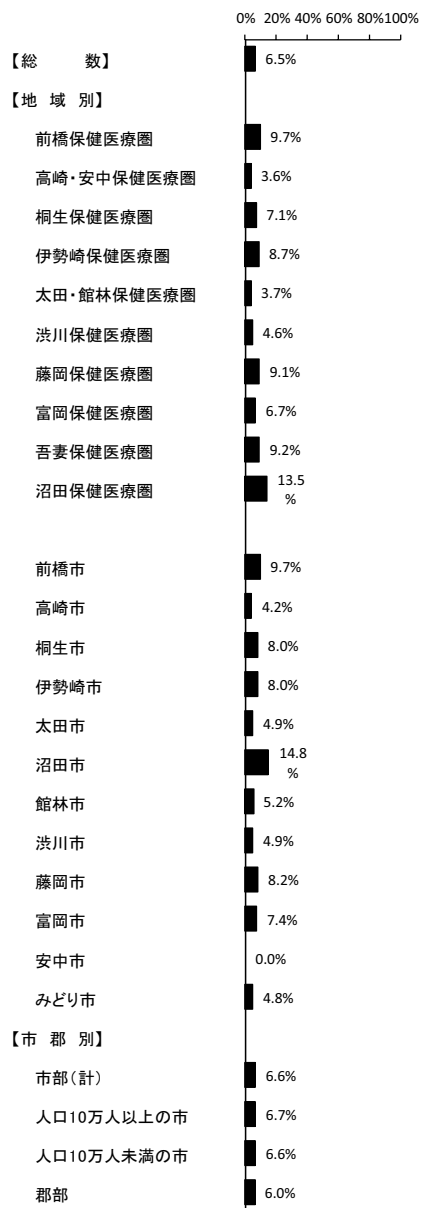
図 14-2 医療機関への要望（医師について）

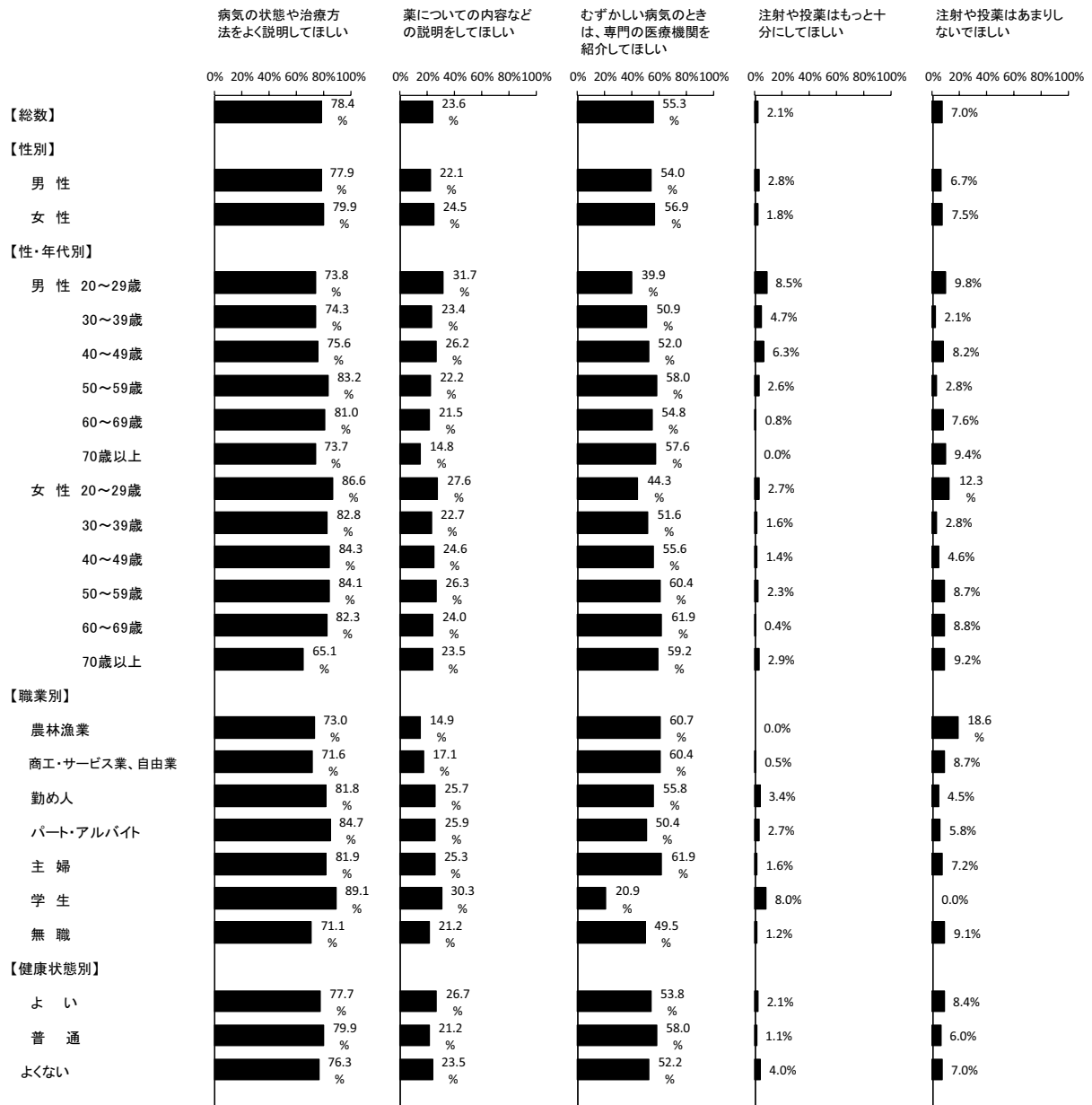


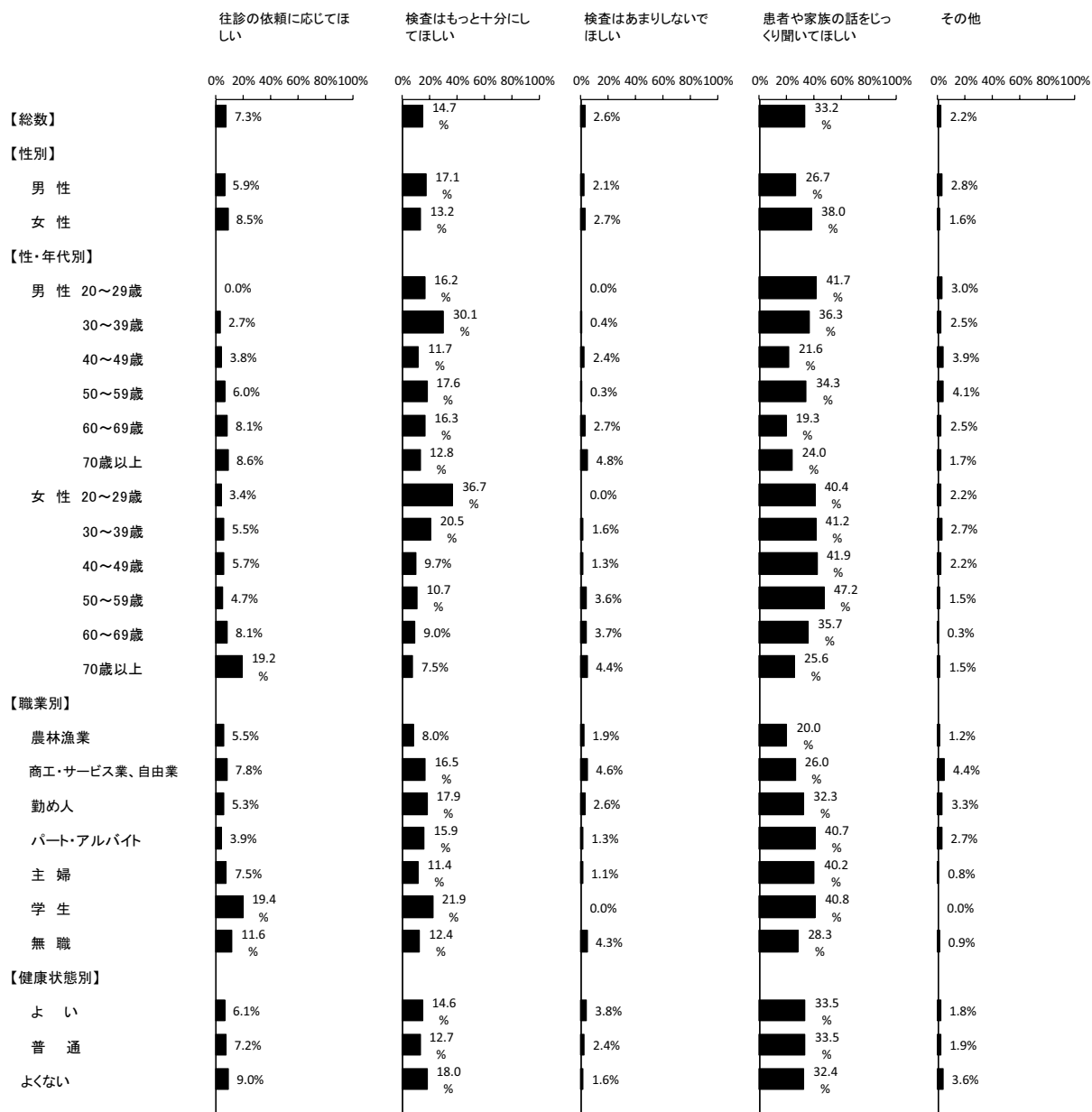




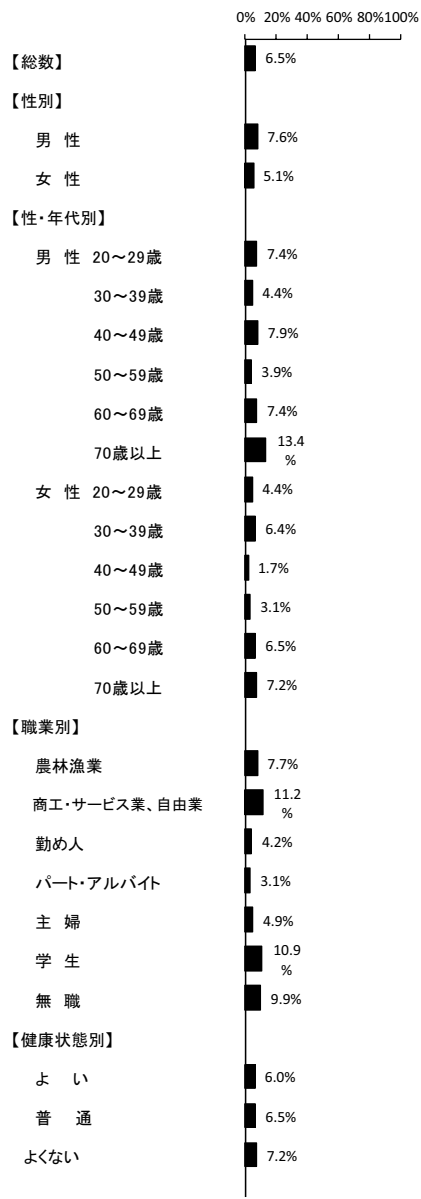
特になし



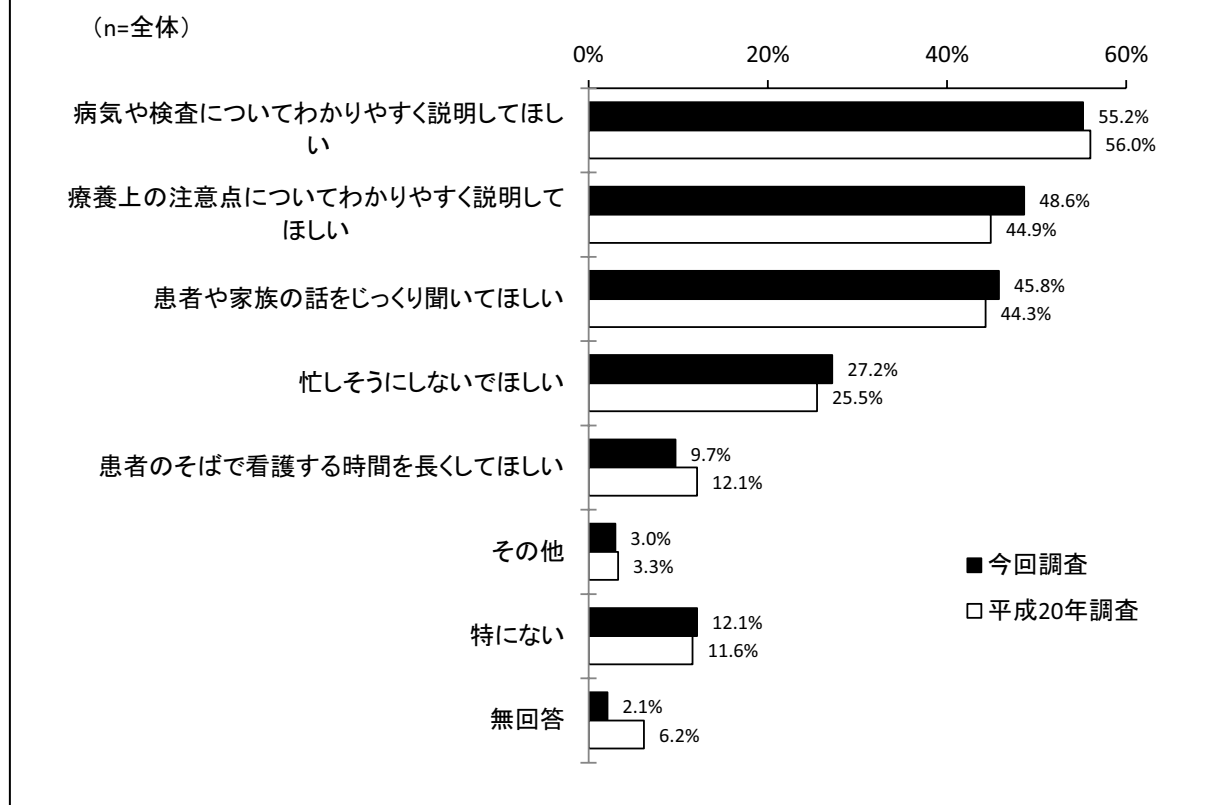




特になし



## (2) 医療機関への要望（看護師について）



看護師に対しては「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」が55.2%でもっとも多く、「療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい」(48.6%)、「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」(45.8%)となっている。

平成20年調査結果との比較では、上位の項目は同様の結果となっている。

### ◆地域別

「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」は太田・館林保健医療圏で65.1%と多く、50%を下回ったのは前橋保健医療圏の44.9%のみであった。「療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい」は吾妻保健医療圏で52.9%と多く、全ての地域が40%を上回った。

### ◆市郡別

郡部では「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」が63.6%と多く、市部の53.7%を上回った。

### ◆性別

「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」では男性(42.5%)・女性(48.4%)、「忙しそうにしないでほしい」でも男性(22.7%)・女性(31.0%)と女性の方が多かった。

### ◆性・年代別

「患者や家族の話をじっくり聞いてほしい」は40代女性(54.0%)と多く、60代男性(35.7%)と少なかった。「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」では50代女性(58.9%)・60代男性(58.7%)と多く、40代男性(45.8%)・40代女性(46.1%)と少なかった。

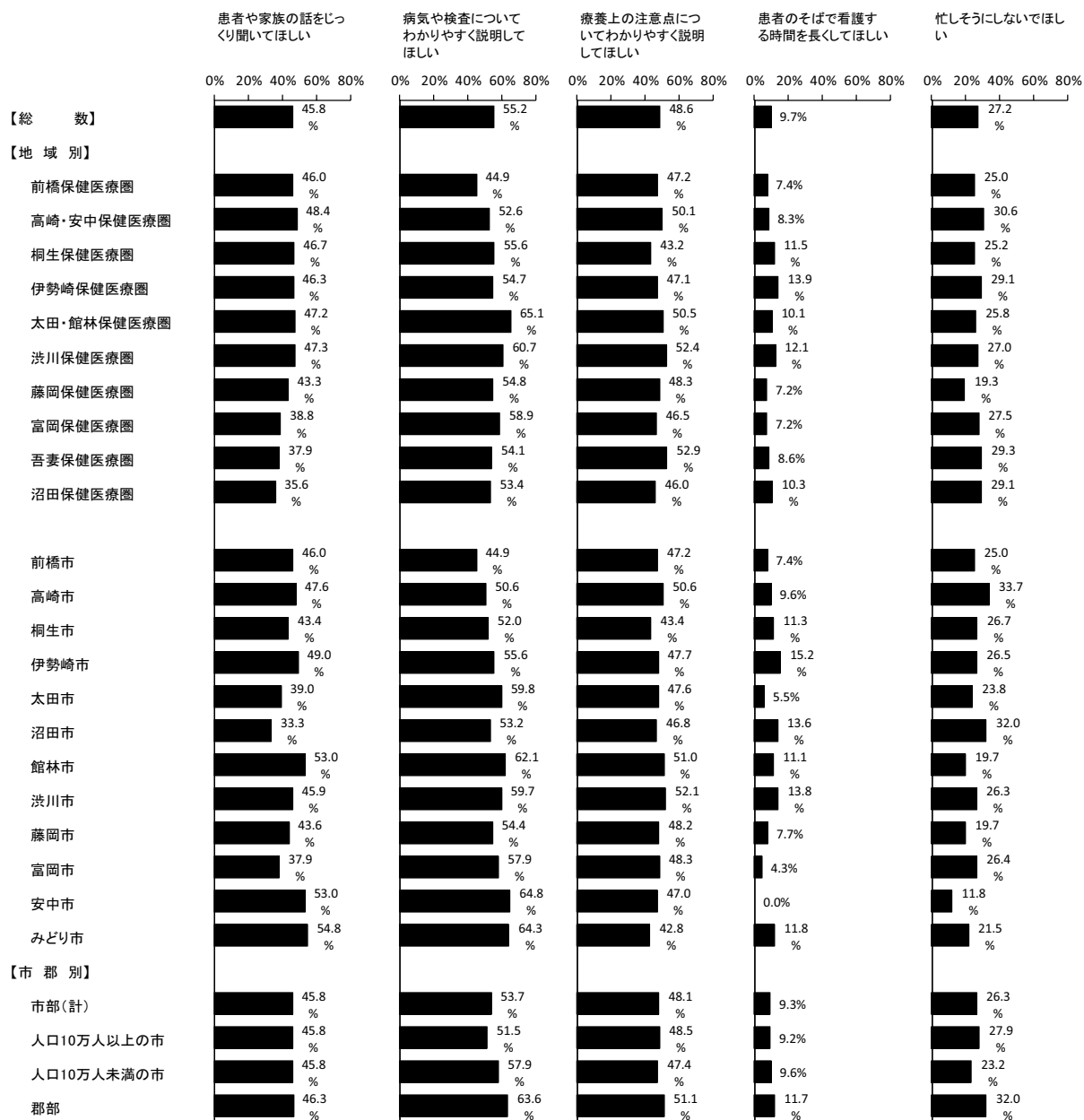
### ◆職業別

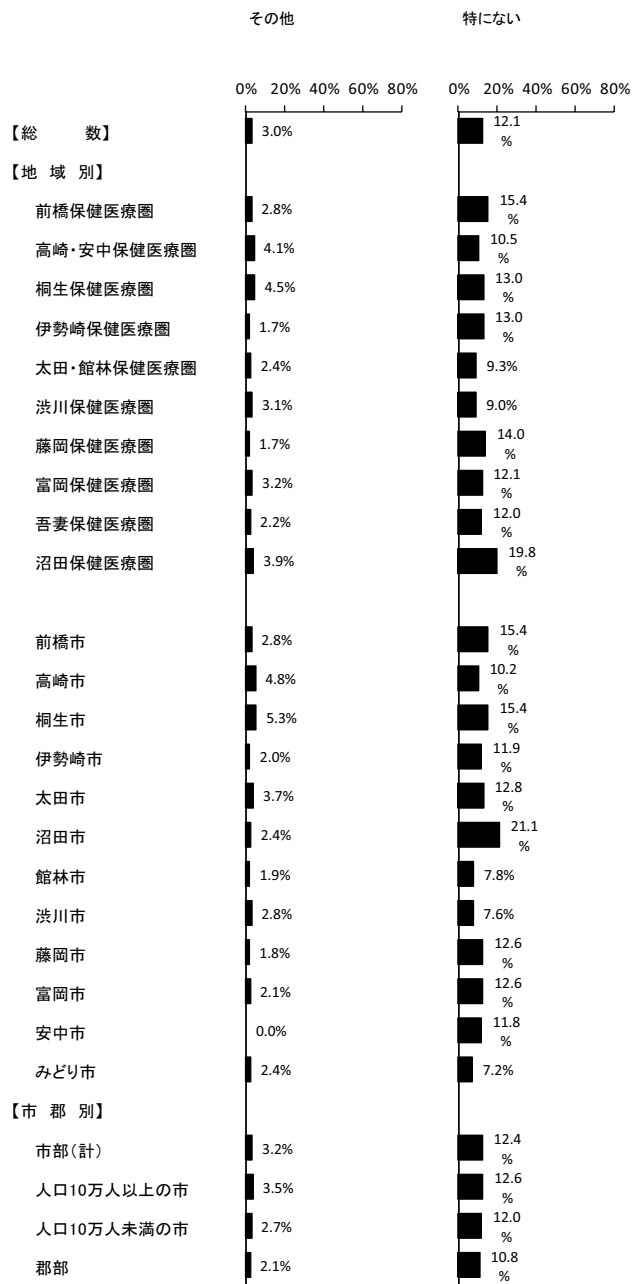
「病気や検査についてわかりやすく説明してほしい」で、学生(43.8%)以外は全て50.0%を上回った。「忙しそうにしないでほしい」は学生(38.3%)と多かったが、無職(19.2%)と少なかった。

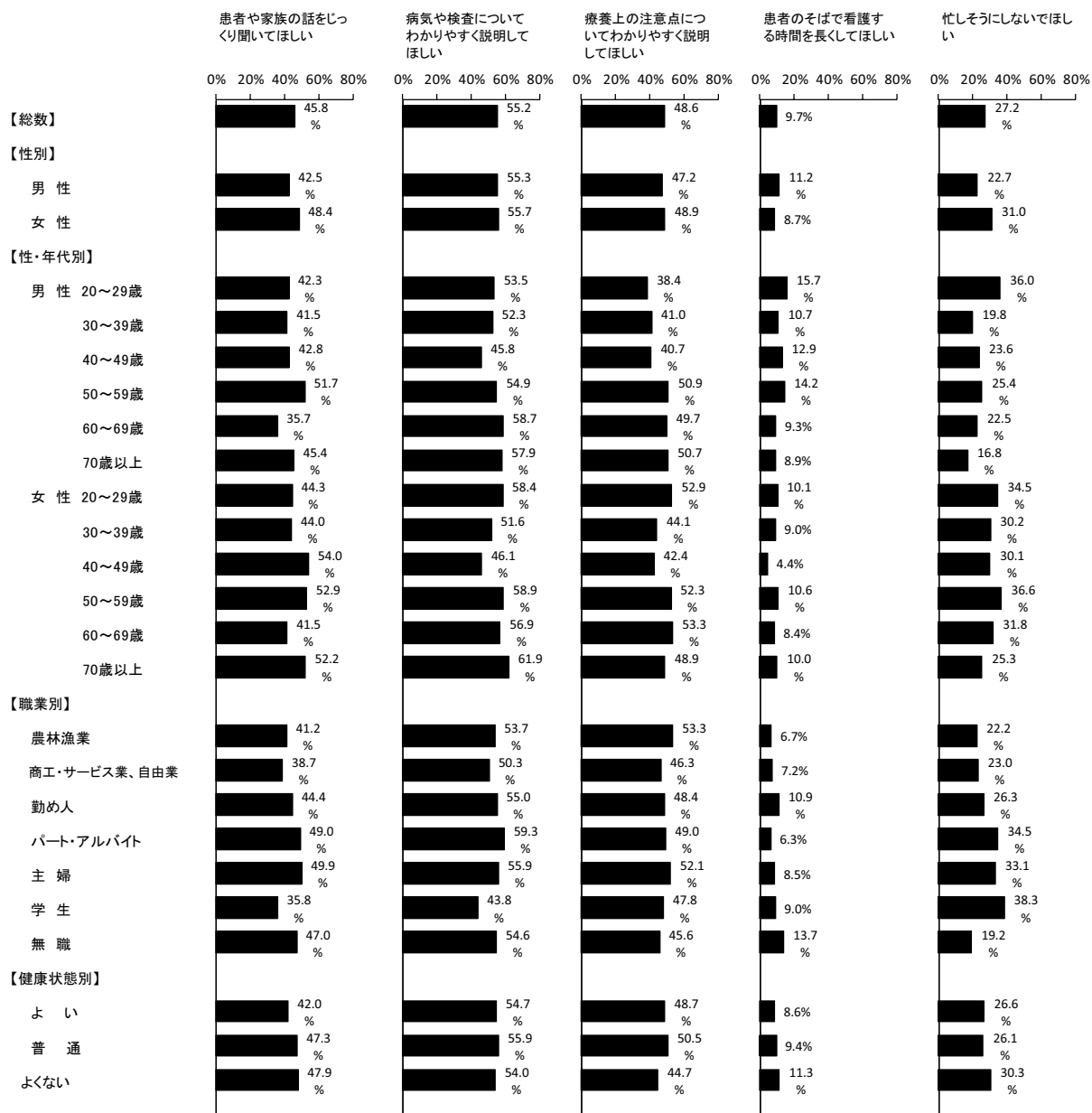
◆健康状態別

健康状態がよくない人ほど「患者のそばで看護する時間を長くしてほしい」が多かった。

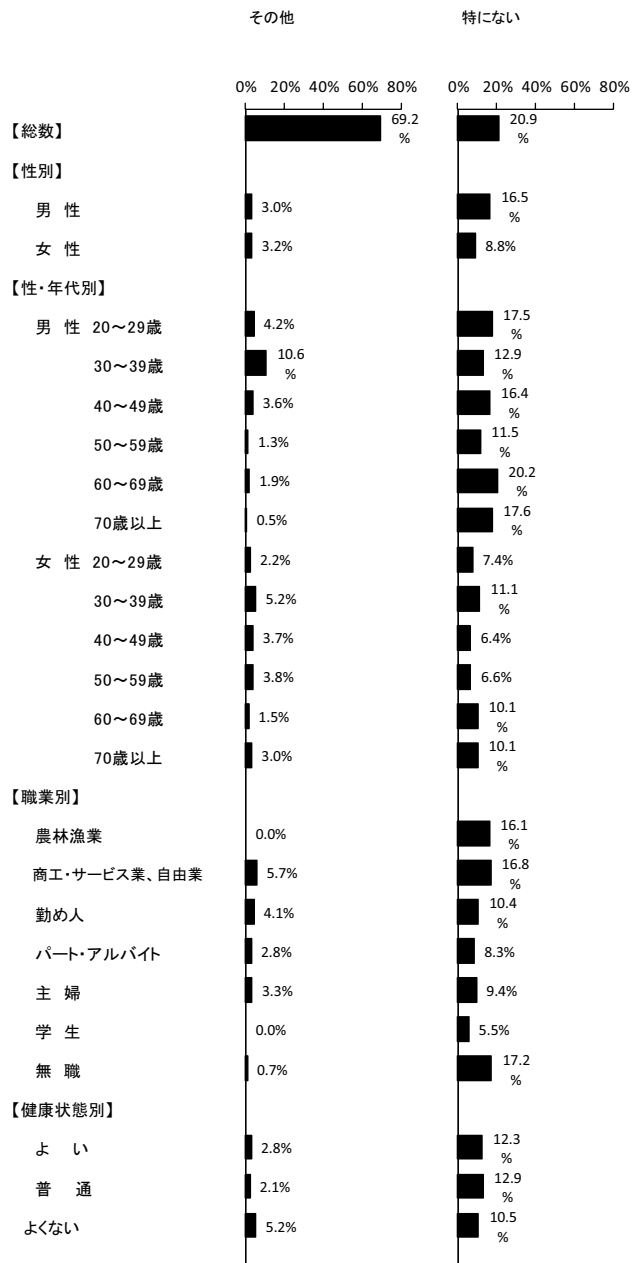
図 14-3 医療機関への要望（看護師について）





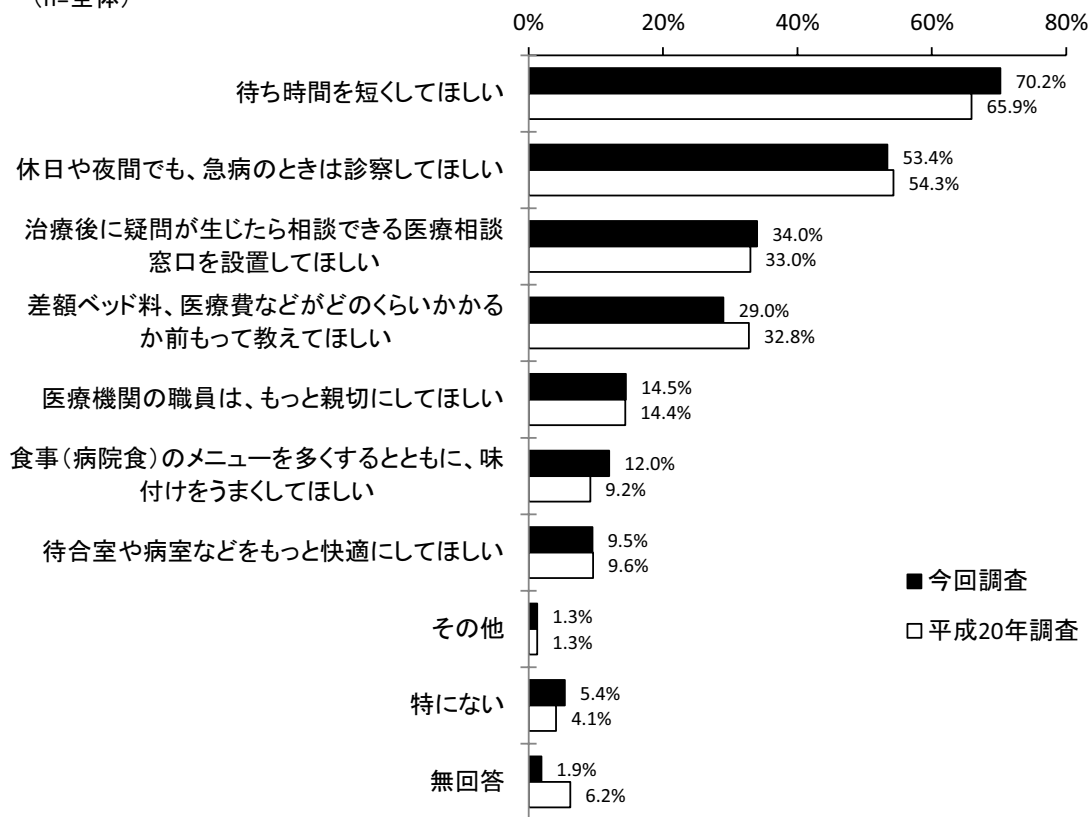






### (3) 医療機関への要望（施設・サービスについて）

(n=全体)



施設・サービスについては「待ち時間を短くしてほしい」が70.2%で最も多く、「休日や夜間でも、急病のときは診察してほしい」(53.4%)、「治療後に疑問が生じたら相談できる医療相談窓口を設置してほしい」(34.0%)となっている。

平成20年調査結果との比較では、ほぼ同様の傾向となっている。

#### ◆地域別

「待ち時間を短くしてほしい」は吾妻保健医療圏75.4%と多く、そのほかの地域でも全てで60%を上回った。「休日や夜間でも、急病のときは診察してほしい」は太田・館林保健医療圏(61.3%)と多く、沼田保健医療圏(48.4%)と少なかった。

#### ◆市郡別

「待合室や病室などをもっと快適にしてほしい」は郡部では4.7%と少なかったが、市部(10.4%)と多かった。

#### ◆性別

「医療機関の職員は、もっと親切にしてほしい」は男性が10.6%と少なく、女性は16.3%と上回った。また、「差額ベッド料、医療費などがどのくらいかかるか前もって教えてほしい」も男性は26.3%女性で32.1%と女性の方が多かった。

#### ◆性・年代別

「待ち時間を短くしてほしい」は30代女性(81.9%)と多く、70歳以上女性(61.4%)と少なかった。「医療機関の職員は、もっと親切にしてほしい」は20代女性(30.6%)と多く、20代男性(3.9%)と同世代でも性別に大きな差が出た。

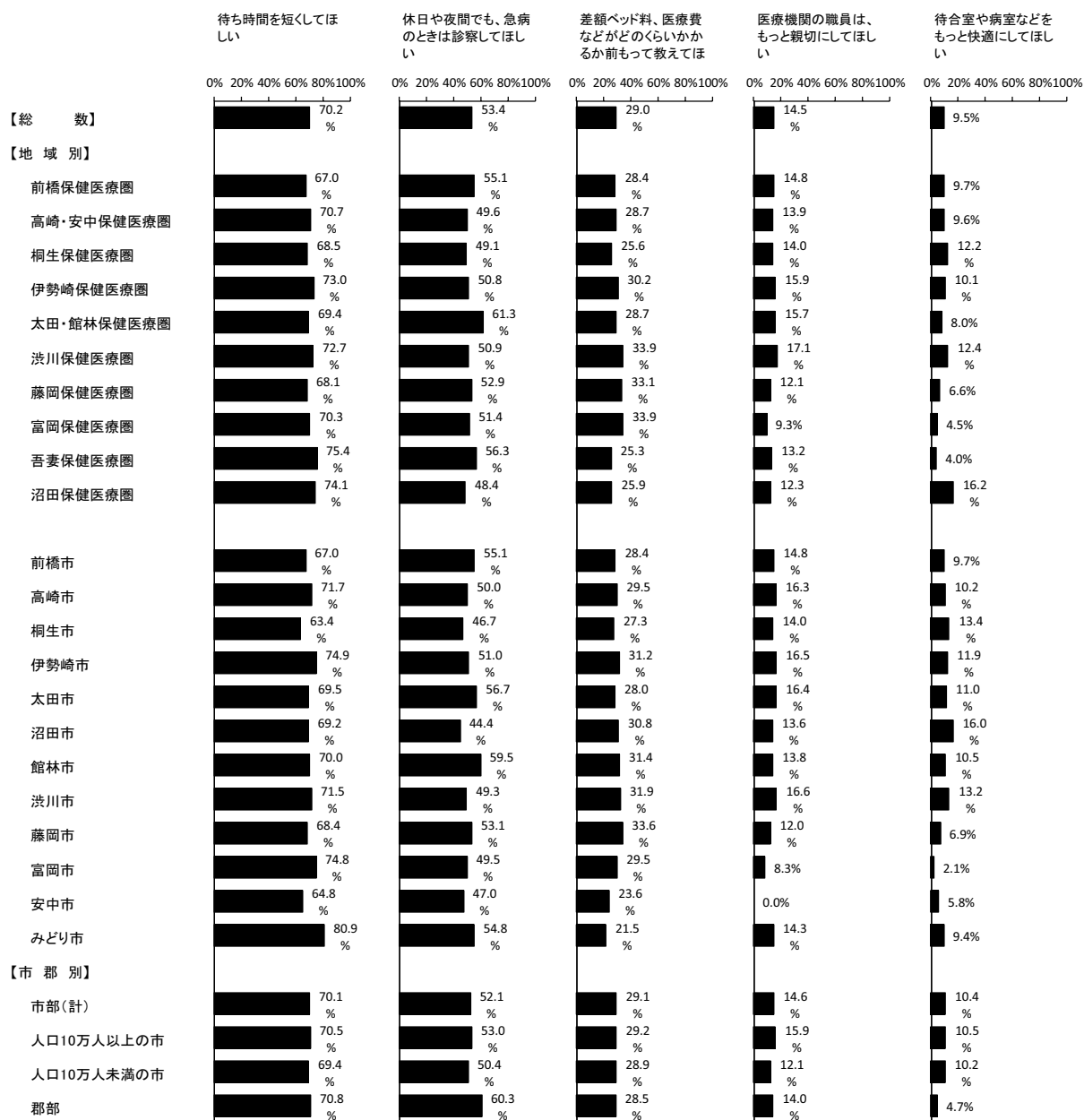
◆職業別

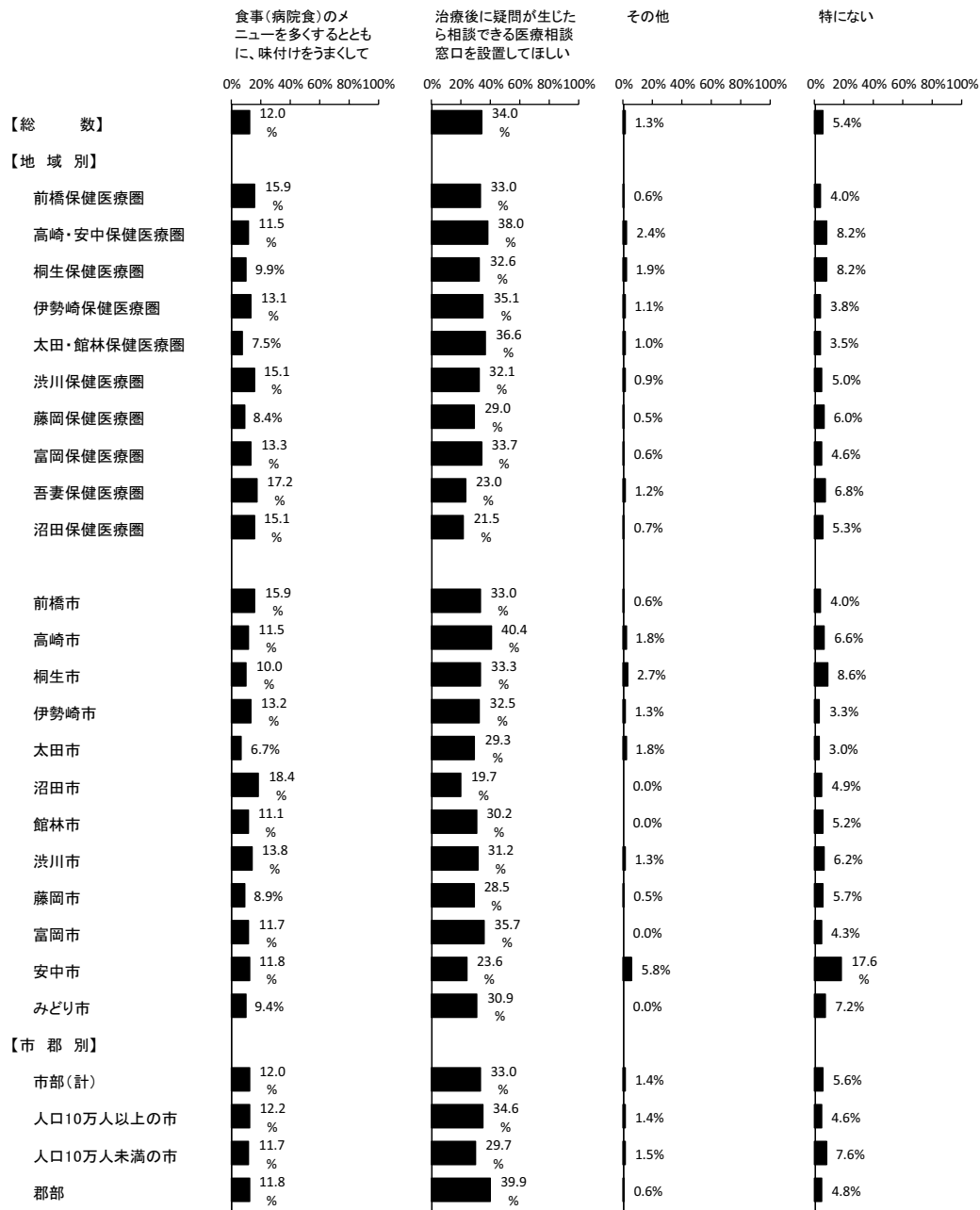
「差額ベッド料、医療費などがどのくらいかかるか前もって教えてほしい」はパート・アルバイトで36.5%と多く、学生は11.4%と少なかった。農林漁業は「医療機関の職員は、もっと親切にしてほしい」(5.5%)、「待合室や病室などをもっと快適にしてほしい」(2.4%)、「食事(病院食)のメニューを多くするとともに、味付けをうまくしてほしい」(7.2%)と他の職業に比べて少なかった。

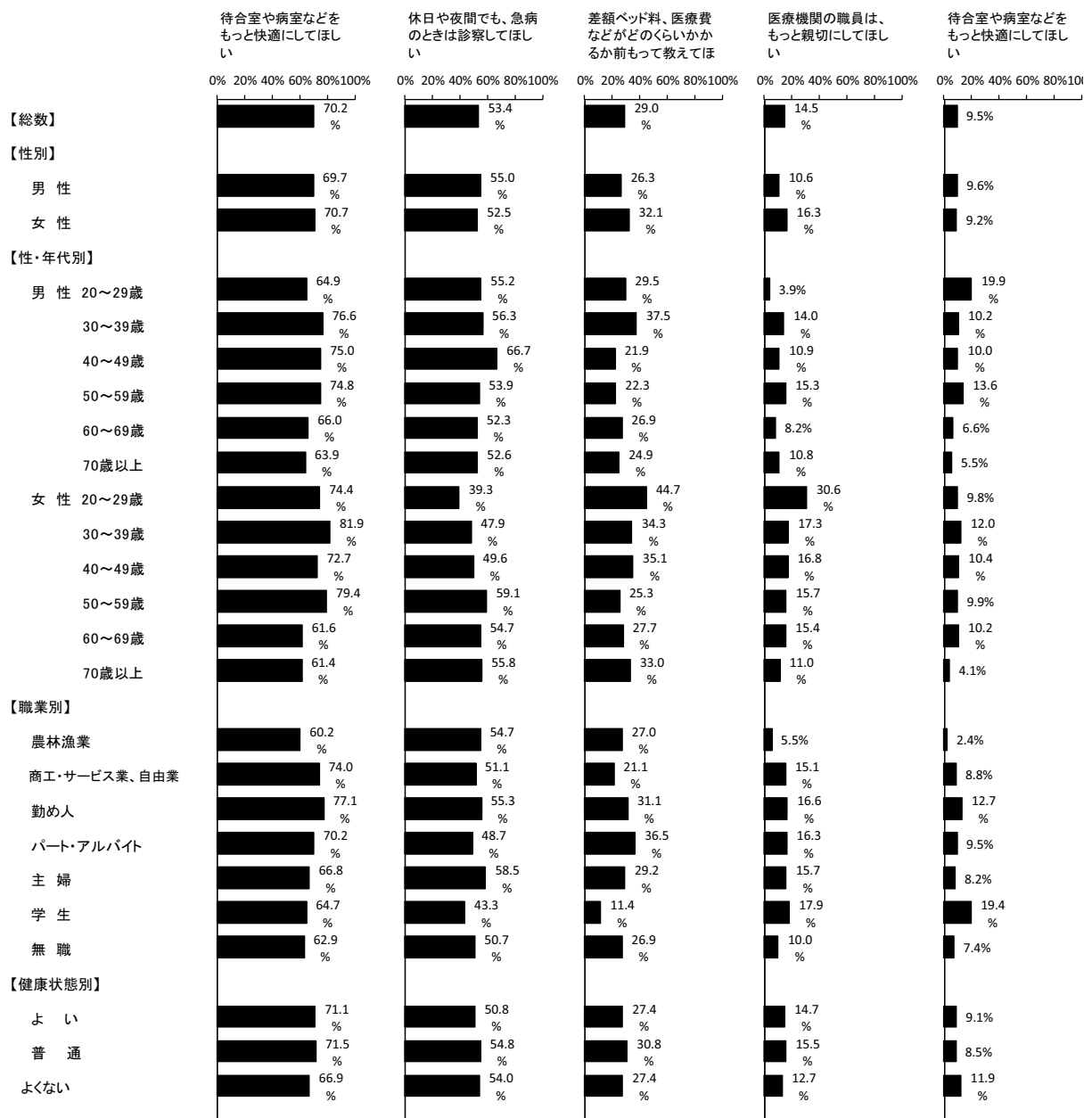
◆健康状態別

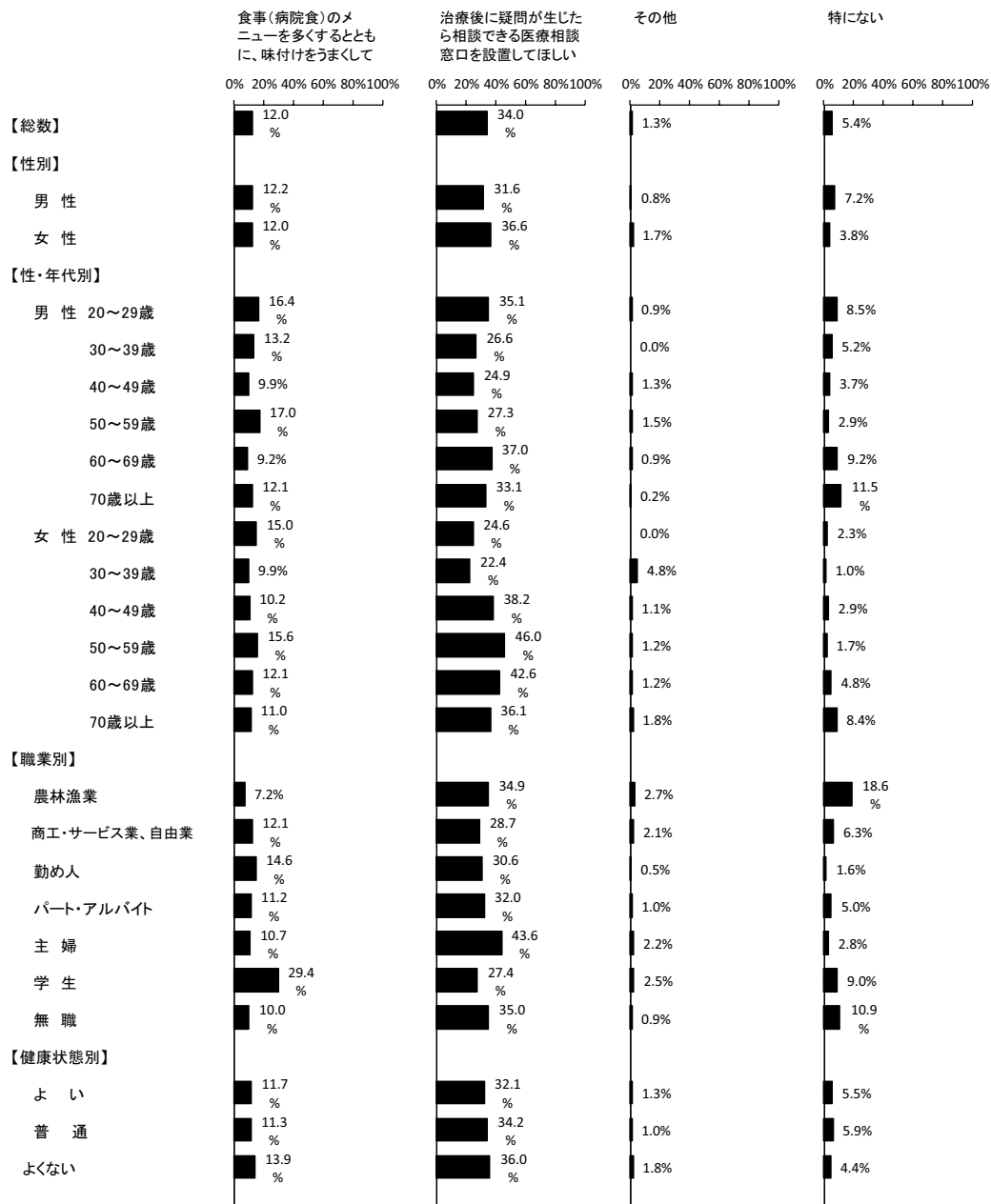
健康状態による差異はほとんど見られなかった。

図 14-4 医療機関への要望（施設・サービスについて）









## 15 保健医療情報について

### (1) 知りたい保健医療情報

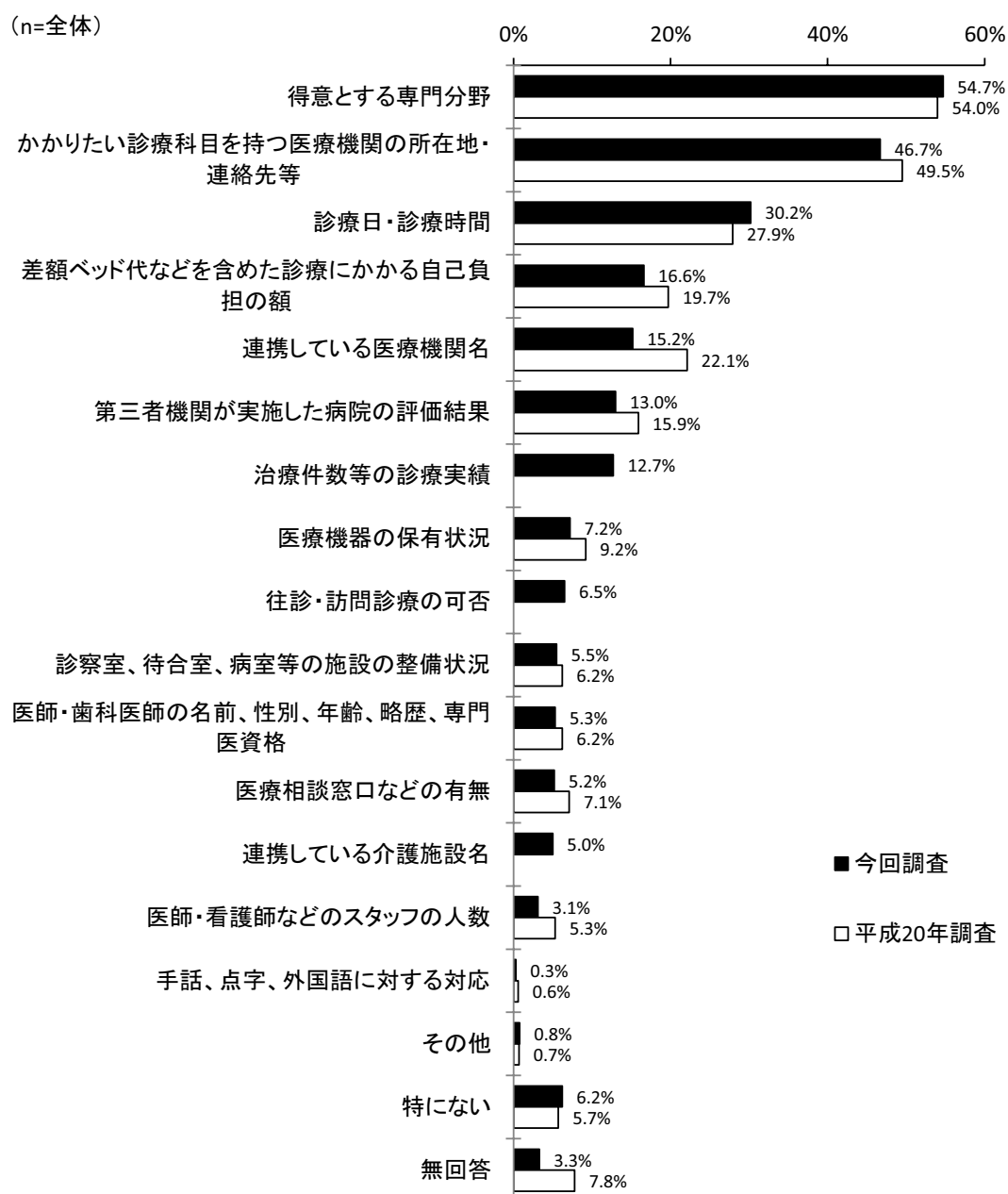
～ 医療機関を選択するための情報は、「得意とする専門分野」(54.7%)

それ以外での情報では「病気の症状や予防・治療に関する情報」(49.9%)が最多 ～

#### 問22 知りたい保健医療に関する情報は何か。

(A) 医療機関を選択するための情報 (〇は3つまで)

図 15-1



知りたい保険や医療に関する情報で、医療機関を選択するための情報は「得意とする専門分野」が 54.7%、「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」が 46.7%、「診療日・診療時間」が 30.2%となっている。

平成 20 年調査結果との比較では、上位 3 項目の順位については、同様な傾向となっている。

#### ◆地域別

「得意とする専門分野」はいずれの地域も 50%を超え、「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」は渋川保健医療圏が 56.1%と多く、一番少ない沼田保健医療圏でも 36.1%であった。また、「診療日・診療時間」は地域別の差異はほとんど確認できなかった。

#### ◆市郡別

いずれの結果も市郡別による差異はほとんど確認できなかった。

#### ◆性別

いずれの結果も男女別による差異はほとんど確認できなかった。

#### ◆性・年代別

「得意とする専門分野」は 40 代の男性が 66.7%、30 代の男性が 64.3%、40 代の女性が 60.4%と 60%を超え、「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」は 50 代女性が 67.8%、30 代の女性が 59.9%、30 代の男性が 51.9%だった。

#### ◆職業別

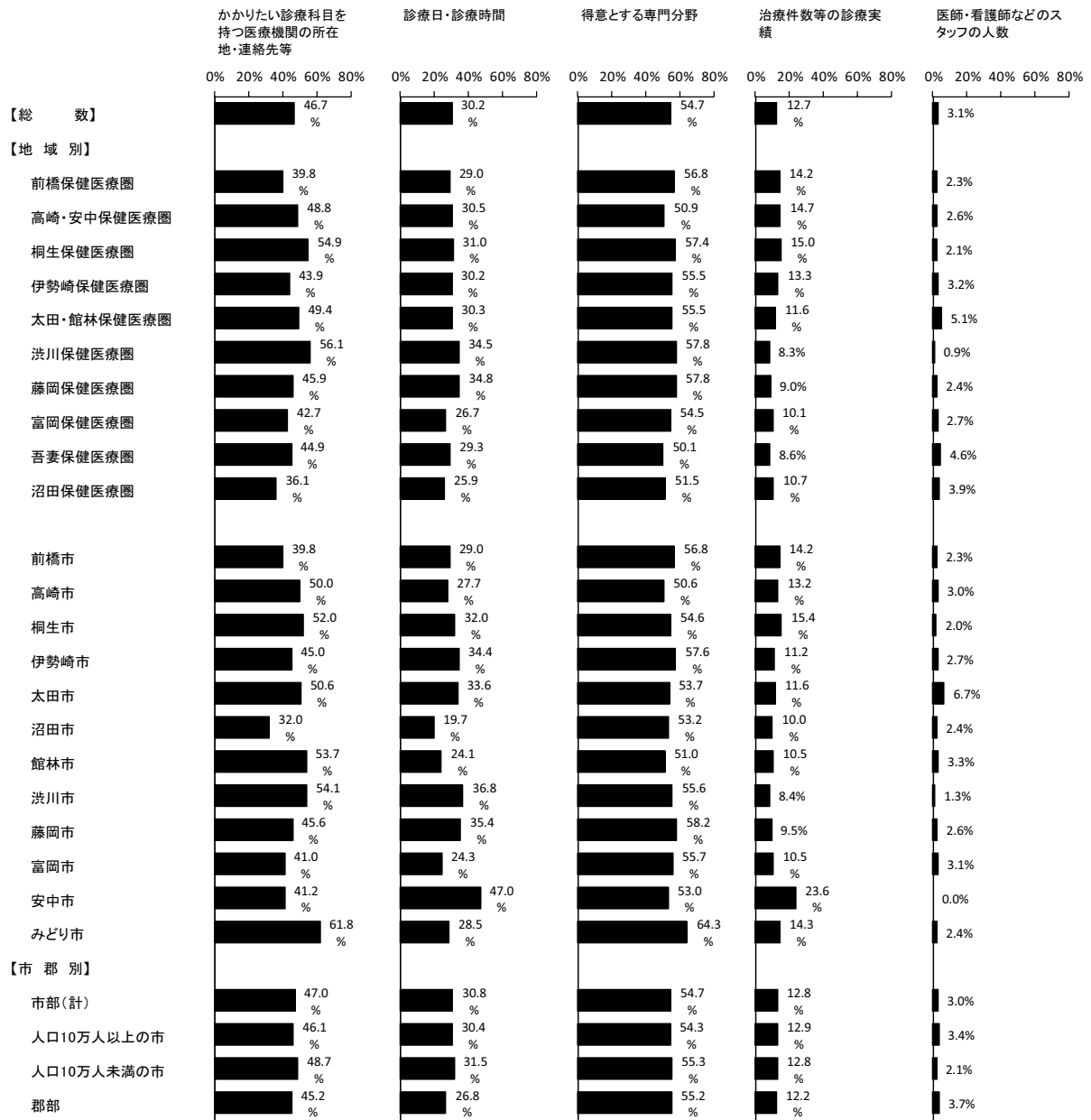
「得意とする専門分野」は勤め人が 65.6%と最も多く、学生が 37.8%だった。また、「かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等」はパート・アルバイトの 60.2%が最も多く、勤め人の 46.7%を上回った。

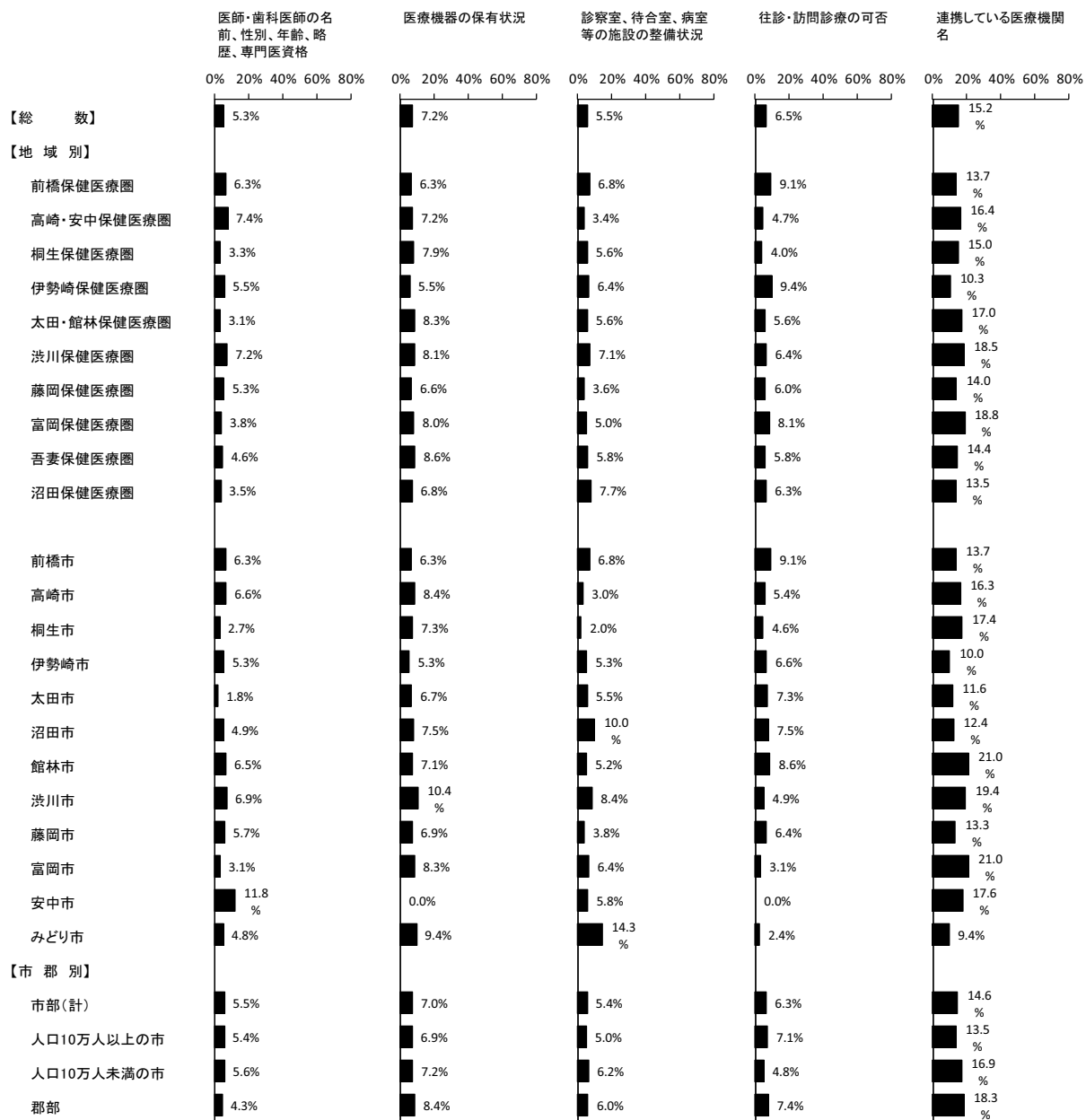
#### ◆健康状態別

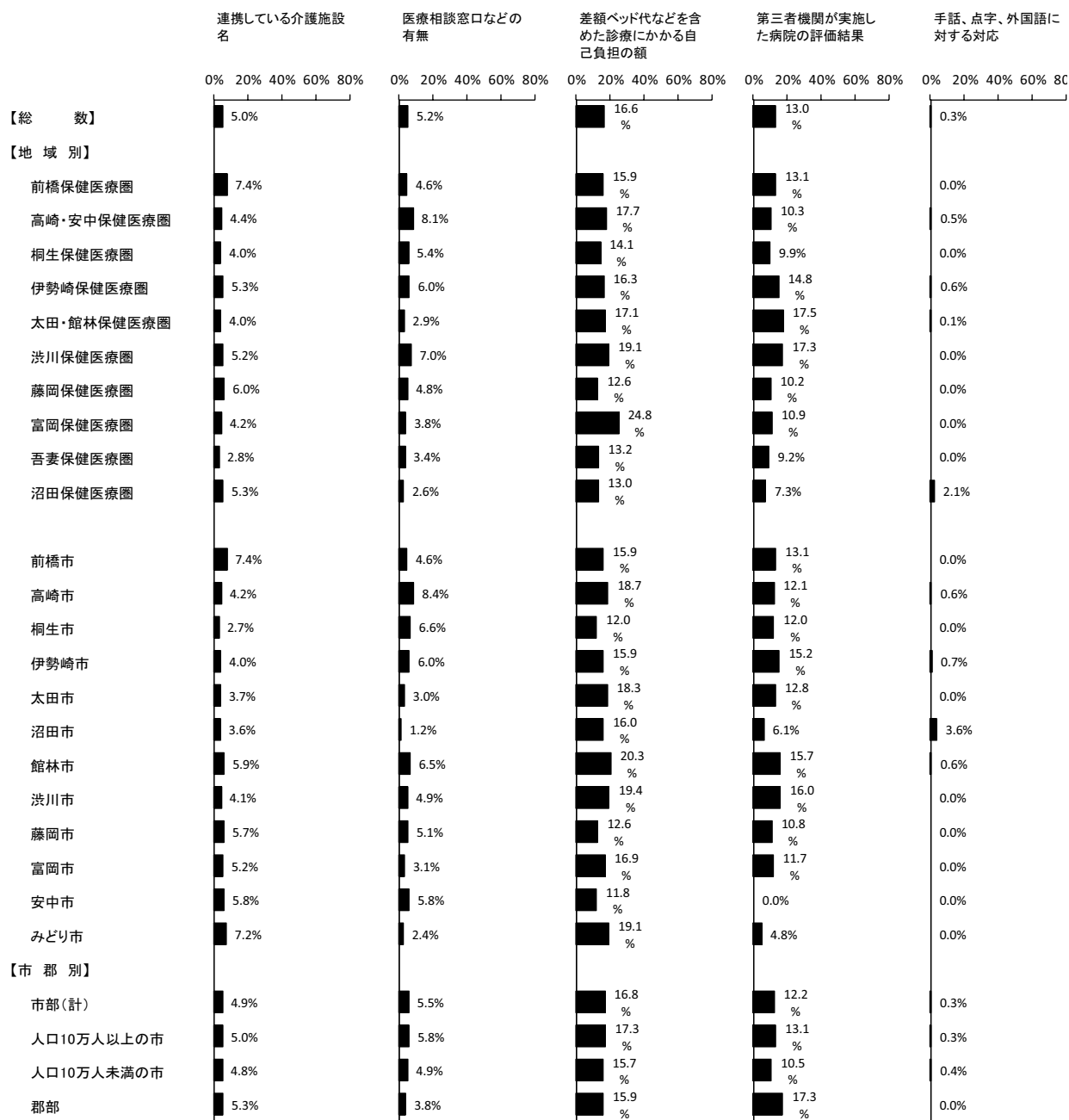
いずれの結果も健康状態別による差異はほとんど確認できなかった。

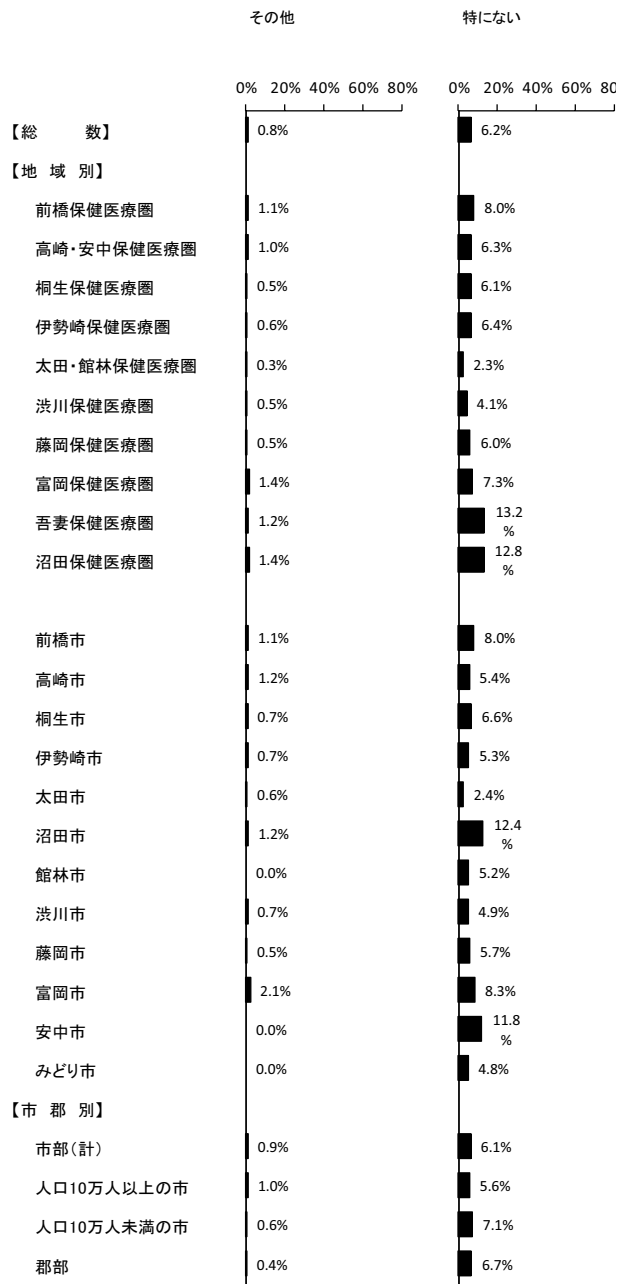


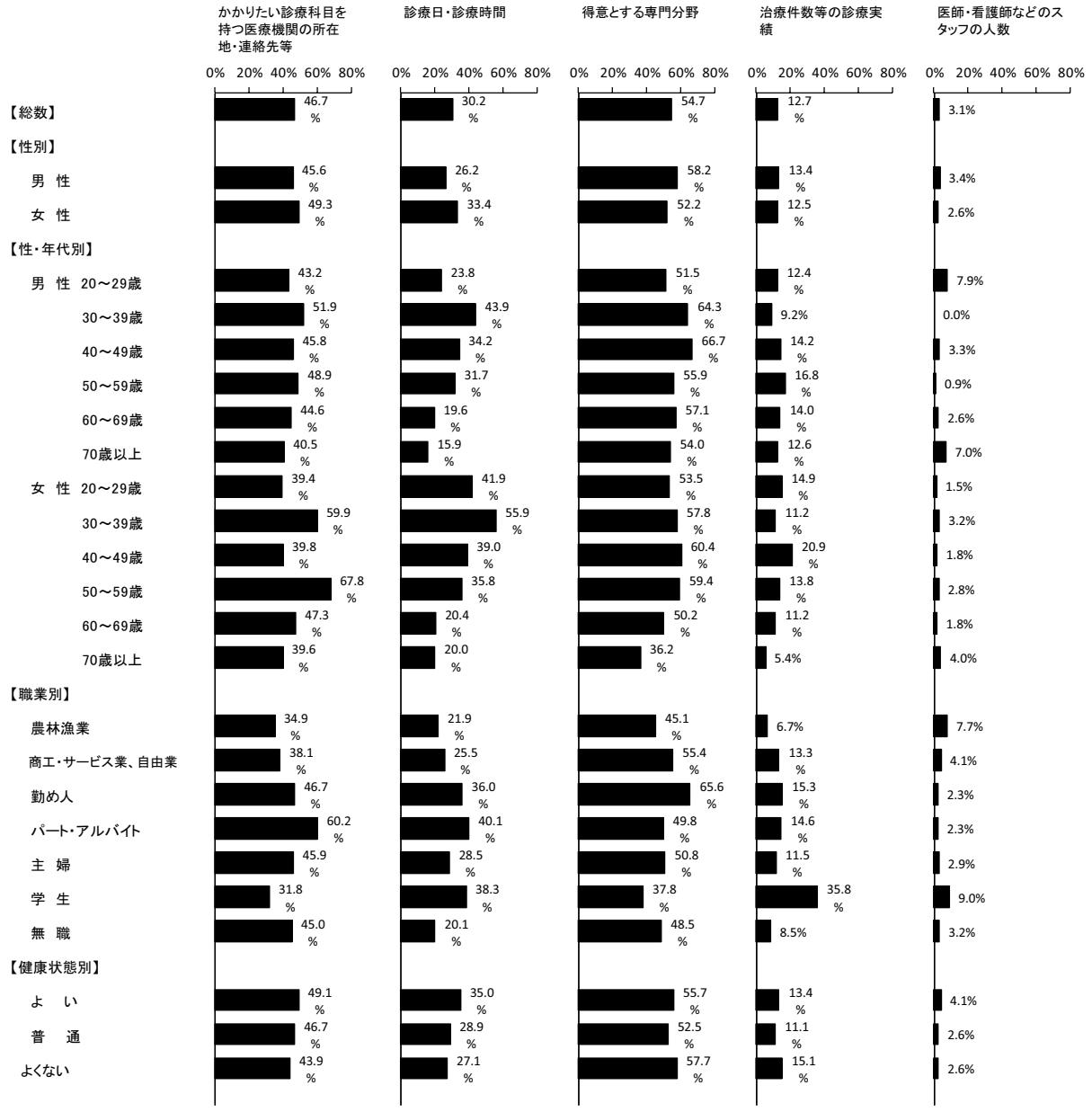
図 15-2 知りたい保健医療情報（医療機関を選択するための情報）

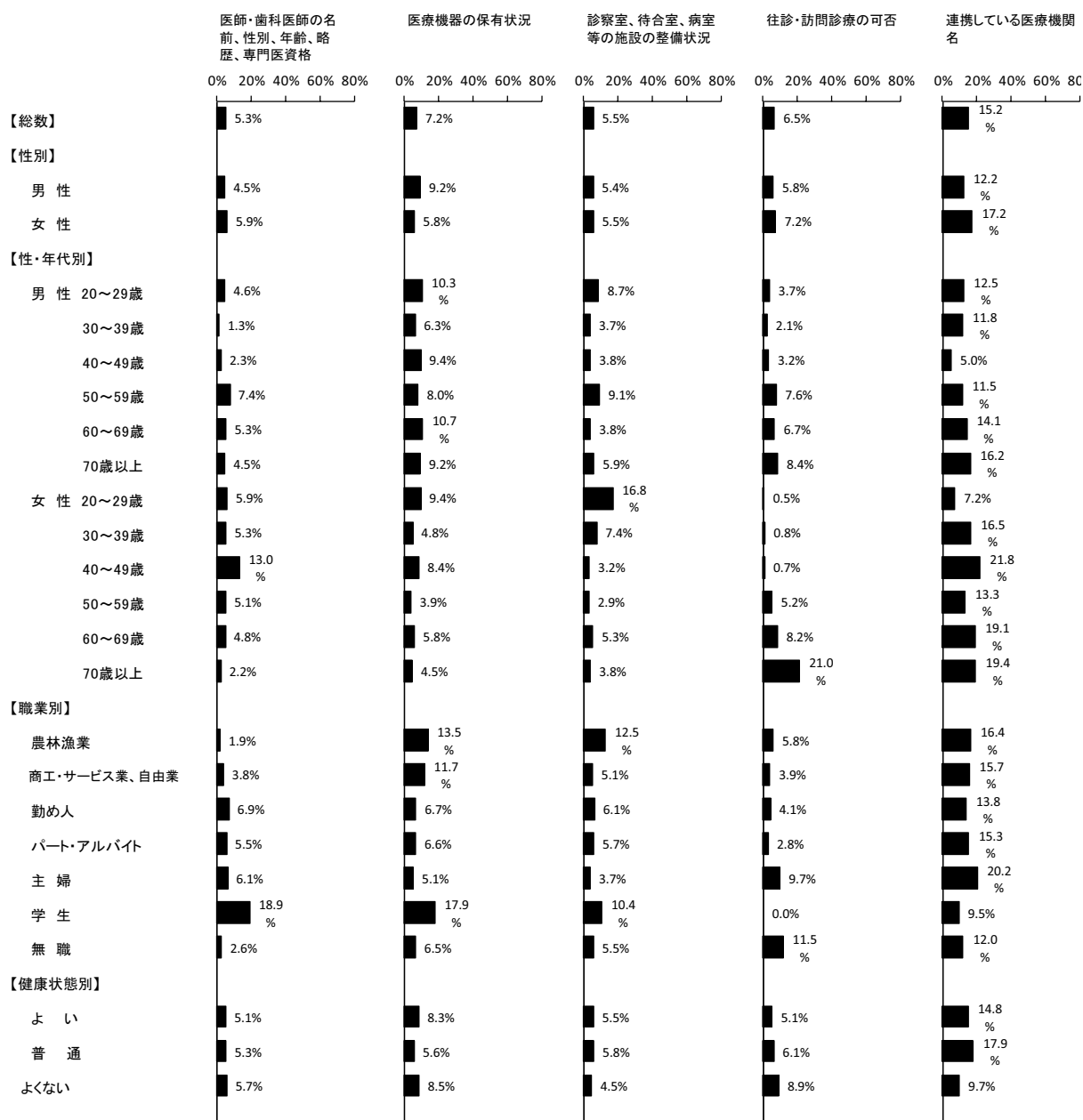


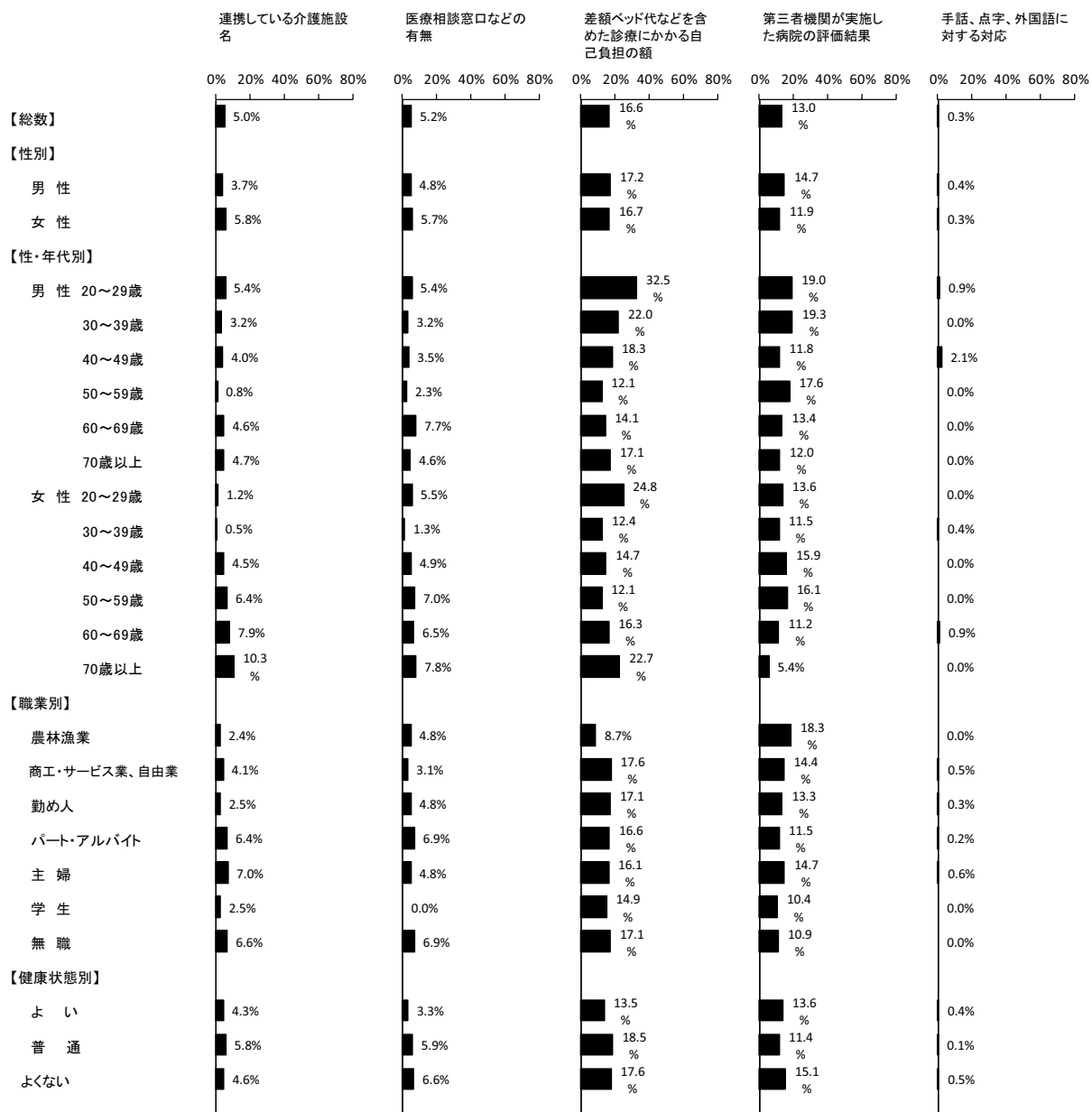


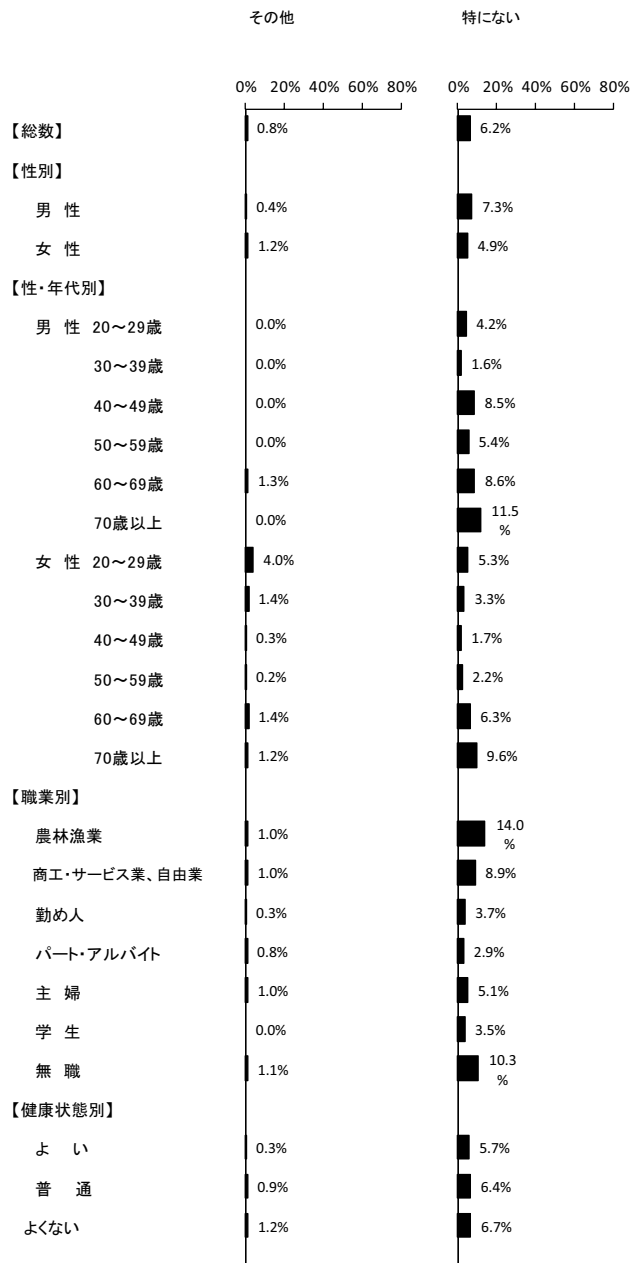








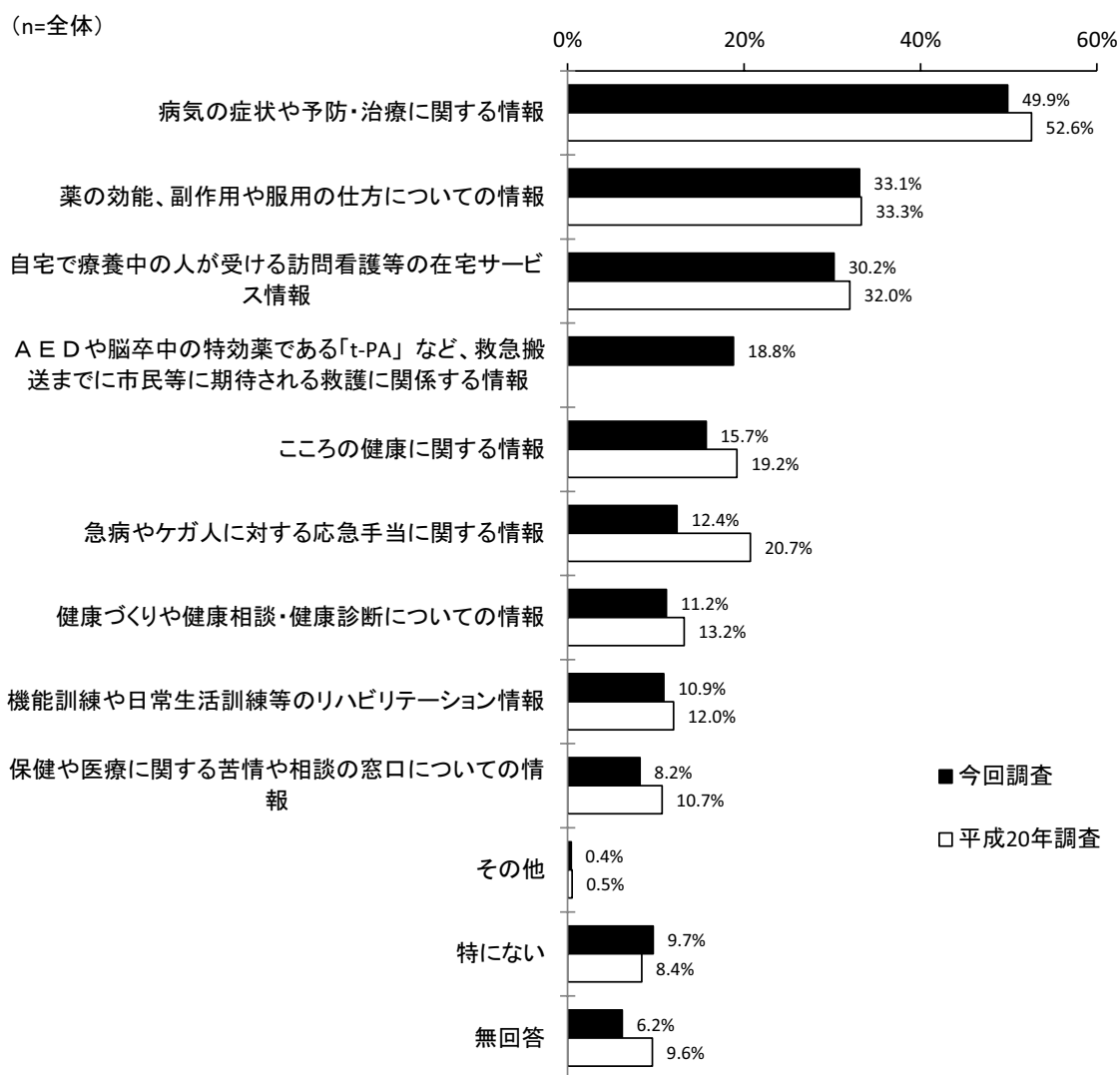






(B) 医療機関選択以外の保健医療情報 (○は3つまで)

図 15-3



(A) 以外の保険医療機関情報で、「病気の症状や予防・治療に関する情報」が 49.9%、「薬の効能、副作用や服用の仕方についての情報」が 33.1%、「自宅で療養中の人を受ける訪問看護等の在宅サービス情報」が 30.2%となっている。

平成 20 年調査結果との比較では、上位 3 項目の順位については、同様の傾向となっている。

◆地域別

「病気の症状や予防・治療に関する情報」、「自宅で療養中の人を受ける訪問看護等の在宅サービス情報」は地域別の差異は認められなかったが、「薬の効能、副作用や服用の仕方についての情報」は富岡保健医療圏が 39.1%、沼田保健医療圏が 23.2%と、若干の差異が確認できた。

◆市郡別

いずれの結果も市郡別による差異はほとんど確認できなかった。

◆性別

いずれの結果も男女別による差異はほとんど確認できなかった。

◆性・年代別

「病気の症状や予防・治療に関する情報」は50代の男性が62.4%と最も多く、「自宅で療養中の人が受ける訪問看護等の在宅サービス情報」は50代の女性が42.1%だった。

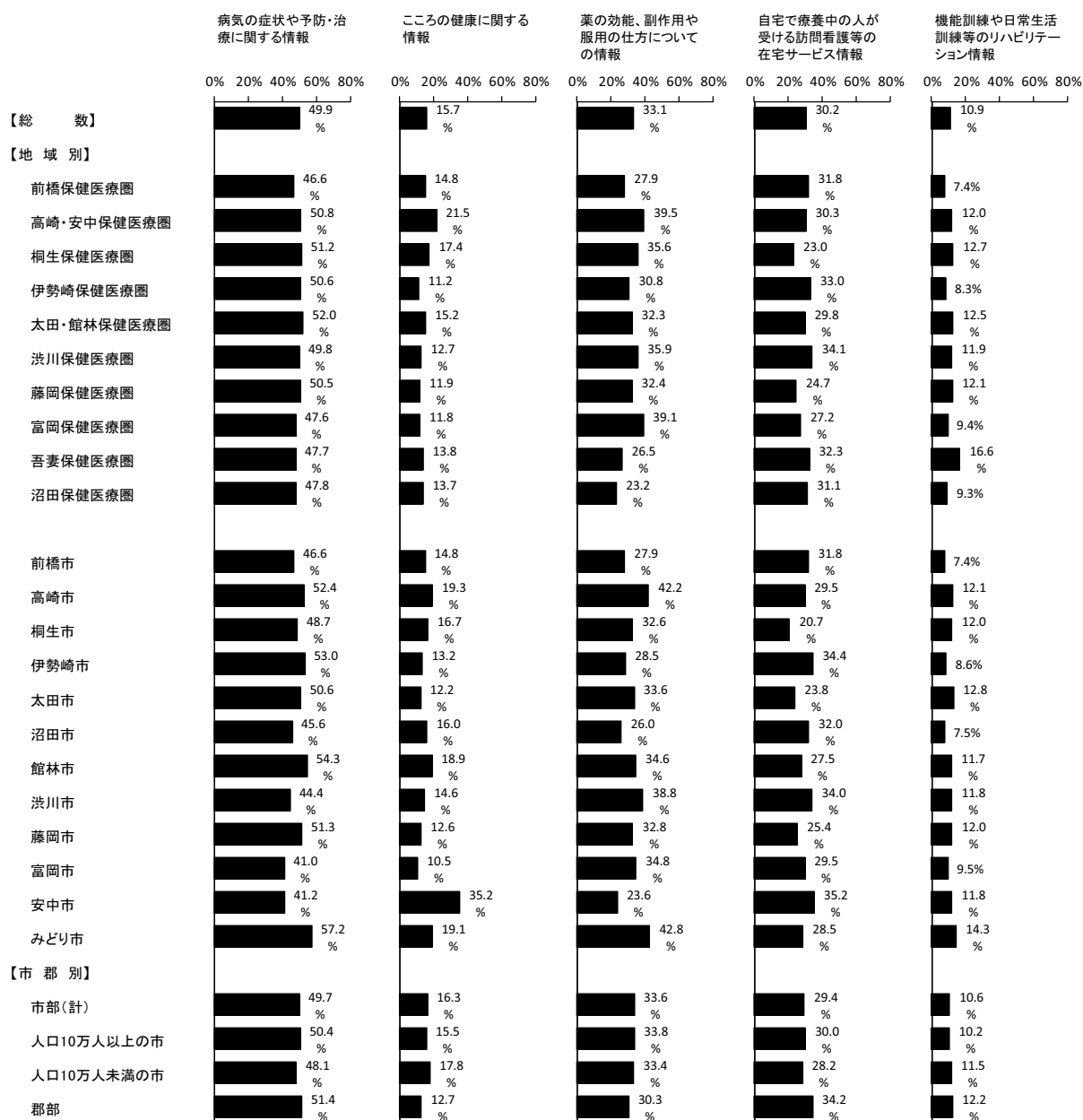
◆職業別

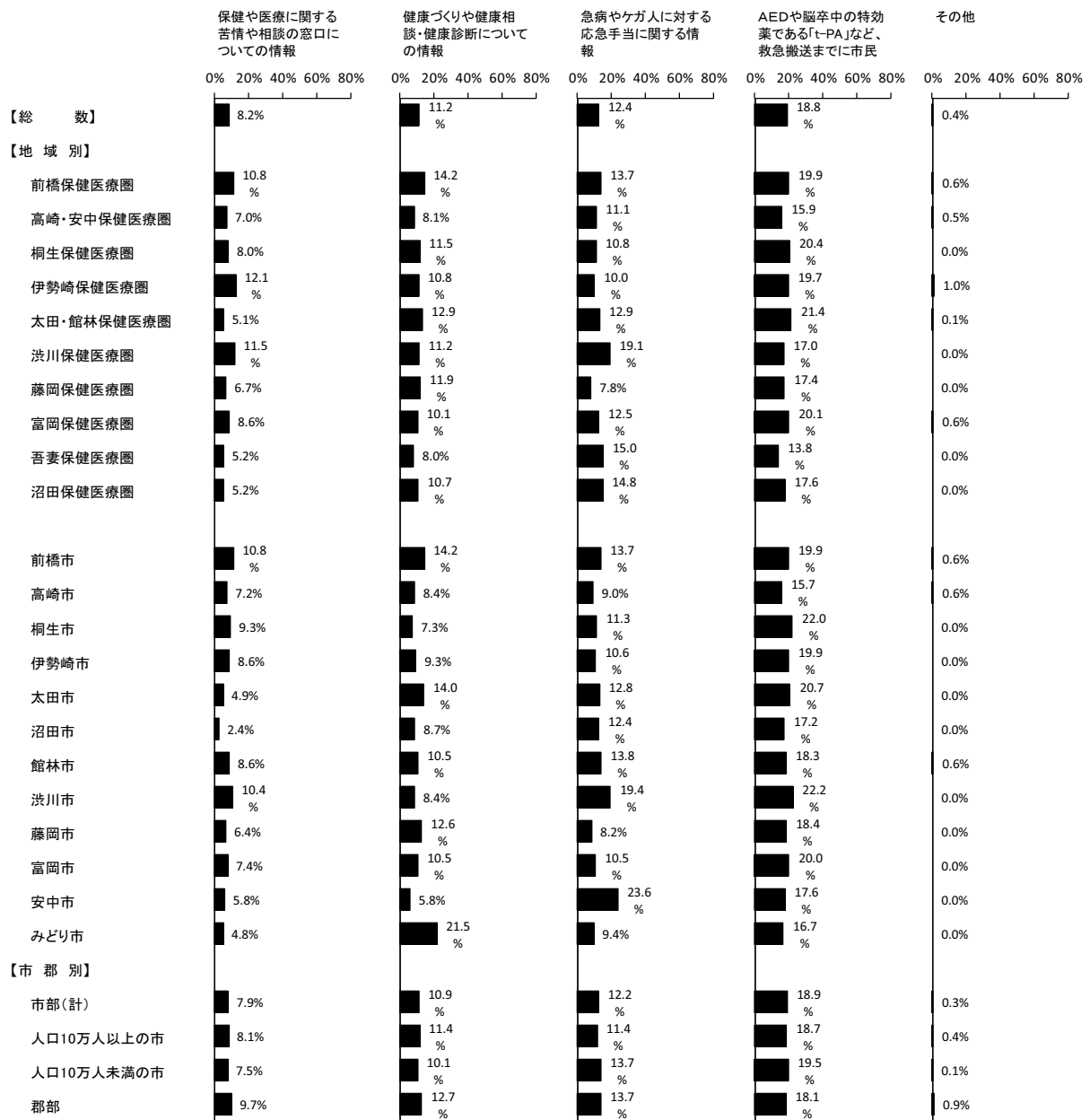
「病気の症状や予防・治療に関する情報」は勤め人が55.5%、次いで主婦が51.5%と50%を超えた。また、「薬の効能、副作用や服用の仕方についての情報」は無職の27.4%に対し学生が56.2%と多い結果となった。

◆健康状態別

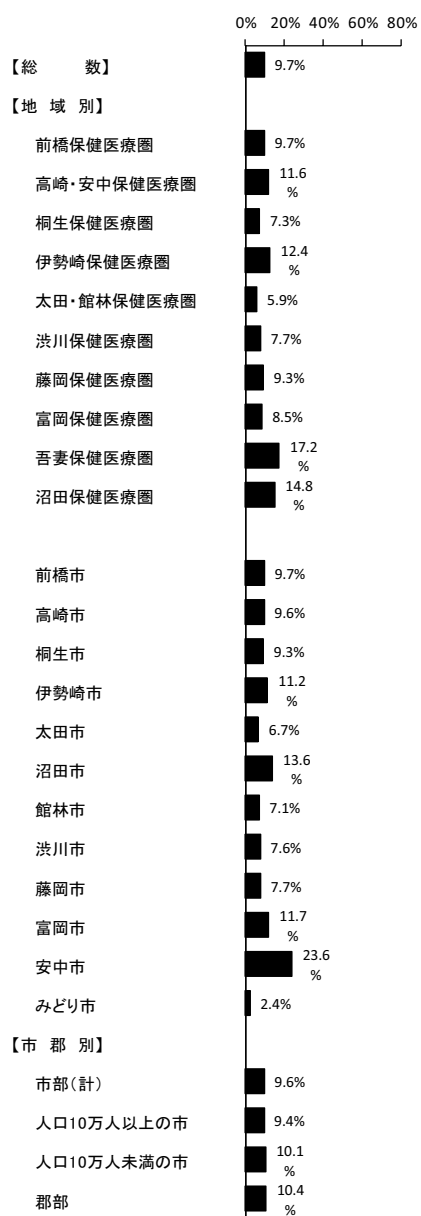
いずれの結果も健康状態別別による差異はほとんど確認できなかったが、「こころの健康に関する情報」は「よい」の13.0%に対し「普通」の17.3%、「よくない」の16.9%と若干の差異が確認できた。

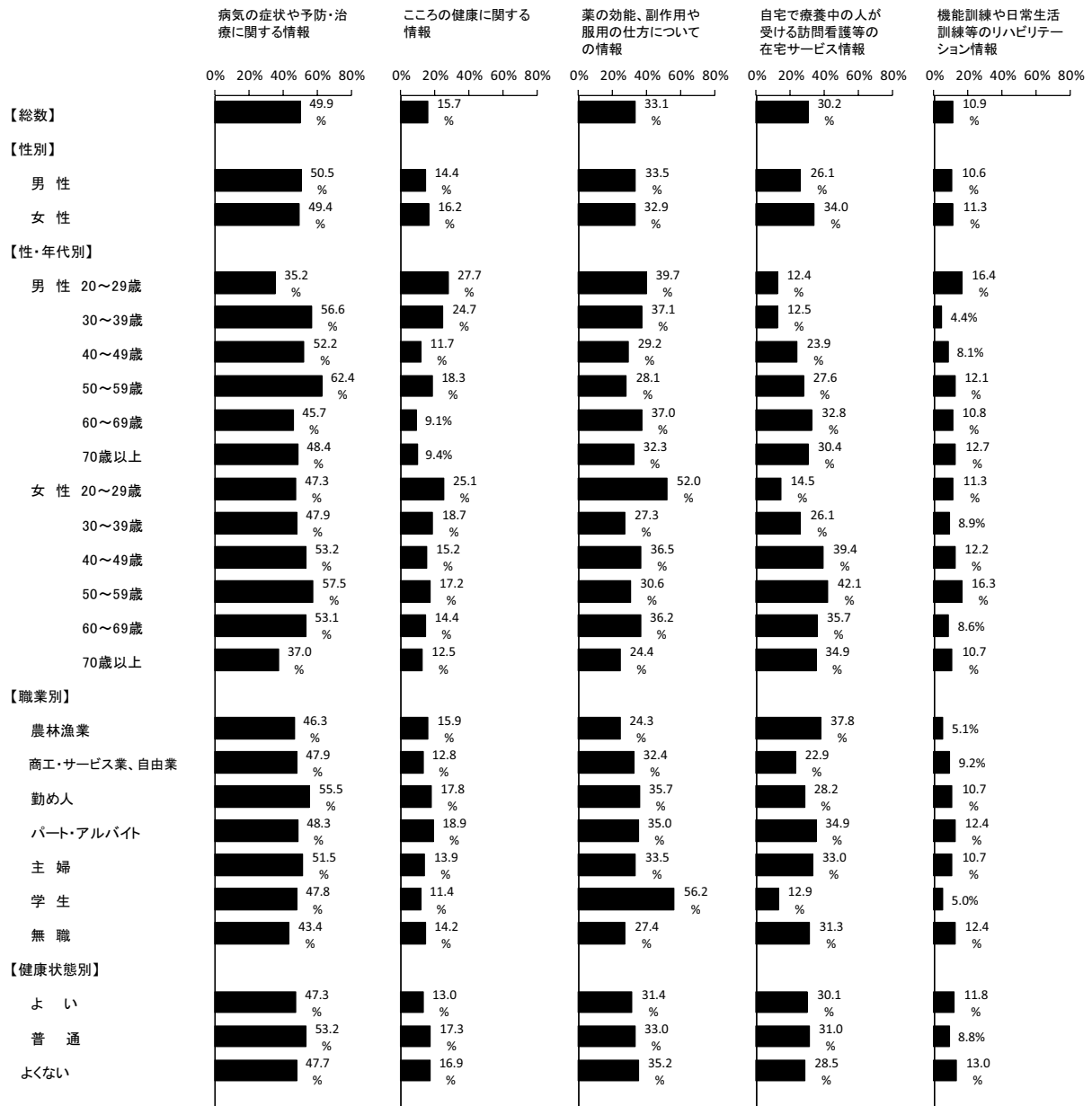
図 15-4 知りたい保健医療情報（医療機関選択以外の保健医療情報）

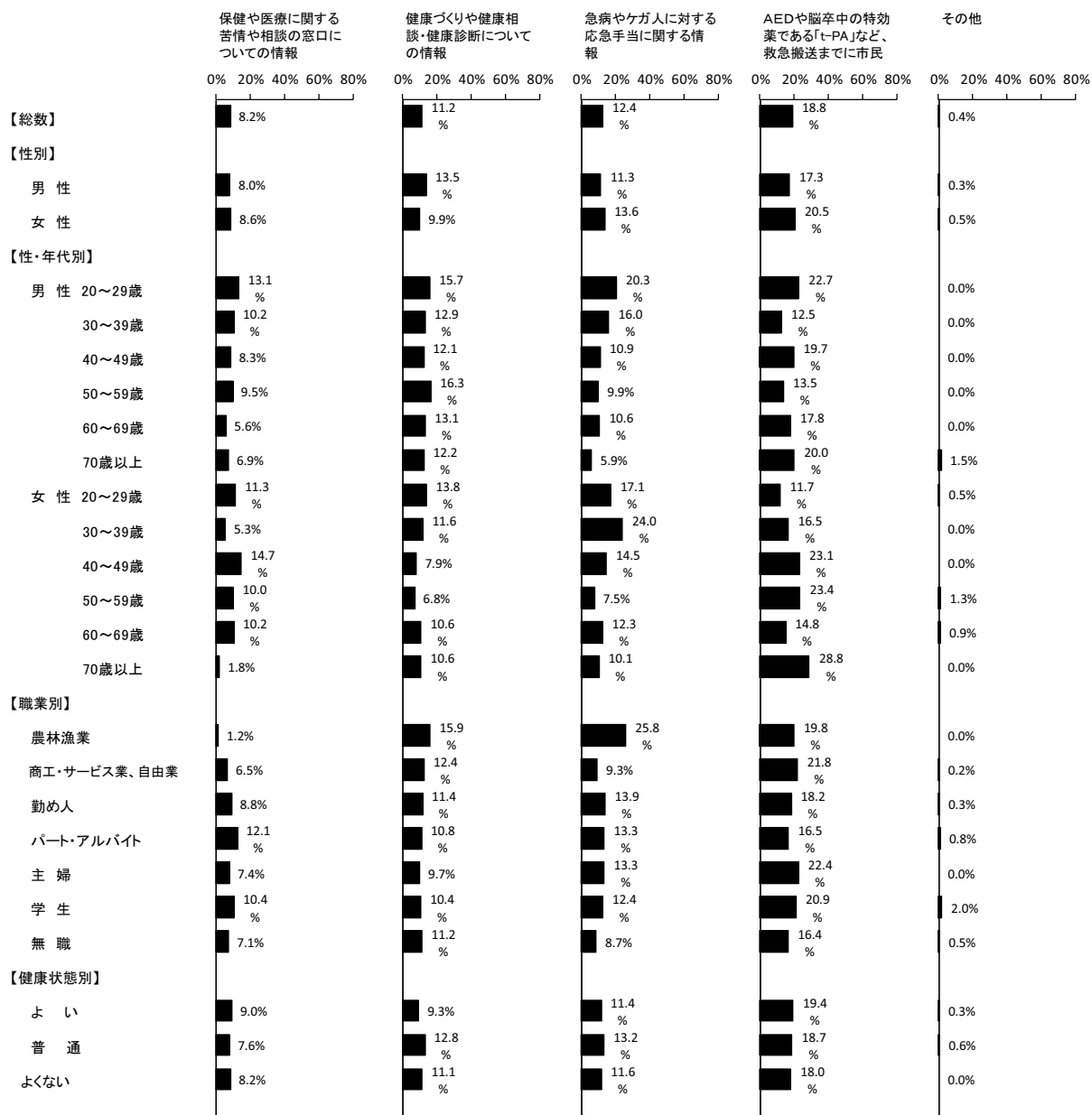




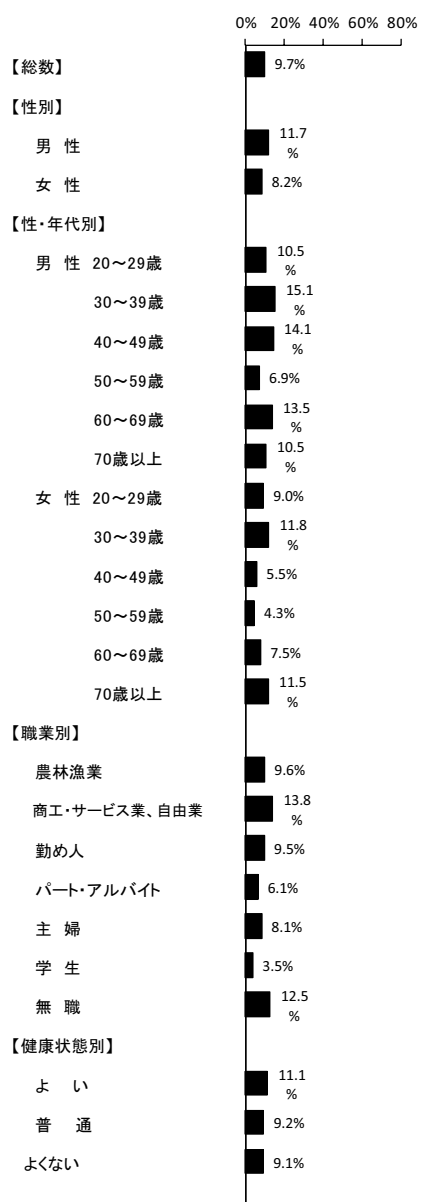
特になし







特になし

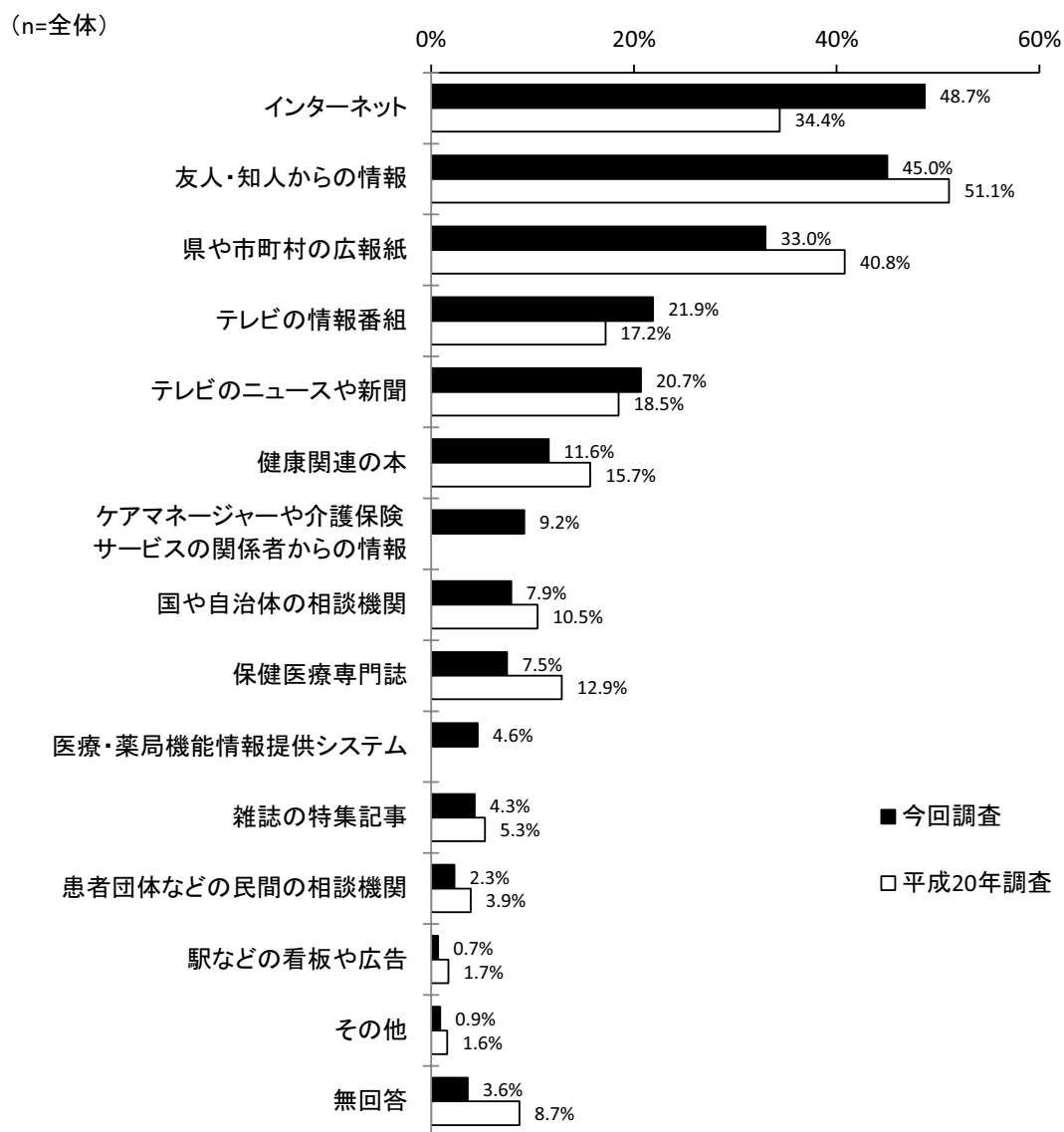


(2) 保健医療情報の入手方法

～ 「インターネット」(48.7%)、「友人・知人からの情報」(45.0%)の順 ～

問 23 医院（診療所）や病院で情報を入手する以外に、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手しようと思えますか。（〇は3つまで）

図 15-5



情報の入手方法は「インターネット」が48.7%、「友人・知人からの情報」が45.0%、「県や市町村の広報紙」が33.0%だった。

平成20年調査結果との比較では、上位3項目は同様となっているが、「インターネット」が34.4%から48.7%へと大きく増加している。また、「友人・知人からの情報」と「県や市町村の広報紙」は上位3項目に含まれているが減少している。



◆地域別

「インターネット」は伊勢崎保健医療圏の54.1%、渋川保健医療圏の53.5%、太田・館林保健医療圏の51.1%と50%を超える結果となった。「友人・知人からの情報」も吾妻保健医療圏の50.7%、高崎・安中保健医療圏の50.2%と50%を超える結果となった。

◆市郡別

いずれの結果も市郡別による差異はほとんど確認できなかった。

◆性別

いずれの結果も性別による差異はほとんど確認できなかった。

◆性・年代別

「インターネット」は20代の女性が85.9%、30代の男性が81.5%と多かったのに対し、70歳以上の女性は12.0%と大きな差異が確認できた。「友人・知人からの情報」は30代の女性が50.8%、40代の女性が50.9%、50代の女性が52.4%、60代の女性が51.6%と50%を超える結果となった。

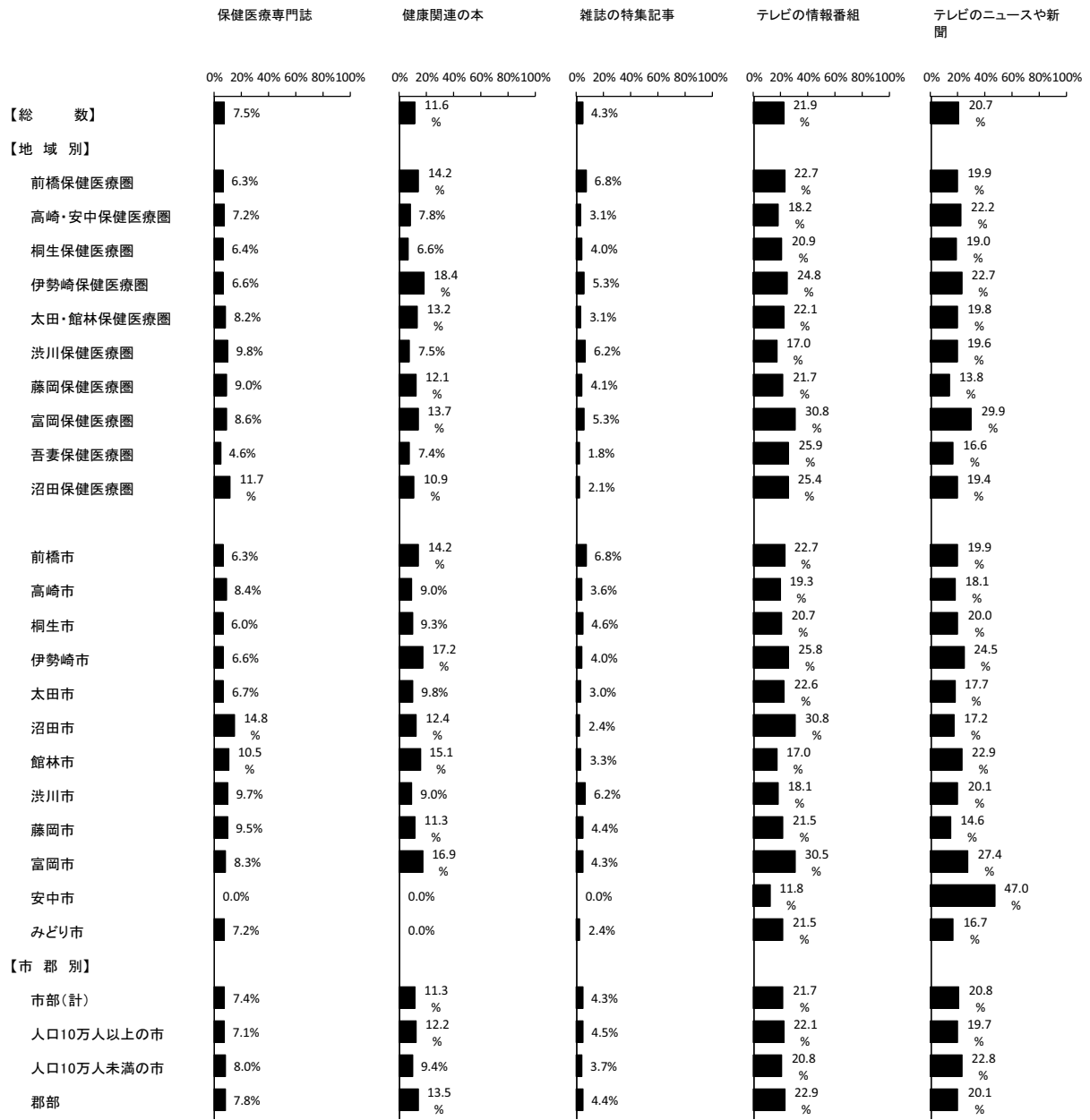
◆職業別

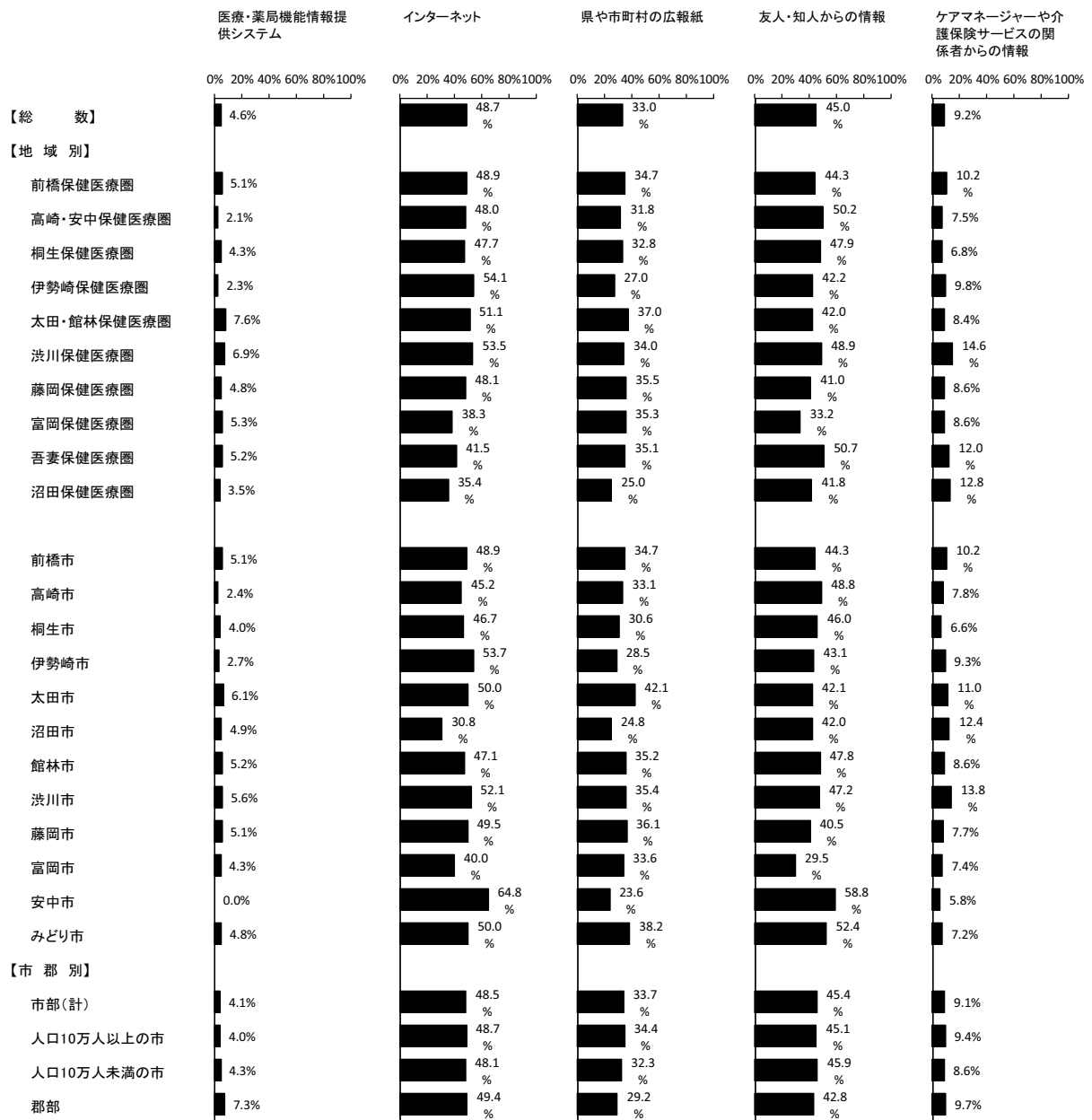
「インターネット」は勤め人の69.2%、学生の67.2%と多く、「友人・知人からの情報」はパート・アルバイトの55.3%と学生の51.2%が50%を超える結果となった。また、「県や市町村の広報紙」は農林漁業の44.3%に対し学生の4.5%と差異が確認できた。

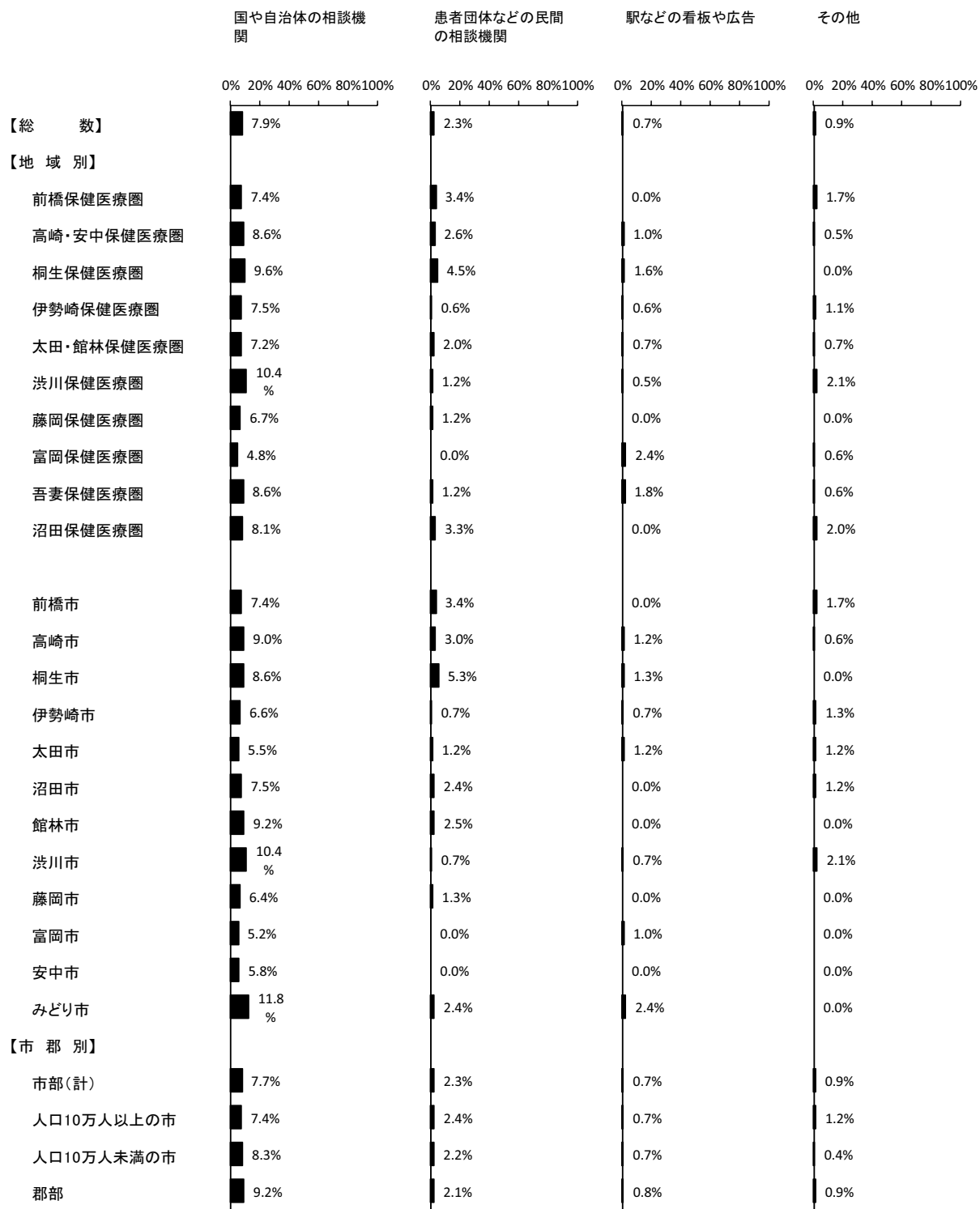
◆健康状態別

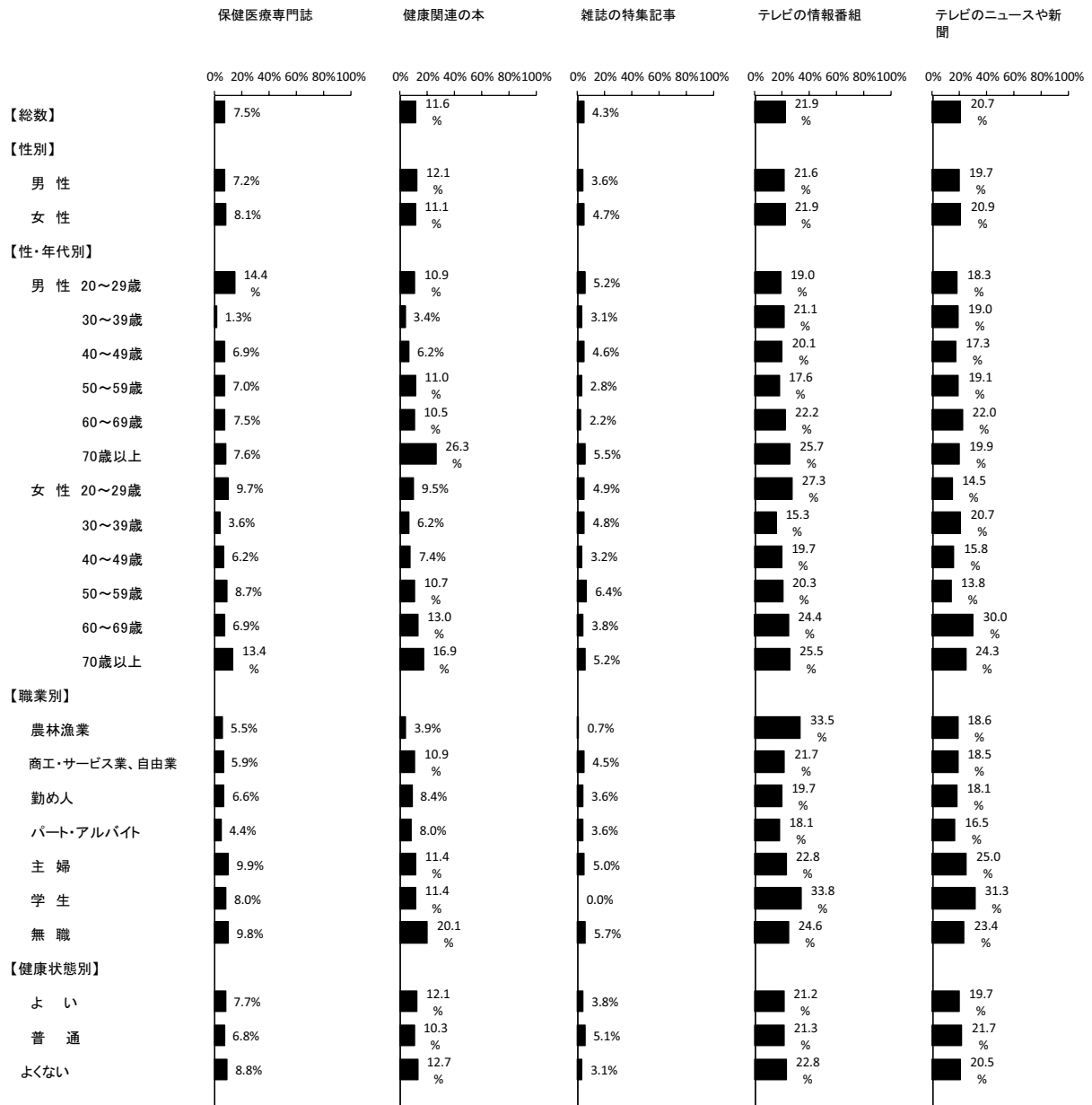
いずれの結果も健康状態別による差異はほとんど確認できなかった。

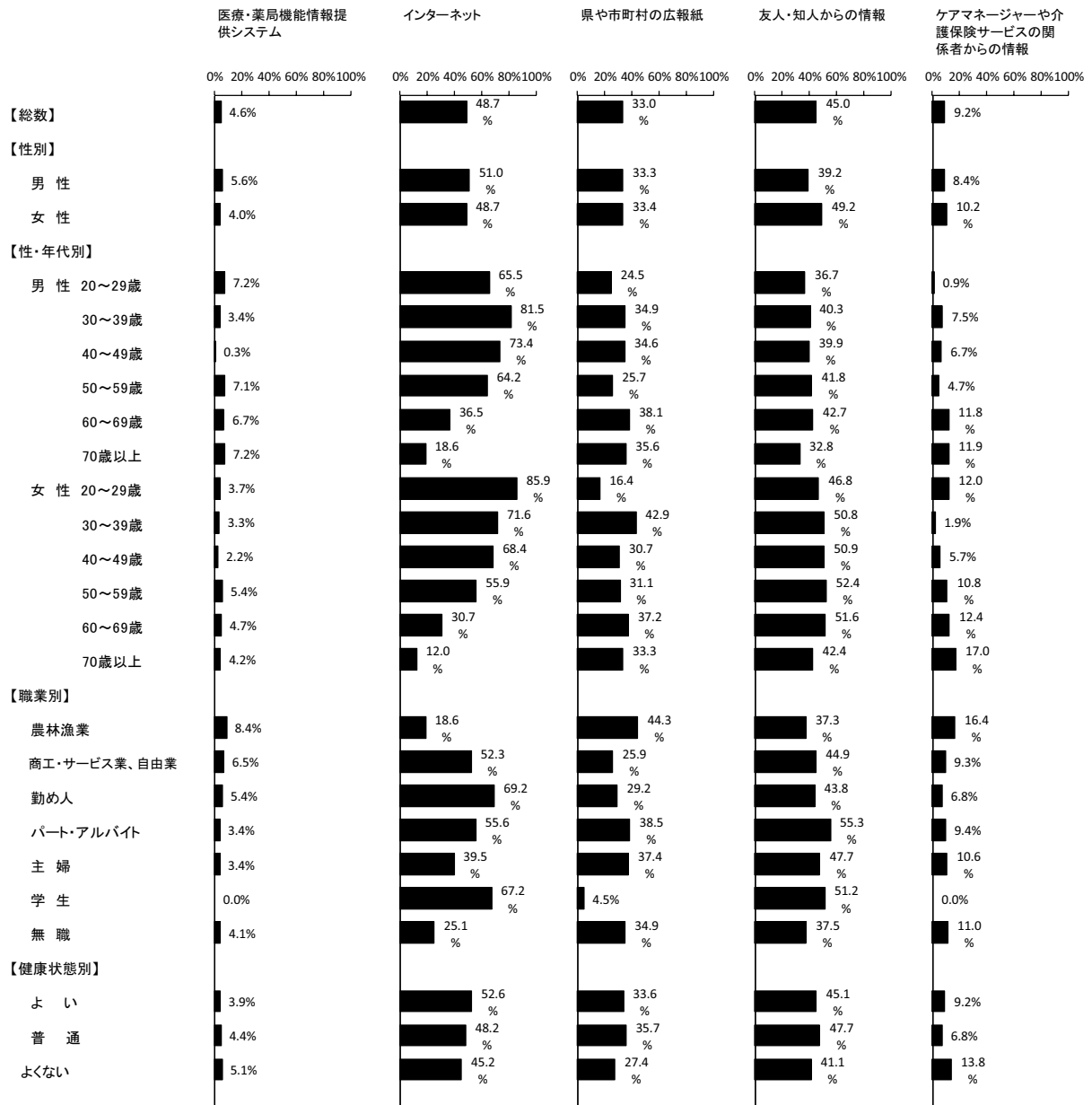
図 15-6 保健医療情報の入手方法

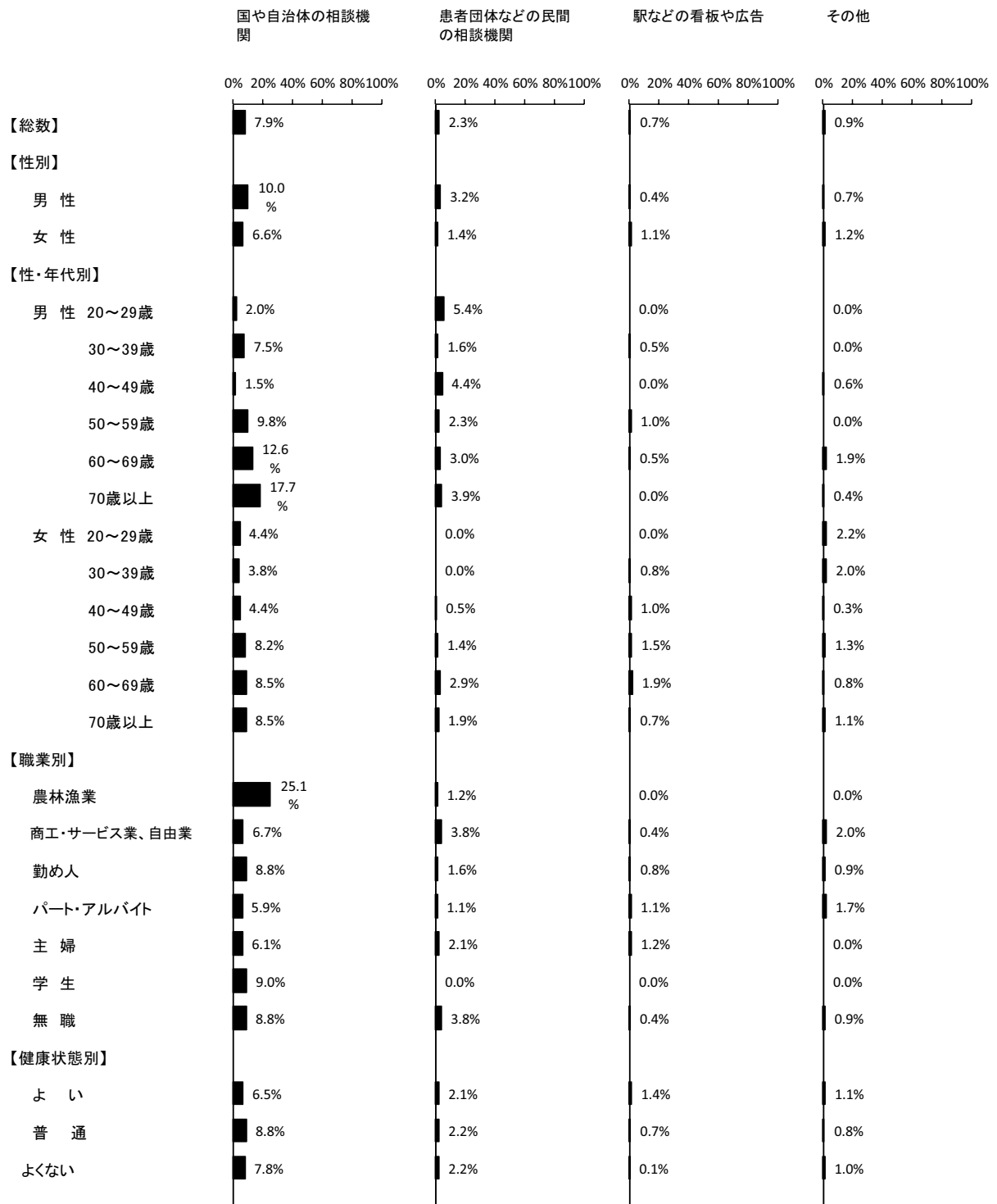












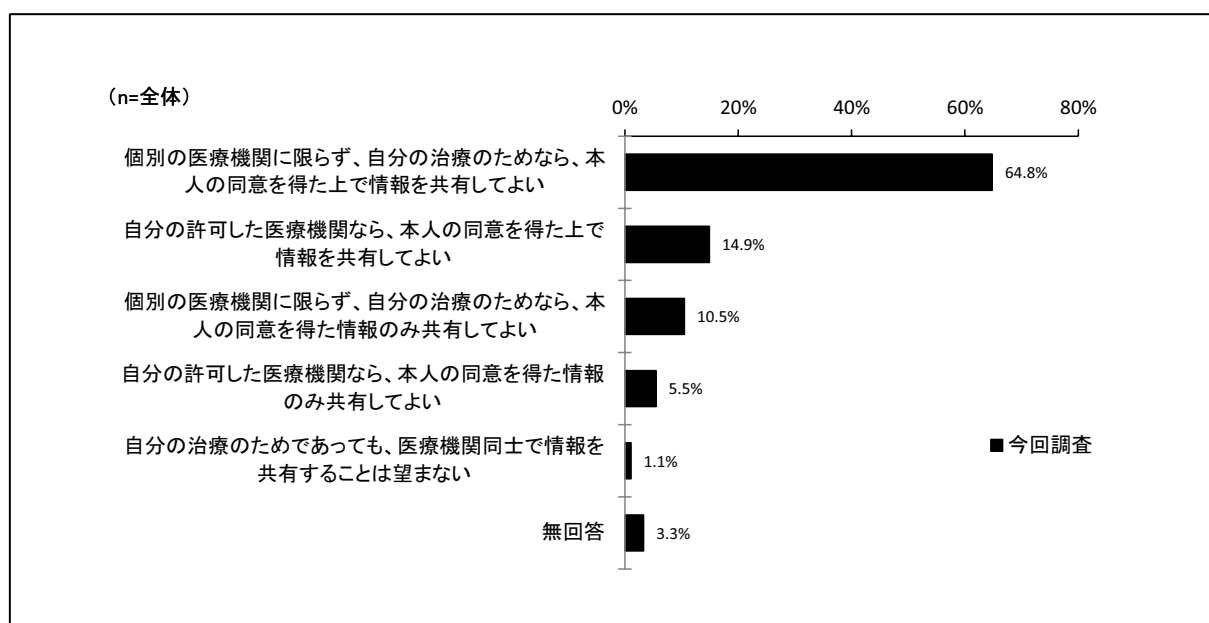
## 16 自分のカルテや症状等の情報を医療機関同士で共有することについて

(1) 自分のカルテや症状等の情報を医療機関どうして共有することについて

～「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」(64.8%)がトップ～

問24 あなたが複数の医療機関で診察を受けることになった場合、よりよい医療の提供を受けるために、自分のカルテが（診療録）や症状等の情報を医療機関同士で共有することについてどう思いますか。（○は1つだけ）

図 16-1



自分のカルテや症状等の情報を医療機関どうして共有することについては、「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」が64.8%と最も多くなっている。次いで、「自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」(14.9%)、「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい」(10.5%)、「自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい」(5.5%)、「自分の治療のためであっても、医療機関同士で情報を共有することは望まない」(1.1%)となっている。

### ◆地域別

保健医療圏の地区に大きな差は見られなかったが、どの地区も「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」が60%を上回った。

### ◆市郡別

「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」が全ての場所で60%を上回った。市郡別による差異はほとんど認められなかった。

### ◆性別

性別による差異はほとんど認められない。

### ◆性・年代別



「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」は男性 40 代で 77.2%と多く、全ての年代で 60%を上回った。「自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」は、30 代女性で 20.8%と多かった。

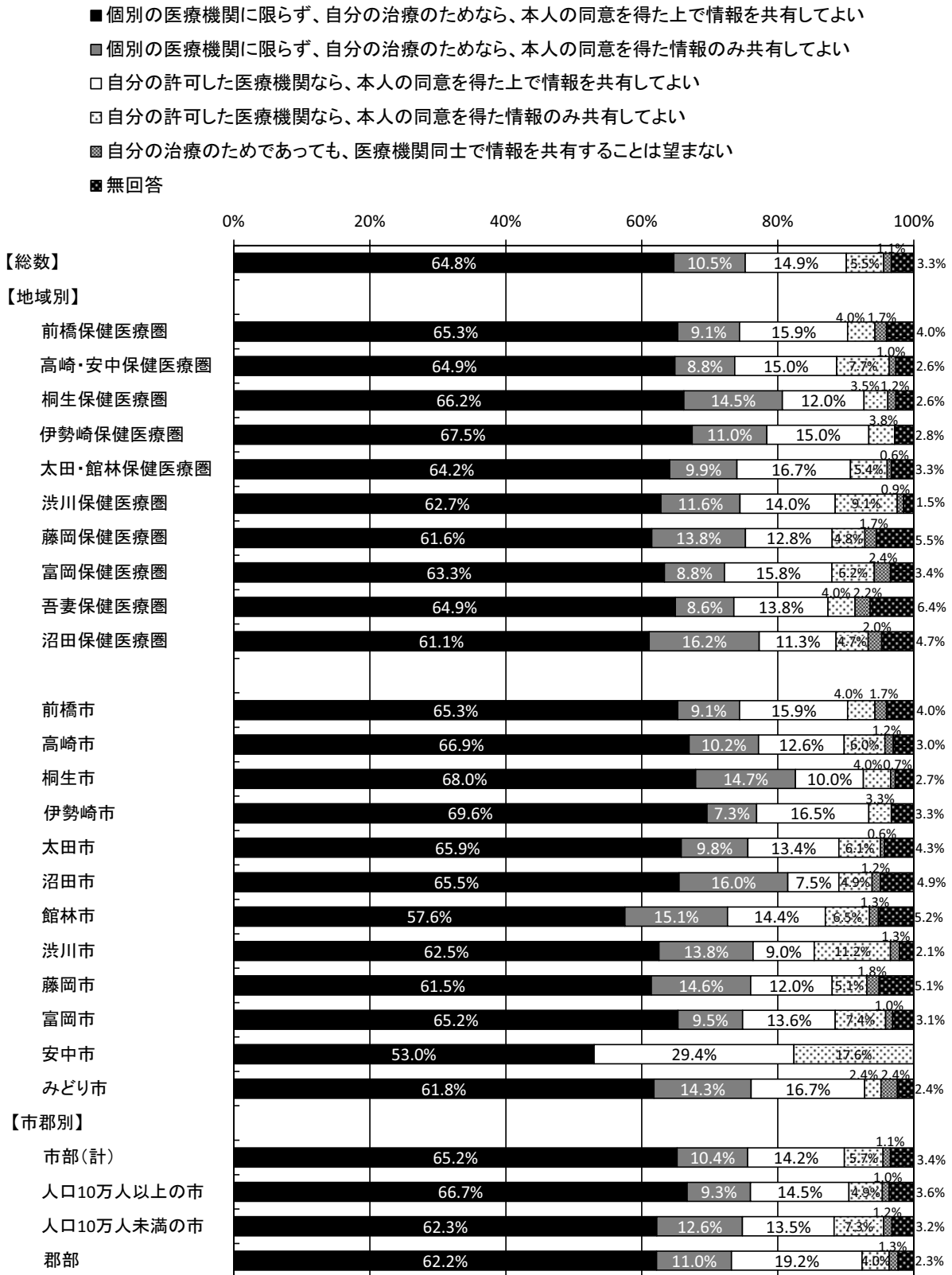
◆職業別

「個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」は、商工・サービス業、自由業で 71.4%と多く、農林漁業 54.2%で少なくなっている。一方、「自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい」は農林漁業で 26.5%と多く、商工・サービス業、自由業で 8.7%と少なかった。

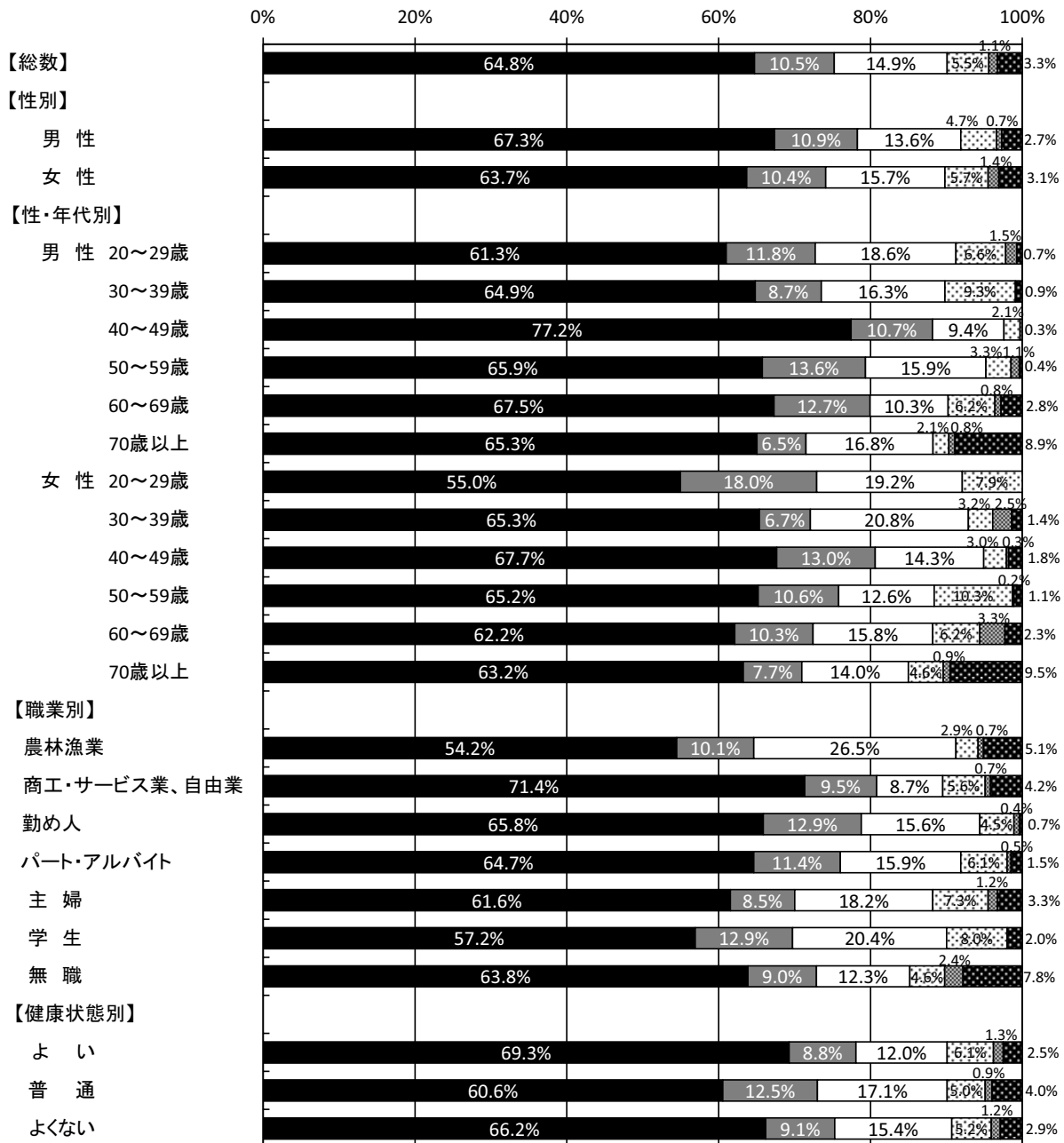
◆健康状態別

健康状態別での差異はほとんど認められない。

図 16-2 自分のカルテや症状等の情報を医療機関同士で共有することについて



- 個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい
- 個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい
- 自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい
- 自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい
- 自分の治療のためであっても、医療機関同士で情報を共有することは望まない
- 無回答



# Ⅲ 調査票

# 保健医療に関する県民意識調査

平成25年12月  
群馬県

## 調査ご協力のお願い

病院勤務医の不足や救急に関する問題など、地域の医療は多くの課題を抱えています。このアンケートは、こうした課題に対応しながら、誰もが安心して医療を受けることができる体制を整備するため、県民のみなさまからご意見をいただくものです。

ここでいただくご意見は、群馬県保健医療計画の策定や今後の政策立案の参考にいたします。回答内容は、すべてコンピュータによる統計処理を行い、調査の目的以外に使用することはいたしません。また、この調査票にご回答をいただいた方に、後日、内容についての照会や別の依頼を行うことはありません。

より良いぐんまの保健医療をめざすため、ぜひ、みなさまのご意見をお寄せください。よろしくお願い申し上げます。



医療や健康のことは、自分自身や家族に直接関わることだものね。

だから、みんなで意見を出し合って、一緒に考えようよ。



## ご記入にあたってのお願い

- (1) この調査は、個人を対象にしていますので、あなた（宛先の方）ご自身の判断で記入してください。
- (2) お答えは、問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに最もあてはまる番号（1、2……）に○印をつけてください。
- (3) お答えの○印の数は質問文の指示にしたがってください。
- (4) 中にはお答えいただくのが難しい質問もあるかも知れませんが、直感的に思ったり、考えられた内容でお答えください。
- (5) 記入は、黒または青の鉛筆、ペン、ボールペンでお願いします。
- (6) ご記入が終わりましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて

**12月20日（金）までに**

ご投函ください。

- (7) この調査について、不明な点やご質問などがありましたら下記までご連絡ください。

群馬県健康福祉部医務課医療計画係  
電話 027-226-2535（ダイヤルイン）

〔全員の方に〕

(健康状態)

問1 あなたはご自分の健康状態について、どうお考えですか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- |                 |
|-----------------|
| 1 よいと思っている      |
| 2 まあよいと思っている    |
| 3 普通だと思っている     |
| 4 あまりよくないと思っている |
| 5 よくないと思っている    |

〔全員の方に〕

(健康に対する不安)

問2 あなたは、日ごろ「もし自分が病気になったら……」という不安を感じていますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇は1つだけ)

- |             |              |            |
|-------------|--------------|------------|
| 1 不安を感じていない | 2 少し不安を感じている | 3 不安を感じている |
|-------------|--------------|------------|

→ (問3へ)

↓ (問2-1へ)

問2-1 具体的にはそれはどんな不安ですか。(〇は3つまで)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 がん、脳卒中、心臓病、糖尿病など生活習慣病への不安 |
| 2 不眠、うつ、ストレスなどのこころの病気への不安   |
| 3 上記1、2以外の病気への不安            |
| 4 働けなくなることへの不安              |
| 5 寝たきりにならないかという不安           |
| 6 医療費など経済的な不安               |
| 7 看病してくれる人がいない不安            |
| 8 病(医)院や医師に関する不安            |
| 9 何となく漠然とした不安               |
| 10 その他の不安 ( )               |

〔全員の方に〕

(健康づくり)

問3 あなたは、健康のために何か気をつけていることがありますか。次の中からあてはまるものをあげてください。(〇はあてはまるものすべて)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1 過労に注意し、睡眠や休養を十分にとるようにしている |
| 2 ストレスをためないようにしている          |
| 3 栄養のバランスなど食事に気をつけている       |
| 4 体の具合が悪いときは、かかりつけの医師に相談する  |
| 5 酒はほどほどに控えている              |
| 6 タバコをやめた、もしくは、できるだけ控えている   |
| 7 運動やスポーツをするように心がけている       |
| 8 努めて歩くようにしている              |
| 9 定期的に健康診断を受けている            |
| 10 その他 ( )                  |
| 11 何もしていない → (問3-1へ)        |

問3-1 問3で「何もしていない」と回答した理由はどれですか。 (○は1つだけ)

- 1 自分の健康に自信がある
- 2 病気の自覚症状がない
- 3 病気になってから気をつければよい
- 4 必要性を感じない
- 5 どのように気をつければよいか分からない
- 6 面倒
- 7 その他 ( )

**〔全員の方に〕**

**(医療全般に対する満足度)**

問4 あなたがお住まいの地域の医療全般について、どのように感じていますか。次の中からあてはまるものをあげてください。 (○は1つだけ)

- 1 満足している
- 2 どちらかという満足している
- 3 どちらかという不満を感じる
- 4 不満を感じる

**〔全員の方に〕**

問5 地域の医療に関する以下の項目について、どのように感じていますか。次の中からあてはまるものをあげてください。 (○はあてはまるものすべて)

- 1 医療機関が不足していると感じる
  - 2 病院勤務医が不足していると感じる
  - 3 医療費が高いと感じる
  - 4 夜間や休日の救急医療体制が不足していると感じる
  - 5 必要な診療科目が不足していると感じる
  - 6 自宅で療養できる体制が不足していると感じる
  - 7 医療に関する情報や相談窓口が不足していると感じる
- (問6へ)

**(問5-1、問5-2へ)**

問5-1 具体的にはどのような医療機関が不足しているとお考えですか。次の中からあてはまるものをあげてください。 (○は1つだけ)

- 1 総合病院
- 2 特定の疾病を得意とする専門病院等
- 3 身近で通いやすい診療所
- 4 休日・夜間にかかれる医療機関
- 5 その他 ( )

問5-2 具体的にはどのような分野の治療を行う医療機関が不足しているとお考えですか。次の中からあてはまるものをあげてください。

(○はあてはまるものすべて)

1 がん	9 認知症
2 脳血管疾患（脳卒中など）	10 感染症（結核、エイズなど）
3 心疾患（急性心筋梗塞など）	11 リハビリテーション
4 糖尿病	12 リウマチ
5 救急医療	13 アレルギー疾患
6 産科	14 歯科疾患
7 小児医療	15 その他（                                  ）
8 精神医療（うつ病など）	

【全員のみに】

問6 あなたがお住まいの地域の医療について、これから充実して欲しいと思うことはなんですか。 (○は3つまで)

1 休日・夜間における診療体制	8 総合病院
2 救急医療	9 往診・訪問看護体制
3 産科	10 リハビリテーション
4 小児医療	11 相談窓口
5 精神医療（うつ病など）	12 遠隔医療
6 認知症	13 医療と介護の連携体制
7 眼科・耳鼻咽喉科	14 その他（                                  ）



〔全員の方に〕

(医療機関の選択)

問7 あなたがカゼや微熱など軽い病気にかかったとき、主にどの医療機関で診療を受けますか。あるいは、受けたいとお考えですか。(〇は1つだけ)

1  医院（診療所） 2  身近な病院 3  地域の総合病院 4  専門性の高い病院 5  その他（                      ）	6  特に決めていない 7  行かない （薬局等で薬を購入する）
---	--

↓  
(問8へ)

(問7-1、7-2へ)

問7-1 その医療機関を選ぶのはどういう理由からですか。(〇は3つまで)

1  自宅に近い 2  医師が信頼できる 3  医療設備が整っている 4  かかりつけである 5  いろいろな診療科目がある 6  その病気やけがについての専門である	7  評判がよい 8  職場・学校から通院しやすい 9  感じがよい 10  他の医療機関を知らない 11 その他（                      ） 12  特にない
--	---

問7-2 主に診療を受ける（あるいは受けたい）その医療機関はどの市町村にありますか。(〇は1つだけ)

1  前橋市 2  高崎市 3  桐生市 4  伊勢崎市 5  太田市 6  沼田市 7  館林市 8  渋川市 9  藤岡市 10  富岡市 11  安中市 12  みどり市	13  榛東村 14  吉岡町 15  上野村 16  神流町 17  下仁田町 18  南牧村 19  甘楽町 20  中之条町 21  長野原町 22  嬭恋村 23  草津町 24  高山村	25  東吾妻町 26  片品村 27  川場村 28  昭和村 29  みなかみ町 30  玉村町 31  板倉町 32  明和町 33  千代田町 34  大泉町 35  邑楽町 36  県外  （都道府県名：                      ）
---	---	---

〔全員の方に〕

問8 あなたが、入院が必要かもしれない**重い病気にかかった場合**、主にどの医療機関で診療を受けますか。あるいは、受けたいとお考えですか。 (○は1つだけ)

1  医院（診療所） 2  身近な病院 3  地域の総合病院 4  専門性の高い病院 5  その他（          ）	6  特に決めていない ↓ （問9へ）
---	---------------------------

↓（問8-1、8-2へ）

問8-1 その医療機関を選ぶのは、どういう理由からですか。 (○は3つまで)

1 自宅に近い	7 評判がよい
2 医師が信頼できる	8 勤め先の関係から通院しやすい
3 医療設備が整っている	9 感じがよい
4 かかりつけである	10 他の医療機関を知らない
5 いろいろな診療科目がある	11 その他（          ）
6 その病気やけがについての専門である	12 特にない

問8-2 主に診療を受ける(あるいは受けたい)その医療機関はどの市町村にありますか。 (○は1つだけ)

1 前橋市	13 榛東村	25 東吾妻町
2 高崎市	14 吉岡町	26 片品村
3 桐生市	15 上野村	27 川場村
4 伊勢崎市	16 神流町	28 昭和村
5 太田市	17 下仁田町	29 みなかみ町
6 沼田市	18 南牧村	30 玉村町
7 館林市	19 甘楽町	31 板倉町
8 渋川市	20 中之条町	32 明和町
9 藤岡市	21 長野原町	33 千代田町
10 富岡市	22 嬬恋村	34 大泉町
11 安中市	23 草津町	35 邑楽町
12 みどり市	24 高山村	36 県外
（都道府県名：          ）		

〔全員の方向に〕

(救急医療への対応)

問9 軽度な症状にもかかわらず、安易な救急車の利用など、いわゆる「コンビニ受診」行動についてどう考えますか。 (○は1つだけ)

- |   |                                 |     |
|---|---------------------------------|-----|
| 1 | 問題だと思うし、行わないように心がけている。          |     |
| 2 | 問題だと思うが、やむを得ないと思う。→理由をお聞かせください。 | ( ) |
| 3 | 問題だと思わない。→理由をお聞かせください。          | ( ) |

〔全員の方向に〕

問10 家族のだれかが夜間や休日に急病(生死に関わらないと判断できるもの)になり、医師にみてもらいたいとき、まず、一番初めにどうしますか。次の中からあてはまるものをあげてください。 (○は1つだけ)

- |   |  |     |
|---|--|-----|
| 1 | 新聞、電話サービス(＃8000など)、市町村の広報誌などを利用し、休日・夜間急病診療所、休日当番医、救急病院などを調べる |     |
| 2 | 救急車を呼ぶ   |     |
| 3 | かかりつけ医師に電話で相談する  |     |
| 4 | 近くの医師に電話で相談する  |     |
| 5 | 自分の判断で、病状に合わせて専門的な医療機関へ連れて行く                                 |     |
| 6 | 知人や身内にまず相談する   |     |
| 7 | その他( )   | ( ) |

〔全員の方に〕

(かかりつけ医師)

問11 あなたは、かかりつけ医師を決めていますか。(〇は1つだけ)

1 決めている	2 決めていない
---------	----------

(問11-1、問11-2へ)

問11-1 かかりつけ医師を決めているのは、どういう理由からですか。(〇は2つまで)

1 自宅から近い
2 職場から近い
3 昔からのかかりつけである
4 他の医療機関から紹介されて
5 評判がよい
6 医師が信頼できる
7 親切で丁寧
8 休日・夜間でも診てくれる
9 医療設備が整っている
10 自分の病気やケガについて専門である
11 その他 ( )

(問11-3へ)

問11-3 かかりつけ医師を決めていないのはなぜですか。(〇は2つまで)

1 病気をしない、または必要を感じない
2 そのつど都合のよい医師にかかる
3 適当なかかりつけ医師が身近にいない
4 専門医にみてもらう
5 その他 ( )
6 特に理由はない

問11-2 かかりつけ医師は医院(診療所)の医師ですか。病院の医師ですか。(〇は1つだけ)

1 医院(診療所)の医師
2 病院の医師

注) 病院とは、病床20以上の医療機関をいいます。

**〔全員の方に〕**

**(かかりつけ歯科医)**

問12 あなたは、かかりつけの歯科医を決めていますか。 (○は1つだけ)

1 決めている

2 特に決めていない

3 かかったことがない

(問12-1へ)

(問13へ)

問12-1 その歯科医に決めたのはなぜですか。 (○は2つまで)

- 1 自宅から近い
- 2 職場から近い
- 3 昔からのかかりつけである
- 4 他の医療機関から紹介されて
- 5 評判がよい
- 6 歯科医師が信頼できる
- 7 親切で丁寧
- 8 休日・夜間でも診てくれる
- 9 医療設備が整っている
- 10 当該疾患における専門医である
- 11 その他 ( )

**〔全員の方に〕**

**(歯科保健医療)**

問13 あなたは、歯科の保健医療についてどのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものをあげてください。 (○はあてはまるものすべて)

- 1 医療保険の適用範囲をもっと広げてほしい
- 2 夜間や休日でも、歯科の治療が受けられるようにしてほしい
- 3 地域や職場で歯科の検診を実施してほしい
- 4 通院できない高齢者などに対する歯科医療体制を整備してほしい
- 5 身体障害者など体の不自由な人に対する歯科医療体制を強化してほしい
- 6 知的障害や発達障害のある人に対する歯科医療体制を強化してほしい
- 7 小児歯科医療体制を強化してほしい
- 8 保健福祉事務所(保健所)などの公的機関で、歯科の衛生指導を強化してほしい
- 9 乳幼児のむし歯の予防対策を強化してほしい
- 10 その他 ( )
- 11 特にない

〔全員の方に〕

(薬局について)

問14 あなたは、この1年間に、医院（診療所）や病院から処方せんをもらって、院外の薬局で薬を調剤してもらったことがありますか。（○は1つだけ）

1 ある	2 ない
------	------

〔全員の方に〕

問15 あなたは、いつも調剤をしてもらう薬局（かかりつけ薬局）を決めていますか。（○は1つだけ）

1 決めている	2 決めていない
---------	----------

（問15-1へ）

問15-1 かかりつけ薬局は、どのような点を考えて選びましたか。（○は2つまで）

1	かかりつけ医の医院や病院の近くの薬局
2	自宅や職場に近い薬局
3	薬についてよく説明してくれる薬局
4	清潔で雰囲気の良い薬局
5	営業日や営業時間が多い(長い)薬局
6	その他（                      ）

（問15-2へ）

問15-2 かかりつけ薬局を決めていないのは、どのような理由からですか。（○は2つまで）

1	処方せんをもらった医院や病院の近くが便利だから
2	自宅や職場に近い薬局がないから
3	近くの薬局では薬がなくて待たされたことがあるから
4	自分の病気について近所の人や薬局の人に知られたくないから
5	その他（                      ）
6	特にない

〔全員の方に〕

(転院について)

問16 限られた救急医療の病床を効率よく利用するためには、救急の治療が終了すると入院している医療機関から転院などを求められることがあります。

もし、このような場合、あなたが転院を求められたとしたら不安を感じますか。

(○は1つだけ)

1 不安を感じない	2 少し不安を感じる	3 不安を感じる
↓	↓	
(問17へ)	(問16-1へ)	

問16-1 具体的にはどのような不安を感じますか (○はあてはまるものすべて)

1	転院先の医療水準や内容が不明であることによる不安
2	治療方針が変わってしまうことに対する不安
3	入院した医療機関から見放されたような不安
4	転院先が見つからないのではないかと不安
5	転院先において、再び転院を求められるのではないかと不安
6	何となく漠然とした不安
7	その他 ( )

〔全員の方に〕

(退院について)

問17 あなたが病院から退院し、在宅での療養に移る場合、病院のソーシャルワーカー(社会福祉の立場から相談・支援を行う専門職)に対してどのようなことを望みますか。

(○はあてはまるものすべて)

1	退院後の治療のことや生活・費用などの相談
2	就学や就労なども含めた社会復帰に関する相談
3	自宅近くの医療や福祉に関する情報提供や手続き相談
4	介護サービス等に関する情報提供や手続き相談
5	退院に伴う漠然とした不安の相談
6	その他 ( )

〔全員の方に〕

(在宅医療について)

問18 もし、あなたやあなたの家族が治療や療養を必要とする場合、自宅での療養を望みますか。(両方に回答してください。) (○は1つだけ)

あなたが患者の場合	1 望む	2 条件が整えば望む	3 望まない
家族が患者の場合	1 望む	2 条件が整えば望む	3 望まない

(問18-1へ)

(問18-4へ)

問18-1 自宅での療養は実現可能ですか。 (○は1つだけ)

1 実現困難である	2 実現可能である	3 わからない
-----------	-----------	---------

(問18-2へ)

(問19へ)

(問18-3へ)

問18-2 自宅療養が実現困難な理由は何ですか。 (○は3つまで)

1 往診してくれるかかりつけの医師がない。
2 訪問看護(看護師の訪問)の体制が整っていない。
3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の体制が整っていない。
4 24時間相談にのってくれるところがない。
5 介護してくれる家族がない。
6 介護してくれる家族に負担がかかる。
7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である。
8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である。
9 居住環境が整っていない。
10 経済的に負担が大きい。
11 その他( )

(問19へ)

問18-3 自宅療養が実現可能かわからない理由は何ですか。 (○は1つだけ)

1 困ったときにどこに相談してよいかわからないから
2 自宅療養に関して入手できる情報が少ないから
3 その時になってみないとわからないから
4 その他( )

(問19へ)

問18-4 問18で自宅療養を望まない理由は何ですか。 (○は3つまで)

1 往診してくれるかかりつけの医師がない
2 訪問看護(看護師の訪問)の体制が整っていない
3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)の体制が整っていない
4 24時間相談にのってくれるところがない
5 介護してくれる家族がない
6 介護してくれる家族に負担がかかる
7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
9 居住環境が整っていない
10 経済的に負担が大きい
11 病院の方が安心できるから
12 他人にあまり自宅に入ってほしくないから
13 その他( )

(問19へ)



【全員の方に】

問19 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかったとしたら、どこで過ごしたいと思いますか。 (○は1つだけ)

- 1 なるべく今まで通っていた（または現在入院中の）医療機関に入院したい。
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい。
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい。
- 5 必要時には一時的に入院しても、自宅で最期まで療養したい。
- 6 通院又は往診・訪問看護等を受けて、自宅で最期まで療養したい。
- 7 特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等に入所したい。
- 8 その他（ ）

【全員の方に】

問20 もし、あなたが治る見込みの少ない病気にかかり、自宅で過ごすことになった場合、以下のもののうち特に何が必要だと思えますか。 (○は2つまで)

- 1 医師の定期的な往診
- 2 緊急時の受け入れ医療機関
- 3 訪問看護などの在宅医療系サービス
- 4 訪問介護、デイサービス、ショートステイなどの在宅介護サービス
- 5 食事の宅配サービス、通院や外出の援助サービス
- 6 家族による（あなたへの）支援
- 7 家族への（外部的な）支援
- 8 カウンセラー等による心理的な支援
- 9 趣味などに費やすことのできる自由な時間
- 10 その他（ ）

〔全員の方に〕

(医療機関への要望)

問21 これまでの経験から、あなたは医療機関に対してどのようなことを望みますか。

(1) 医師について (〇は3つまで)

- |    |                             |   |
|----|-----------------------------|---|
| 1  | 病気の状態や治療方法をよく説明してほしい        |   |
| 2  | 薬についての内容などを説明してほしい          |   |
| 3  | むずかしい病気の場合は、専門の医療機関を紹介してほしい |   |
| 4  | 注射や投薬はもっと十分にしてほしい           |   |
| 5  | 注射や投薬はあまりしないでほしい            |   |
| 6  | 往診の依頼に応じてほしい                |   |
| 7  | 検査はもっと十分にほしい                |   |
| 8  | 検査はあまりしないでほしい               |   |
| 9  | 患者や家族の話をじっくり聞いてほしい          |   |
| 10 | その他 (                       | ) |
| 11 | 特にない                        |   |

(2) 看護師について (〇は3つまで)

- |   |                          |   |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 患者や家族の話をじっくり聞いてほしい       |   |
| 2 | 病気や検査についてわかりやすく説明してほしい   |   |
| 3 | 療養上の注意点についてわかりやすく説明してほしい |   |
| 4 | 患者のそばで看護をする時間を長くしてほしい    |   |
| 5 | 忙しそうにしないでほしい             |   |
| 6 | その他 (                    | ) |
| 7 | 特にない                     |   |

(3) 施設・サービスについて (〇は3つまで)

- |   |                                    |   |
|---|------------------------------------|---|
| 1 | 待ち時間を短くしてほしい                       |   |
| 2 | 休日や夜間でも、急病のときは診察してほしい              |   |
| 3 | 差額ベッド料、医療費などがどのくらいかかるか前もって教えてほしい   |   |
| 4 | 医療機関の職員は、もっと親切にほしい                 |   |
| 5 | 待合室や病室などをもっと快適にほしい                 |   |
| 6 | 食事(病院食)のメニューを多くするとともに、味付けをうまくしてほしい |   |
| 7 | 治療後に疑問が生じたら相談できる医療相談窓口を設置してほしい     |   |
| 8 | その他 (                              | ) |
| 9 | 特にない                               |   |

〔全員の方に〕

(保健医療情報について)

問22 知りたい保健や医療に関する情報は何か。

(1) 医療機関を選択するための情報

(○は3つまで)

1	かかりたい診療科目を持つ医療機関の所在地・連絡先等
2	診療日・診療時間
3	得意とする専門分野
4	治療件数等の診療実績
5	医師・看護師などのスタッフの人数
6	医師・歯科医師の名前、性別、年齢、略歴、専門医資格
7	医療機器の保有状況
8	診察室、待合室、病室等の施設の整備状況
9	往診・訪問診療の可否
10	連携している医療施設名
11	連携している介護施設名
12	医療相談窓口などの有無
13	差額ベッド代などを含めた診療にかかる自己負担の額
14	第三者機関が実施した病院の評価結果
15	手話、点字、外国語に対する対応
16	その他 ( )
17	特にない

(2) (1) 以外の保健医療情報

(○は3つまで)

1	病気の症状や予防・治療に関する情報
2	こころの健康に関する情報
3	薬の効能、副作用や服用の仕方についての情報
4	自宅で療養中の人を受けられる訪問看護やヘルパーなどの在宅サービスについての情報
5	機能訓練や日常生活訓練等のリハビリテーションについての情報
6	保健や医療に関する苦情や相談の窓口についての情報
7	健康づくりや健康相談・健康診断についての情報
8	急病やケガ人に対する応急手当に関する情報
9	AED や脳卒中の特効薬である「t-PA」など、救急搬送までに市民等に期待される救護に関する情報 (※)
10	その他 ( )
11	特にない

※…AED とは、電気的なショックにより、心臓の働きを戻すことを試みる医療機器のこと。一般住民も使用可能であり、公共施設等に広く設置されている。

※…t-PA とは、血管に詰まった血の塊を溶かす血栓溶解剤。発症4.5時間以内の脳梗塞に有効性が認められているため、速やかな救急搬送要請が期待されている。

〔全員の方に〕

問23 医院（診療所）や病院で情報を入手する以外に、保健や医療に関する情報をどのような方法で入手しようと思いますか。（○は3つまで）

1 保健医療専門誌	9 友人・知人からの情報
2 健康関連の本	10 ケアマネジャーや介護保険サービスの関係者からの情報
3 雑誌の特集記事	11 国や自治体の相談機関
4 テレビの情報番組	12 患者団体などの民間の相談機関
5 テレビのニュースや新聞	13 駅などの看板や広告
6 医療・薬局機能情報提供システム	14 その他
7 インターネット	( )
8 県や市町村の広報紙	( )

〔全員の方に〕

（情報共有）

問24 あなたが複数の医療機関で診療を受けることになった場合、よりよい医療の提供を受けるために、自分のカルテ（診療録）や症状等の情報を医療機関同士で共有することについてどう思いますか。（○は1つだけ）

1 個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい
2 個別の医療機関に限らず、自分の治療のためなら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい
3 自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た上で情報を共有してよい
4 自分の許可した医療機関なら、本人の同意を得た情報のみ共有してよい
5 自分の治療のためであっても、医療機関同士で情報を共有することは望まない

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計分析に必要な事項を少しお伺いします。

F 1 あなたの性別は。 (○は1つだけ)

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの年齢は。(○は1つだけ)

1 20～24歳	6 45～49歳	11 70～74歳
2 25～29歳	7 50～54歳	12 75～79歳
3 30～34歳	8 55～59歳	13 80歳以上
4 35～39歳	9 60～64歳	
5 40～44歳	10 65～69歳	

F 3 あなたはどの市町村にお住まいですか。(○は1つだけ)

1 前橋市	13 榛東村	25 東吾妻町
2 高崎市	14 吉岡町	26 片品村
3 桐生市	15 上野村	27 川場村
4 伊勢崎市	16 神流町	28 昭和村
5 太田市	17 下仁田町	29 みなかみ町
6 沼田市	18 南牧村	30 玉村町
7 館林市	19 甘楽町	31 板倉町
8 渋川市	20 中之条町	32 明和町
9 藤岡市	21 長野原町	33 千代田町
10 富岡市	22 嬬恋村	34 大泉町
11 安中市	23 草津町	35 邑楽町
12 みどり市	24 高山村	

F 4 あなたのお住まいの世帯構成は。(○は1つだけ)

1 単独世帯
2 核家族世帯 (夫婦のみの世帯)
3 核家族世帯 (夫婦と未婚の子のみの世帯)
4 核家族世帯 (ひとり親と未婚の子のみの世帯)
5 三世帯世帯
6 その他の世帯 ( )

F 5 あなたの職業は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

1 農林漁業を営んでいる (家族従業者を含む)
2 商工業、サービス業、自由業などを営んでいる (自営業等。家族従業者を含む)
3 会社、商店、官公庁、学校、病院等に常勤で勤めている (サラリーマン等)
4 パート、アルバイト
5 主婦
6 学生
7 無職

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、返信用封筒に入れ、**12月20日(金)**までにご投函ください。